

熊野町子どもの読書活動推進計画  
(第三次計画)

ー 筆の都KUMANNOプラン ー



令和 2 年 4 月  
熊野町教育委員会



## はじめに

子どもが、本に親しみ、読書することは、ことばをはじめ様々な知識や知恵を学び、感性や情緒、さらには想像力、表現力、思考力、創造力等を養い、豊かな人間性を育み、人生を豊かにしていくために欠くことができないものであり、社会全体で積極的にそのための環境整備を推進していくことは極めて重要なことです。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災後、被災地の多くの子どもが不安に直面していた際、全国から寄付された本や絵本が子どもの心のよりどころとなり、生きる希望を与えています。

しかしながら、今日、テレビ、ビデオ、テレビゲーム、インターネットや携帯電話等の情報メディアの発達・普及や、子どもの生活環境の変化、さらには、乳幼児期からの本に親しみ楽しむ機会や時間の減少により、「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。

今、子どもがことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、多様な文化を理解して、人生をさらに豊かに生きる力を身に付けていく上で、「いつでも、どこでも、だれでもが読書できる環境」を整え、発達段階に応じた子どもの主体的な読書活動を支えるための条件整備を行うことが求められています。

子どもの読書活動の推進に関する法律において、「市町村は子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画」を基本とするとともに、市町村における子ども読書活動の推進の状況等を踏まえ、市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならないとされています。

熊野町では、平成21年2月に「熊野町子ども読書活動推進計画―筆の都KUMANOプラン―」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

また、平成24年度からは家庭において子どもが家族と同じ本を読み、その感想等を共有する家庭読書推進活動「熊野町くまどく事業」を実施し、家庭読書活動の一層の推進に取り組んでいます。

熊野町の子ども読書活動のさらなる発展のため、第5次熊野町総合計画において、政策目標である「子どもが健やかにたくましく育つまち」の一環として、「熊野町子ども読書活動推進計画（第二次計画）」を策定し、計画期間を平成27年度から平成31年度までの5年間としました。

第二次計画にしたがって、読書活動を推進した結果、成果や課題があきらかになりました。このことを踏まえながら、ここに新たな「熊野町子ども読書活動推進計画（第三次計画）―筆の都KUMANOプラン―」を策定しました。各関係機関や家庭・地域が連携・協力し、第三次計画の実践化を通して、本町の子どもの読書活動が一層推進されるよう取り組んでまいります。

## 教育長のメッセージ

私の友人に、古希を過ぎても未だに精力的で、文学・哲学・経済・理化学・音楽等色々なことに興味・関心を持ち、東南アジアの雑貨を扱う貿易会社を営んでいる方がいます。感心するとともに尊敬しています。彼は自分の原点は「読書」にあると言います。幼稚園・小中学校時代は色々な本を読みまくって、学校の図書室の本はほとんど読破したそうです。学校にない本は定期的に近くの本屋で買ってもらいました。彼は今でも本をよく読みます。本は知らない知識や技能を教示するとともに、自分の創造性を広げ、更なる好奇心をかき立ててくれるし、アイディアの基となっていると言います。こんな彼にまつわるおもしろいエピソードがあります。製パン工場を営んでいた父親は、教育に興味・関心があり、読書をする事の大切さを知っておられ、日頃から自分の子どもに読書を奨めていました。しかし、忙しい生活のため日頃から彼の様子はあまり見ておられません。彼が小学校高学年のある日、父親から「これを読みなさい」と一冊の本を渡されました。面白そうなので直ぐに読み始めパラパラとページをめくっていたら、それを父親が見て「お前は本気で読んでいない。だからだめなんだ！」とこっぴどく叱られた経験があるそうです。うそみたいで本当の話です。最近の脳科学で明らかになっていることですが、乳幼児期に多くの絵本や本を読んでいる人は、脳を構成する神経細胞（ニューロン）が成長し複雑に絡み合い、刺激に対する情報伝達が速いことから、短時間で読書できることが報告されています。彼は小学校高学年で既に速読ができる域に達していたと思われます。

本町では、平成24年から家庭で親と子が同じ本を読むことを目的として「くまどく」を実施しています。この事業は、町内の幼稚園・保育園・認定こども園等、町内の小中学校を核として、町内各公民館・交流館・図書館と連携・協力しながら、町全体で取り組んでいます。事業内容は、熊野町内の0歳から中学校3年生までのすべての子どもとその家族を対象として、子どもと家族のだれかが一週間のうち2日以上、15分以上、テレビ・携帯電話等の電源を切り、漫画や雑誌、教科書以外の同じ本を読み、対象者全員に配布した「くまどくノート」に、本の名前と一緒に読んだ人を記入するものです。

数学者新井紀子先生の著書「AI VS. 教科書が読めない子どもたち」に、現在の子どもが成人になる頃には、AI（人工知能）が普及し単純労働はロボット化され現在の仕事の約半数は無くなるであろうとするオックスフォード大学の研究結果が紹介されています。さらに自身の研究で、自分の思う仕事に就くためには、コミュニケーション能力とともに、文章をきちんと読むことができる力、即ち「読解力」が非常に重要であること等を提言されています。また、子どもは教科書に書いてある内容を十分理解しないまま学習を終えている実態を指摘されています。いずれにしても、乳幼児期から読書する習慣を身につけさせることは我々大人の責務であると捉えるべきです。熊野町では、子どもも大人も大いに本を読みましょう。

令和2年4月  
熊野町教育委員会教育長 林 保

# 目 次

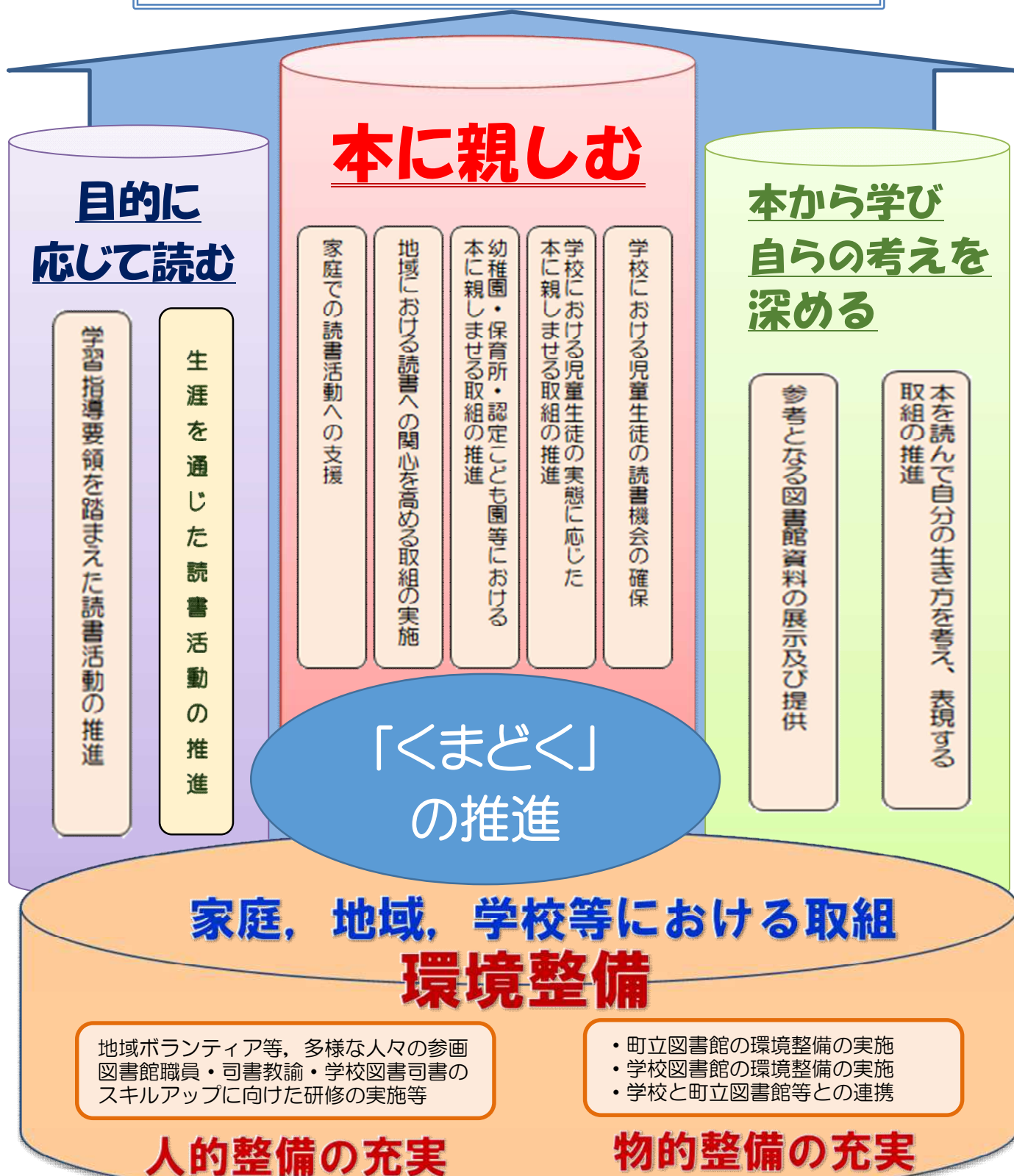
I	基本方針	5
II	熊野町子どもの読書活動推進計画策定にあたって	7
1	計画策定の趣旨	
2	計画の目的	
3	計画の対象	
4	計画の期間及びスケジュール	
5	計画の推進体制	
III	熊野町子どもの読書活動推進のための現状と取組	11
1	家庭における現状と取組	
2	学校における現状と取組	
3	町立図書館における現状と取組	
IV	熊野町子どもの読書活動推進のための環境の整備・充実	39
1	学校における整備・充実	
2	町立図書館における整備・充実	

V	令和2年度熊野町読書活動全体計画	49
1	町立小中学校における令和2年度読書活動全体計画	
2	実践例「広島県立熊野高等学校図書館リニューアル等事業」	
3	町立図書館における令和2年度事業計画	
VI	参考資料	63
1	令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画アンケート	
2	用語解説	
3	参考資料・参考文献	

# I 基本方針

# 「熊野町子どもの読書活動推進計画 (第三次)」推進のための主な施策

## 子どもの読書習慣の形成



## Ⅱ 熊野町子ども読書活動推進 計画策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

---

子どもにとっての読書活動は、本から学び自らの考えを深め、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力、生涯にわたって主体的に学び続ける力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

国は、平成30年4月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、その体制や方策を図っています。

また、広島県では、乳幼児期から大学・社会人までを見据え、家庭、地域、幼稚園・保育園・認定こども園等、学校、更には経済界や産業界も含めた「オール広島県」で、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材」を育成していくことを進めています。

これらのことから、発達段階に応じた取組や読書環境の整備を推進していくことは極めて重要です。令和元年11月に「広島県子供の読書活動推進計画（第四次）」を策定しています。

本町においても、平成21年2月に「熊野町子どもの読書活動推進計画一筆の都KUMANO プランナー」を策定し、平成27年3月に第二次計画を策定しました。

国や広島県の基本的方針を見据え、本町における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、本町における子どもの読書活動の推進に関する施策について見直し、総合的、計画的に進めるための基本的な計画として、「熊野町子どもの読書活動推進計画（第三次計画）一筆の都KUMANO プランナー」を策定するものです。

## 2 計画の目的

---

本計画は、子どもが本と出会い、読書の楽しさに触れながら、ことばの力や感性等を身に付け、豊かに生きていくために、すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことを目的としています。

本町では、この目的を達成するため、令和元年度に町内の幼稚園・保育園・認定こども園等に在籍する乳幼児の保護者と小中学校に在籍する児童・生徒及び保護者を対象に、「読書に関するアンケート（以下「アンケート」という）」を実施し、状況把握と国・県の計画を踏まえ計画を策定しました。

## 3 計画の対象

---

本計画の対象は、子どもと保護者を対象とします。

## 4 計画の期間及びスケジュール

本計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画とします。なお、本計画は、必要に応じて見直しを行うものとします。

【計画の期間と上位計画（文部科学省及び広島県、熊野町）】

年度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6
文 部 科 学 省	子供の読書活動の推進に関する基本的な計画	第2次基本計画 (H20～H24)			第3次基本計画 (H25～H29)					第4次基本計画 (H30年～5年計画)						
	広島県子供の読書活動推進計画	第2次計画 (H21～H25)			第3次計画 (H26～H30)				第4次計画 (R元年～5年計画)							
熊 野 町	第5次熊野町総合計画	第4次 第5次熊野町総合計画 (H23～10年計画)														
	熊野町子ども読書活動推進計画	第1次計画 (H21～H26)				第2次計画 (H27～H31)				第3次計画 (R2年～5年計画)						

## 5 計画の推進体制

### (1) 継続的な読書活動推進のための体制

本計画の進捗状況を確認し、必要な修正を加えながら総合的・継続的に推進する組織を設置します。

### (2) 関係機関等の連携・交流

子どもの読書活動推進に関わる関係機関が連携し、それぞれの特性を生かし、充実した活動ができるよう情報交流、図書資源の有効活用を進めます。

### (3) 推進の柱（第三次計画の施策体系）

子どもの読書活動推進のために、読書習慣の形成に向けた取組や、それを支える環境整備等を通して、読書活動の充実を図ります。

- ① 本に親しむ
- ② 目的に応じて読む
- ③ 本から学び自らの考えを深める
- ④ 環境整備

### (4) 推進のための取組

- ① 家庭における現状と取組
- ② 学校における現状と取組
- ③ 町立図書館における現状と取組

### Ⅲ 熊野町子ども読書活動推進 のための現状と取組

# 1 家庭における現状と取組

子どもの自主的な読書活動を推進するために、家庭、地域、学校等を通じた社会全体での取組は大変重要です。今後より一層の読書活動推進のためには、家庭、地域、学校等のそれぞれが役割を果たし、民間団体とも緊密に連携し、相互に協力を図ることが求められます。

家庭は、子どもが多く時間を過ごす場所であり、家族構成や仕事、教育に対する方針など、家庭一つをとっても様々です。この度の保護者アンケートによって、改めてそれぞれの家庭が読書に抱く考えがわかりました。

この結果をもとに、家族間コミュニケーションの深まりと「ことばの力」の向上を目的とした家庭読書推進事業「熊野町くまどく事業」(※1)について見直し、子どもの自主的な読書活動の推進を図る取組を実施するとともに、関係機関と連携し、必要な体制の整備に努めます。



## (※1) 熊野町くまどく事業

読書の推進と家族の絆づくりを目的に実施するもので、子どもと家族が1週間のうち2日以上、テレビ・携帯電話などの電源を切り、15分以上家族で同じ本を読み、専用の「くまどくノート」に記録するとともに、読んだ本の内容について家族で語り、感想を共有しあうことにより、家族間のコミュニケーションを図るというものです。

家庭は、子供の基本的な生活習慣を育む場であり、健やかな育ちの基盤となる場所です。子供の読書習慣は家庭の中などの日常生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるために、家庭での読書活動推進に取り組む必要があります。

(中略)

各家庭が子供の発達段階に応じて読書活動に取り組むことができるよう、家庭・地域・学校が連携、協力し、家庭で本に触れるきっかけづくりを提供していただくことが大切です。

出典：広島県子供の読書活動推進計画（第四次）「第2章 読書習慣の形成に向けた取組 本に親しむ 家庭」

## 現状

令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画「保護者アンケート」結果より

《幼稚園・保育園・認定こども園》

【表1】読書について

①読書について			週に5日以上	週に2日～4日	週に1回	していない	－	合計
1	家庭で読み聞かせをしていますか。	小計	81	146	120	55	0	402
		割合	20.1%	36.3%	29.9%	13.7%	0.0%	100%
			忙しくて時間がない	どのように読み聞かせをすればいいかわからない	身近に本がない	子どもが本を読んでほしいと言わないから	その他	合計
2	1で、「していない」と回答した人に質問します。 読み聞かせをしていない理由は何ですか。 (※複数回答可)	小計	45	4	1	15	11	76
		割合	59.2%	5.3%	1.3%	19.7%	14.5%	100%
			思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	－	合計
3	あなたは、読み聞かせは大切だと思いますか。	小計	355	78	0	1	0	434
		割合	81.8%	18.0%	0.0%	0.2%	0.0%	100%
			保護者がすすんで読書をする	本を読んで聞かせる(読み聞かせ)	「くまどく」をする	家に本をたくさん置く	その他	合計
4	お父さんが本への関心をもてるよう、 家庭で取組んでいますか。 (※複数回答可)	小計	50	250	103	171	357	931
		割合	5.4%	26.9%	11.1%	18.4%	38.3%	100%

(参考資料：資料15 幼稚園・保育園－7、8、10、12)

- ①－1：家庭で読み聞かせをしている保護者は、「週に1回」が29.9%、「週に2日～4日」が36.3%、「週に5日以上」が20.1%で、全体の8割強となっています。
- ①－2：1で読み聞かせをしていないと回答した家庭の一番多かった理由は、「忙しくて時間がない」59.2%でした。
- ①－3：読み聞かせが大切だと考える家庭は、99.8%（「思う」：81.8%、「どちらかといえば思う」：18.0%）でした。
- ①－4：家庭での読書についての取組例としては、本とふれあう機会を提供するものが多く、読み聞かせは26.9%でした。



ブックスタート「あかちゃん広場」の様子  
(子育て支援課主催)



親子で読み聞かせ

【表2】「くまどく」について

②「くまどく」について			週に5日以上	週に2日～4日	週に1回	していない	その他	合計
1	「くまどく」を一週間に何日していますか。	小計	62	131	141	87	13	434
		割合	14.3%	30.2%	32.5%	20.0%	3.0%	100%
			続けたい	どちらかといえば続けたい	どちらかといえば続けたくない	続けたくない	その他	合計
2	「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。	小計	177	162	43	19	20	421
		割合	42.0%	38.5%	10.2%	4.5%	4.8%	100%
			家族とあまり本を読む時間がないから	本が好きではないから	「くまどくノート」の記入が大変だから	その他	—	合計
3	2で「どちらかといえば続けたくない」「続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可)	小計	28	10	44	8	0	90
		割合	31.1%	11.1%	48.9%	8.9%	0.0%	100%

(参考資料：資料17 幼稚園・保育園—21、24、25)

- ②-1：「週に1回」32.5%、「週に2日～4日」30.2%、「週に5日以上」14.3%と約8割が週に1回以上行っているという結果でした。
- ②-2：「くまどく」を「続けたい」42.0%、「どちらかといえば続けたい」38.5%と回答した保護者は80.5%で、約8割の家庭が続けたいとの回答でした。
- ②-3：2で、「どちらかといえば続けたくない」、「続けたくない」と回答した家庭の主な理由は、「『くまどくノート』の記入が大変だから」48.9%、「家族とあまり本を読む時間がないから」31.1%でした。



町内幼稚園・保育園・認定こども園に青少年育成くまの町民会議から絵本の贈呈が行われる

#### 〔考察〕

読み聞かせは大事だと考える家庭は99.8%でした。読書の重要性は幼稚園・保育園・認定こども園の取組により、保護者に浸透しています。

読み聞かせを実践できていない家庭の理由は、忙しくて時間がないというものでした。「くまどくノート」についても、幼稚園・保育園・認定こども園児の保護者は、読み聞かせをした上でノートの記入もしなければならず、題名だけでなく内容を要約し記入するようになっている（作者と内容の記入は任意である）ことが、記録の継続が難しい、ノートを提出しづらい要因の一つかと考えます。

今後も「くまどく」を進めるにあたり、各家庭環境により読み聞かせ等に割ける時間は異なるため、保護者が困難に感じる部分に配慮し、策を講じる必要があります。

## 《小学校》

【表3】読書について

③読書について		週に5日以上	週に2日～4日	週に1回	していない	—	合計	
1	家庭で読み聞かせをしていますか。	小計	29	155	196	536	0	916
		割合	3.2%	16.9%	21.4%	58.5%	0.0%	100%
		忙しくて時間がない	どのように読み聞かせをすればいいかわからない	身近に本がない	子どもが本を読んでほしいと言わないから	その他	合計	
2	1で、「していない」と回答した人に質問します。読み聞かせをしていない理由は何ですか。(※複数回答可)	小計	284	11	21	189	110	615
		割合	46.2%	1.8%	3.4%	30.7%	17.9%	100%
		思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	—	合計	
3	あなたは、読み聞かせは大切だと思いますか。	小計	515	317	36	2	0	870
		割合	58.0%	35.7%	4.1%	2.3%	0.0%	100%
		保護者がすすんで読書をする	本を読んで聞かせる(読み聞かせ)	『くまどく』をする	家に本をたくさん置く	その他	合計	
4	お父さんが本への関心をもてるよう、家庭で取組をしていますか。(※複数回答可)	小計	153	211	434	274	253	1325
		割合	11.5%	15.9%	32.8%	20.7%	19.1%	100%

(参考資料：資料12 小学校-7、8、10、12)

- ③-1：約6割は読み聞かせをしていないという回答でした。残る4割の内訳は「週に1回」21.4%、「週に2日～4日」16.9%、「週に5日以上」3.2%でした。
- ③-2：読み聞かせをしていないと回答した家庭の主な理由は、「忙しくて時間がない」46.2%、「子どもが本を読んでほしいと言わないから」30.7%でした。
- ③-3：読み聞かせが大切だと考える家庭は、9割以上でした。
- ③-4：家庭における主な取組は、「『くまどく』をする」32.8%、「家に本をたくさん置く」20.7%、「本を読んで聞かせる」15.9%でした。



「子ども司書」による読み聞かせ（熊野第二小学校）



図書まつりの様子（熊野第三小学校）



【表4】「くまどく」について

④「くまどく」について			週に5日以上	週に2日～4日	週に1回	していない	その他	合計
1	「くまどく」を一週間に何日していますか。	小計	32	370	439	195	0	1036
		割合	3.1%	35.7%	42.4%	18.8%	0.0%	100%
			続けたい	どちらかといえば 続けたい	どちらかといえば 続けたくない	続けたくない	その他	合計
2	「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。	小計	206	434	237	133	47	1057
		割合	19.5%	41.1%	22.4%	12.6%	4.4%	100%
			家族とあまり本を読む 時間がないから	本が好きではないから	「くまどくノート」の記入が 大変だから	その他	—	合計
3	2で「どちらかといえば続けたくない」「続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可)	小計	170	159	228	85	16	658
		割合	25.8%	24.2%	34.7%	12.9%	2.4%	100%

(参考資料：資料14 小学校-21、24、25)

- ④-1：「週に1回」42.4%、「週に2日～4日」35.7%、「週に5日以上」3.1%と約8割が「くまどく」を家庭で実践しており、18.8%はしていないという回答でした。
- ④-2：「くまどく」を「続けたい」19.5%、「どちらかといえば続けたい」41.1%という回答をあわせて約6割で、幼稚園・保育園・認定こども園と比べると2割減という結果でした。
- ④-3：「くまどく」を「続けたくない」「どちらかといえば続けたくない」の主な理由は、「『くまどくノート』の記入が大変だから」34.7%、「家族とあまり本を読む時間がないから」25.8%、「本が好きではないから」24.2%でした。

## 〔考察〕

読書力や文章力、語彙力など、読書をすることで得られるものの重要性は、幼稚園・保育園・認定こども園と同じく保護者に浸透しています。

しかし、忙しく時間がとれないことや、ノートの記入が大変であることから「くまどく」を続けたくないという声も多く、読書の重要性を理解した保護者が多い分、負担にならない方法で実施して欲しいという意見がみられました。また、「くまどく」を宿題として読書を強制することで、子どもが読書を敬遠したり、嫌いになってしまうことを危惧する声が多くみられました。

幼稚園・保育園・認定こども園児に比べて、小学校3・4年生くらいになると、読書やノートの記入を子ども自身で取り組めるようになるため、高学年になるにつれ「くまどく」自体が、“親子で取り組む読書活動”というスタンスから、“子ども自身で取り組むべきもの”“保護者は見守るもの”という風に、子どもの成長と相まって変化しています。



休憩時間の図書室の様子（熊野第一小学校）

《中学校》

【図表5】読書について

※中学生の保護者には家庭での読み聞かせに関するアンケートを実施していない

⑤読書について			好き	どちらかという好き	どちらかという好きではない	好きではない	—	合計
1	あなたは(保護者・記入者)は、本を読むことは好きですか。	小計	132	187	149	45	0	513
		割合	25.7%	36.5%	29.0%	8.8%	0.0%	100%
			1冊	2冊～5冊	6冊～9冊	10冊以上	読まない	合計
2	あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。	小計	133	120	7	10	245	515
		割合	25.8%	23.3%	1.4%	1.9%	47.6%	100%
			読書は好きではないから	読みたい本がないから	仕事・家事・趣味等で時間がないから	テレビ、スマホやSNSの方が楽しいから	その他	合計
3	2で「読まない」と答えた人に質問します。本を読まない理由は何ですか。	小計	37	21	171	19	5	253
		割合	14.6%	8.3%	67.6%	7.5%	2.0%	100%
			思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	—	合計
4	あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。	小計	344	180	6	3	0	513
		割合	67.1%	31.2%	1.2%	0.6%	0.0%	100%
			保護者がすすんで読書をする	本を読んで聞かせる(読み聞かせ)	「くまどく」をする	家に本をたくさん置く	その他	合計
5	お子さんが本への関心をもてるよう、家庭で取組をしていますか。(※複数回答可)	小計	78	23	33	96	99	327
		割合	23.2%	7.0%	10.1%	28.4%	30.3%	100%

(参考資料：資料12 中学校-1、2、4、5、12)

- ⑤-1：保護者自身が読書が好きかどうかについて、「好き」25.7%、「どちらかという好き」36.5%という回答があわせて約6割程度でした。
- ⑤-2：1か月にどれくらい本を読むかについて、「読まない」という保護者が47.6%、「1冊～5冊読む」という保護者が49.1%、「6冊以上読む」という保護者が3.3%で、1か月に1冊は本を読んでいる保護者が半数以上という結果でした。
- ⑤-3：2で本を「読まない」と回答した保護者について、主な理由は、「仕事・家事・趣味等で時間がないから」67.6%でした。
- ⑤-4：読書について保護者自身は、大切だと「思う」67.1%、「どちらかというと思う」31.2%と、あわせて98.3%が本を読むことは大切だと捉えています。
- ⑤-5：家庭での取組については、読み聞かせは7.0%とほとんどなく、「保護者がすすんで読書をする」(お手本を見せる)や「家に本をたくさん置く」などの、子どもの自主性(自分で選ぶ、自分で読む)を育むために本とふれあう環境づくりが主だった理由です(82.9%)。



図書室の様子(熊野東中)

【図表6】「くまどく」について

⑥「くまどく」について			週に5日以上	週に2日～4日	週に1回	していない	その他	合計
1	「くまどく」を一週間に何日していますか。	小計	4	40	105	294	41	484
		割合	0.8%	8.3%	21.7%	60.7%	8.5%	100%
			続けたい	どちらかといえば続けたい	どちらかといえば続けたくない	続けたくない	その他	合計
2	「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。	小計	55	141	118	97	64	475
		割合	11.6%	29.7%	24.8%	20.4%	13.5%	100%
			家族とあまり本を読む時間がないから	本が好きではないから	「くまどくノート」の記入が大変だから	その他	—	合計
3	2で「どちらかといえば続けたくない」「続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。 (※複数回答可)	小計	73	85	102	80	44	384
		割合	19.0%	22.1%	26.6%	20.8%	11.5%	100%

(参考資料：資料14 中学校—21、24、25)

- ⑥-1：「くまどく」をしていない家庭は60.7%で、小学校の18.8%から急激に増える結果となりました。
- ⑥-2：「くまどく」を「続けたい」または「どちらかといえば続けたい」と回答した家庭は41.3%、「続けたくない」または「どちらかといえば続けたくない」と回答した家庭は45.2%と、ほぼ差がありません。
- ⑥-3：『くまどくノート』の記入が大変だから」26.6%が続けたくない主な理由でした。

## 〔考察〕

読書の大切さについて、保護者の理解は十分に得られていますが、その一方で、読書は子ども自身が取り組めば良い（保護者と取り組まなくても良い）という考えの保護者が増えています。中学生の保護者は子どもに対し、小学生の保護者より一層、子どもの自主性を求めている傾向にあります。これらのことから、「くまどく」事業が目的とする、読書を“親子のコミュニケーションツール”の一つとして扱う在り方は、中学生の保護者は求めている、必要としていないことがわかります。

## ～幼稚園・保育園・認定こども園から中学校までのアンケート結果から見えた現状～

- ・読書の重要性は、幼稚園・保育園・認定こども園から中学校まで、総じて十分に理解を得られていることがわかります。
- ・各年代の保護者が読書の重要性について十分に理解している反面、「くまどく」や読書に関するアンケートの肯定的な数値は高くありませんでした。「くまどく」事業を続けて欲しいという声がある中で、外的要因（「くまどくノート」の記入時間が取れない・家事や仕事で忙しい・読書の強制感など）によって、数値結果につながらないものの対策を講じる必要があります。
- ・「くまどく」事業の大きな目的として、家庭読書による家族間コミュニケーションの深まりと「ことばの力」の向上を掲げてきました。しかし、そういった考えと、各年代の保護者の思いとの間にギャップがあるため、そのギャップをどのようにして埋めるかが重要となります。

## 取組

## (1) 家庭読書推進事業「くまどく」の推進

## ① 各年代の「くまどく」の目的を明確化

熊野町では、平成24年度から家庭での読書による、家族間コミュニケーションの深まりと「ことばの力」の向上を目的とした「くまどく」事業に取り組んできました。

しかし、この度のアンケート結果から、各年代の保護者が「くまどく」に求めている要素がそれぞれ異なるということがわかりました。就学前の保護者アンケートと中学校の保護者アンケートを比較してみても、読書（読み聞かせ）や「くまどく」を親子のコミュニケーションツールとして捉えているかどうかには差があり、中学生の保護者はこのような在り方は、“もはや求めている”“必要としていない”ことがわかりました。

今後は、「くまどく」事業の大きな目的と、各年代やそれぞれの目的を明確化したものにより、必要事項を取捨選択していくことが重要です。そのため、次の年代別目的表に則って「くまどく」事業に取り組めます。

## 【年代別目的表】

<b>【幼稚園・保育園・認定こども園等、未就園児】（出逢い）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の発達を促し、想像力を養う。</li> <li>・読み聞かせによって本に興味を持たせる。</li> </ul>
<b>【小学生（低学年）】（ふれあい）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせだけでなく、児童による自主的な読書から語彙力の増加を狙う。</li> <li>・言葉ひとつひとつから、具体的な情景を思い描けるイメージ力を養う。</li> </ul>
<b>【小学生（中学年）】（向かい合い）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読み切る力を養う。</li> <li>・児童が自分の持つ考え方と比較をしながら本を読む力を育む。</li> </ul>
<b>【小学生（高学年）】（当てはめる）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が本を自分で選択し、本が持つ良さについて理解する力を育む。</li> </ul>
<b>【中学生】（役立てる）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の将来に読書を活かし、役立てようという考えを育む。</li> </ul>



## ② 引き続き、読書及び「くまどく」事業の推進

アンケート結果により、読書の重要性は保護者間で十分に理解を得られているものと考えられます。幼稚園・保育園・認定こども園から小学校・中学校までが一貫して、読書の重要性を説いてきた結果です。引き続き関係機関と連携し、読書に関する理解をより深めてもらえるよう努めます。

そして、「くまどく」について“読書を強制されるもの”というようなマイナスイメージを抱く保護者は少なくありませんでした。記録方法の見直しや啓発カレンダーの作成、「くまどくフォーラム」など催しの実施により、「くまどく」の目的を理解してもらえるよう取り組みます。



くまどく啓発カレンダー（表紙）



くまどくフォーラムの様子

## ③ 「くまどく」の記録方法についての見直し

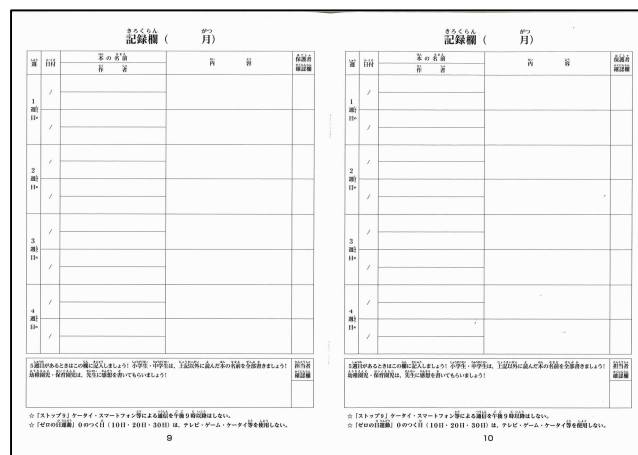
現在、「くまどくノート」は、乳幼児から中学生までが共通して使用できるノートとなっています。記録方法は年代によって異なります（任意記入箇所がある、チェックの方法が異なるなど）が、記録する記入枠の大きさは共通しています。

しかし、子どもの成長によって各年代の目的や読書に求められるものが異なるため、記入枠の大きさや記録する内容を統一した現在の様式では、記入に時間が取れないなどの問題が生じ、「くまどくノート」の普及に影響を及ぼしています。

「くまどくノート」の在り方について今一度見直し、各年代の読書の目的に沿った記録方法に変更します。



くまどくノート



くまどくノート 記録用ページ

子供の読書に関する発達段階ごとの特徴について、平成30年3月に出された「子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ」では、次のように述べられています。

---

① 幼稚園、保育所等の時期（おおむね6歳頃まで）

乳幼児期には、周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。さらに様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

② 小学生の時期（おおむね6歳から12歳まで）

低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子供とそうでない子供の違いが現れ始める。読み通すことができる子供は、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。

高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

③ 中学生の時期（おおむね12歳から15歳まで）

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

④ 高校生の時期（おおむね15歳から18歳まで）

読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができる水準に達し、知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる。

---

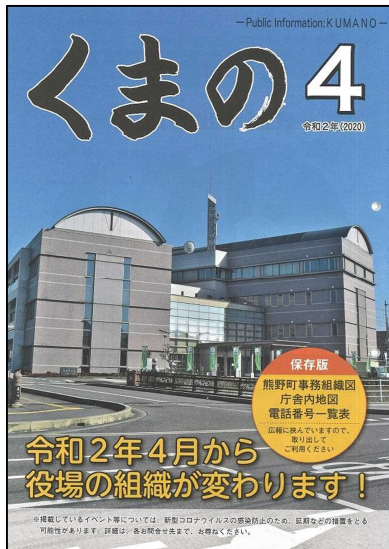
（中略）

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、上記のような発達段階ごとの特徴を踏まえつつ、乳幼児、児童、生徒の一人一人の発達や読書経験に留意し、家庭、地域、幼稚園・保育所・認定こども園等、学校において、切れ目のない取組が進められることが重要です。

出典：広島県子供の読書活動推進計画（第四次）「コラム① 発達段階に応じた取組について」

(2) 「ストップ9 (ナイン)」(※1) 「ゼロの日運動」(※2) の推進

現在、熊野町広報紙や「くまどく啓発カレンダー」への掲載や各小中学校で作成した冊子「当たり前前のことを当たり前」での啓発を行っています。「ストップ9」「ゼロの日運動」は、家族間のコミュニケーションや子ども自身の学習時間確保のための取組です。引き続きこれらの活動を推進します。



熊野町広報紙「広報くまの4」



くまどく啓発カレンダー



熊野町小中学校 作成冊子

(※1) ストップ9 (ナイン)

夜9時以降のインターネットやスマートフォン・LINE等の使用をしないようにし、家族との団らんや学習時間の確保に努め、通信機器等によるトラブルを防止するための取組です。

(※2) 「ゼロの日運動」

熊野町では、毎月0 (ゼロ) のつく10日・20日・30日は、「ゼロの日運動」を推進しています。子どもの健康の保持増進、生活リズムの確立、家庭学習の充実、家庭でのよりよいコミュニケーション等のために、ノーテレビ、ノーゲーム、ノー携帯の日として、家庭でも意識して取組を進めています。



## 2 学校における現状と取組

### (1) 学校教育法と新学習指導要領

子どもの読書習慣を形成していく上で、学校はかけがえのない大きな役割を担っています。学校教育法（昭和22年法律第26号・令和元年5月改正）において、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」（第21条第5号）と規定されています。

また、新学習指導要領（平成30年3月）においても、言語能力の育成を図るために、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、言語能力を充実させることや学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童・生徒の自主的、自発的な読書活動を充実することが規定されています。

学校は児童・生徒が本に親しむ読書習慣を形成するため、児童・生徒の実態に応じた本に親しませる取組の推進や読書機会の確保等をおこなっていくことが必要です。

### (2) 学校図書館の運営に関わる教職員の役割

学校図書館法（昭和28年法律第185号・平成27年6月改正）において、「学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない（第5条第1号）」、「学校には、司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員を置くように努めなければならない（第5条第6号）」と規定されています。

校長	学校図書館の館長としての役割を担う。校長のリーダーシップの下、計画的・組織的に学校図書館の運営がなされる必要がある。
司書教諭	学校図書館資料の選択・収集・提供のほか、学校図書館を活用した教育活動の企画の実施、教育課程の編成に関する他教員への助言等、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う。
学校司書	専ら学校図書館の職務に従事する職員である。司書教諭と連携しながら、多様な読書活動を企画・実施したり、学校図書館サービスの改善・充実を図ったりしていく役割を担う。

参考：「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」「学校図書館ガイドライン」

### (3) 学校図書館の役割と評価

文部科学省「学校図書館ガイドライン」（平成28年11月）では、これからの学校図書館は、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割を期待されています。例えば、児童・生徒がグループ別の調べ学習等において、課題の発見・解決に向けて必要な資料や情報の活用を通じた学習活動等を行うことができるよう、学校図書館の施設を整備・改善していくことが望ましいと示しています。

また、コミュニティ・スクールにおいては、学校図書館の評価に当たって学校運営協議会を活用するなど保護者や地域の方の視点を取り入れていき、その評価結果を踏まえて改善していくことが望ましいと示しています。



## 1 児童・生徒

## 現状

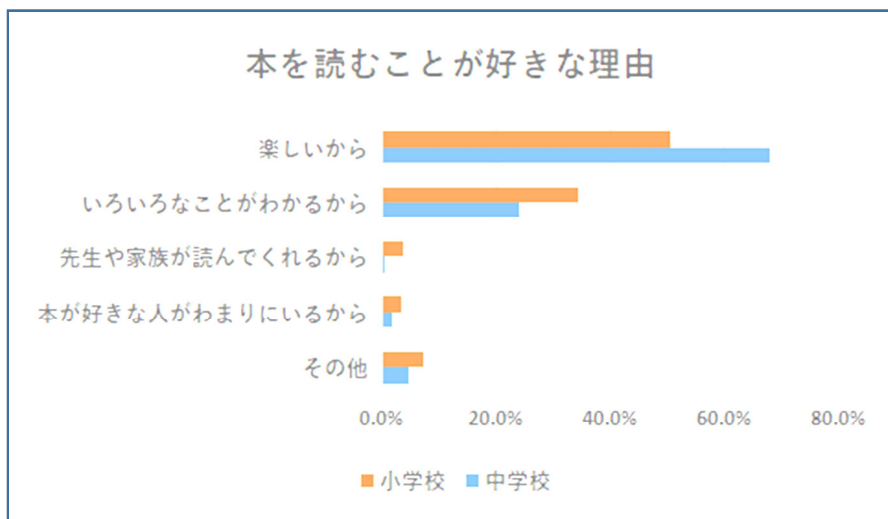
令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画「児童・生徒アンケート」結果より

【表1】本に親しむ

①読書について		学校	好き	どちらかという と好き	どちらかという 好きではない	好きではない		合計
1	あなたは、本を読むことは好きですか。	小学校	52.1%	28.7%	12.2%	7.0%		1,218
		中学校	36.6%	32.8%	20.6%	9.9%		606
		全体	46.9%	30.1%	15.0%	7.9%		1,824
		学校	楽しいから	いろいろなことがわかるから	先生や家族が読んでくれるから	本が好きな人がまわりにいるから	その他	合計
2	「好き」「どちらかというと好き」と答えた人は、どうして本が好きなのですか。	小学校	50.5%	34.8%	3.9%	3.4%	7.3%	1,015
		中学校	68.1%	24.2%	0.7%	2.1%	4.9%	426
		全体	55.7%	31.6%	3.0%	3.1%	6.6%	1,441
		学校	楽しくないから	読みたい本がないから	文字を読むのが大変だから	テレビやインターネットの方がいいから	その他	合計
3	「どちらかというと好きではない」「好きではない」と答えた人は、どうして本が好きではないのですか。	小学校	10.5%	23.0%	33.1%	30.7%	2.7%	257
		中学校	19.4%	22.9%	26.4%	27.4%	4.0%	201
		全体	14.4%	22.9%	30.1%	29.3%	3.3%	458

参考資料：資料8 小学校－1、2、3・中学校－1、2、3

- ①－1：読書について、小学生は80.8%、中学生は69.4%が「好き」「どちらかというと好き」と回答しています。
- ①－2：「楽しい」「いろいろなことがわかる」の回答が小学生は85.3%、中学生は92.3%でした。
- ①－3：「文字を読むのが大変」「テレビやインターネットの利用」の回答が小学生は63.8%、中学生は53.8%でした。



本を読むことが「好き」「どちらかというと好き」と答えた割合は、小学生の方が高いです。

左図では、その理由として「楽しいから」と答えた割合は、中学生の方が高いことがわかります。

【表2】不読率について

②不読率について		学校	1冊	2冊～5冊	6冊～9冊	10冊以上	読まない		合計
1	1か月に、どれくらい本を読みますか。	小学校	8.0%	33.9%	26.1%	28.1%	3.8%		1,205
		中学校	28.5%	45.3%	7.3%	5.3%	13.6%		589
		全体	14.8%	37.6%	20.0%	20.6%	7.0%		1,794
2	「読まない」と答えた人は、どうしてですか。	学校	本が好きでないから	読みたい本がないから	テレビやゲームで、時間が経つから	勉強やクラブ活動、友達と遊ぶから	友だちと遊ぶから	その他	合計
		小学校	17.5%	12.7%	25.4%	27.0%	14.3%	3.2%	63
		中学校	40.4%	22.3%	10.6%	14.9%	5.3%	6.4%	94
全体	31.2%	18.5%	16.6%	19.7%	8.9%	5.1%	157		

参考資料：資料8 小学校－4、5・中学校－4、5

- ②－1：小学生は複数冊読む回答が88.2%に対し、中学生は57.9%と大きな差が見られ、クラブ活動や受験勉強等で多忙になるなどの要因が考えられます。また、1冊も読まないという回答についても、小学生の3.8%に比べ、中学生は13.6%とやや高いです。
- ②－2：小学生では、「テレビやゲーム」「勉強やクラブ活動」「友達と遊ぶ」など、読書の優先度が低い回答が69.9%であり、中学生では、「本が好きではない」「読みたい本がない」など、読書に関心がない回答が62.7%を占めています。

【表3】読書の大切さについて

③読書の大切さについて		学校	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	合計
1	本を読むことは大切だと思いますか。	小学校	70.8%	20.7%	5.6%	3.0%	1,346
		中学校	49.8%	34.8%	10.6%	4.8%	578
		全体	64.5%	24.9%	7.1%	3.5%	1,924

参考資料：資料8 小学校－9・中学校－9

- ③：「大切だと思う」「どちらかという大切だと思う」と回答した小学生が91.5%、中学生が84.6%と本を読むことの大切さについて認識しています。

課題図書の展示  
(熊野第二小学校)「図書館教育ニュース」の展示  
(熊野東中学校)「部活動」図書の展示  
(熊野中学校)

## 〔考察〕

読書が好きな人の割合、1か月に読む冊数の割合、不読者の割合、読書の大切さの割合において、学校段階が進むにつれて、読書離れの傾向がみられます。

また、小学生は読書が好きでない理由として「文字を読むことの大変さ」と答えた人の割合が高いことから、読み聞かせの機会の提供などをおして、無理なく、読書の楽しみを徐々に感じていけるように導いていくことが大切です。

中学生は本を読まない理由として、本を読む時間がないという理由よりも、「本が好きではないから」という理由をあげた人の割合が多く、中学生の興味・関心やニーズを把握すること、本の魅力や読書の楽しみを伝えていくことが必要です。

また、本アンケートにおいて、本を読むことが好きな人の理由として、「楽しいから」と答えた人が、小学生より中学生の方が多く、幼い頃から読書に親しみ読書の楽しさを知った子どもは、中学生になっても本を読むことが好き、本を読むことが「楽しい」と感じるができるかと推察できます。

そのためにも、家庭、地域、学校が連携し、子どもが小さい頃から本に親しむ機会を提供し、読書の楽しみを知り、その気持ちを継続できるよう、子どもの読書活動を支援できる体制の構築が必要だと考えます。



休憩時間の図書室  
(熊野第一小学校)



「子ども司書」による児童への読み聞かせ  
(熊野第四小学校)



季節の本の紹介  
(熊野第三小学校)



3年生のおすすめの本  
(熊野東中学校)



かえるシリーズの本  
(熊野第二小学校)

## 2 教職員

### 現状

令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画「教職員アンケート」結果より

【表1】読書センターとしての機能

①読書センターとしての機能		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	学校図書館は児童・生徒の多様な興味・関心を引く魅力的な本を備えている。	小学校	19.2%	67.9%	11.5%	0.0%	1.3%	78人
		中学校	35.1%	51.4%	8.1%	0.0%	5.4%	37人
		割合	24.3%	62.7%	10.4%	0.0%	2.6%	115人
2	学校図書館は本の紹介コーナーを設けるなど、児童・生徒が読書を楽しむ場となっている。	小学校	44.9%	51.3%	2.6%	0.0%	1.3%	78人
		中学校	70.3%	18.9%	8.1%	0.0%	2.7%	37人
		割合	53.0%	40.9%	4.4%	0.0%	1.7%	115人

参考資料：資料1 小学校-1,3・中学校-1,3

- ①-1：教職員 87.0%は、学校図書館は読書センターとしての機能を果たしているとは回答しています。
- ①-2：教職員 93.9%は、児童・生徒の読みたい本を取り入れるニーズの対応や本を貸し借りしやすい環境を整えるなど読書活動の充実に向けた取組をしています。

【表2】学習センターとしての機能

②学習センターとしての機能		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	教職員は教科等の授業において、学校図書館で本や資料を活用して調べ学習等を行っている。	小学校	15.4%	60.3%	17.9%	2.6%	3.8%	78人
		中学校	2.7%	24.3%	54.1%	18.9%	0.0%	37人
		割合	11.3%	48.7%	29.6%	7.8%	2.6%	115人
2	読書週間(旬間・月間)など、読書活動を活発にするための行事を設けている(例 ビブリオバトル、読み聞かせ、ブックトーク等)。	小学校	30.8%	51.3%	12.8%	1.3%	3.8%	78人
		中学校	43.2%	29.7%	18.9%	5.4%	2.7%	37人
		割合	34.8%	44.3%	14.8%	2.6%	3.5%	115人

参考資料：資料2 小学校-6,9・中学校-6,9

- ②-1：教職員の肯定的な回答において、小学校 75.7%、中学校 27.0%と大きな差が見られます。中学校は各教科の授業において学校図書館の利活用は十分に活用できていない状況が見られます。各教科のシラバスに位置づけるなど学校図書館を計画的に利用した授業改善の工夫が必要です。
- ②-2：教職員 79.1%は、読書活動を活発にする行事を設けていると回答しています。図書委員が中心となって活動し、教職員は児童・生徒の読書推進に向けたサポートをしています。

【表3】情報センターとしての機能

③情報センターとしての機能		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	新聞コーナーや時事に関する雑誌や新書コーナーを設けている(例 中学校は進路情報等)。	小学校	18.2%	27.3%	27.3%	15.6%	11.7%	77人
		中学校	54.1%	27.0%	8.1%	5.4%	5.4%	37人
		割合	29.8%	27.2%	21.1%	12.3%	9.6%	115人
2	学校図書館内に児童・生徒が検索・インターネットによる情報収集に活用できる情報メディア機器が整備されている。	小学校	3.8%	16.7%	6.4%	65.4%	7.7%	78人
		中学校	5.4%	8.1%	10.8%	62.2%	13.5%	37人
		割合	4.4%	13.9%	7.8%	64.3%	9.6%	115人

参考資料：資料3 小学校－11、15・中学校－11、15

- ③－1：学校図書館入口周辺に時事ニュースのポスターの掲示、新聞や進路情報のコーナーを設けるなど工夫が見られます。
- ③－2：学校図書館ではコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用する必要な環境が整備されていないため、教職員 64.3%は「あてはまらない」等の否定的な回答をしています。

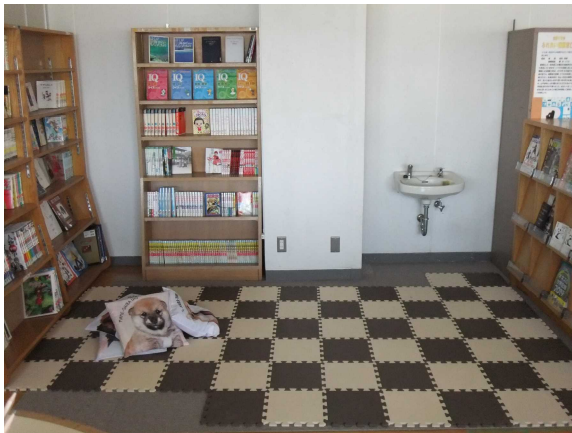
新聞を活用した取組  
(熊野第二小学校)図書室前の掲示板に高校入試情報コーナー  
(熊野中学校)

【表4】個に応じた取組

④個に応じた取組		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	本をあまり読まない、もしくは不読の児童・生徒を把握し、個に応じた指導を行っている。	小学校	6.4%	38.5%	24.4%	7.7%	23.1%	78人
		中学校	0.0%	21.6%	35.1%	21.6%	21.6%	37人
		割合	4.3%	33.1%	27.8%	12.2%	22.6%	115人
2	不登校や一時的に学級になじめない児童・生徒の「心の居場所」として活用されている。	小学校	3.8%	14.1%	20.5%	32.1%	29.5%	78人
		中学校	0.0%	8.1%	24.3%	51.4%	16.2%	37人
		割合	2.6%	12.2%	21.7%	38.3%	25.2%	115人

参考資料：資料4 小学校－17、20・中学校－17、20

- ④－1：学校図書館を利用するのは、いつも同じ児童・生徒の傾向が見られます。教職員は不読の児童・生徒への読書の働きかけは十分ではない回答をしています。
- ④－2：不登校傾向や悩みを抱える児童・生徒の「心の居場所」となる活用は十分ではない回答をしています。



マットを敷き詰めた空間  
(熊野中学校)



個別の読書空間  
(熊野東中学校)

【表5】教職員・学校司書の状況

⑤教職員・学校司書の状況		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	学校図書館の利活用方法や約束事が決まっており、毎年、オリエンテーションを行う等、児童・生徒への指導を行っている。	小学校	24.4%	51.3%	7.7%	1.3%	15.4%	78人
		中学校	43.2%	27.0%	13.5%	8.1%	8.1%	37人
		割合	30.4%	43.5%	9.6%	3.5%	13.0%	115人
		合計						
2	教職員・学校司書が連携して、児童・生徒の登校時から下校時までの学校図書館の開館に務めている。	小学校	10.8%	33.3%	21.8%	17.9%	16.7%	78人
		中学校	5.4%	40.5%	24.3%	24.3%	5.4%	37人
		割合	8.7%	35.7%	22.6%	20.0%	13.0%	115人
		合計						

参考資料：資料5 小学校－24、25・中学校－24、25

- ⑤－1：児童・生徒への学校図書館の利活用方法や約束事は本来「あてはまる」が求められます。教職員の回答は小学校24.4%、中学校43.2%と低い現状です。
- ⑤－2：学校図書館の開館時間は短いため、「あてはまる」の肯定的な回答は8.7%と低いです。学校司書の勤務時間に柔軟性をもたせるなど、開館時間の検討が必要です。

【表6】外部との連携

⑥外部との連携		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	保護者と連携・協力した読書活動推進の普及啓発活動を行っている(例 子ども読書の日、文字・活字文化の日等)。	小学校	16.7%	52.6%	12.8%	3.8%	14.1%	78人
		中学校	0.0%	10.8%	18.9%	43.2%	27.0%	37人
		割合	11.3%	39.1%	22.6%	10.5%	16.5%	115人
		合計						
2	町立図書館や他の学校との連携を図っている(例 町立図書館又は学校間での圖書の貸出や町立図書館の司書による読み聞かせや朗読等)。	小学校	16.7%	42.3%	19.2%	3.8%	17.9%	78人
		中学校	0.0%	16.2%	24.3%	21.6%	37.8%	37人
		割合	11.3%	33.9%	20.9%	9.6%	24.3%	115人
		合計						

参考資料：資料6 小学校－26、30・中学校－26、30

- ⑥－1：教職員の肯定的な回答において、小学校69.3%、中学校10.8%と大きな差が見られます。保護者と読書活動の連携や協力について見直しが必要です。
- ⑥－2：教職員の肯定的な回答において、小学校59.0%、中学校16.2%と大きな差が見られます。町立図書館や他の小中学校との読書活動の連携や協力について見直しが必要です。

【表7】「くまどく」の取組

⑦「くまどく」の取組		教職員	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答	合計
1	「くまどく」ノートを十分に活用(提出状況, 教員のコメント, 保護者印)し, 家庭での読書活動への支援を行っている。	小学校	28.2%	47.4%	11.5%	1.3%	11.5%	78人
		中学校	5.4%	29.7%	37.8%	13.5%	13.5%	37人
		割合	20.9%	41.7%	20.0%	5.2%	12.2%	115人
2	教職員・学校司書もしくは図書委員により定期的に読み聞かせや朗読, ブックトークを行っている。	小学校	25.6%	46.2%	12.8%	3.8%	11.5%	78人
		中学校	16.2%	48.6%	16.2%	8.1%	10.8%	37人
		割合	33.0%	38.3%	8.7%	8.7%	11.3%	115人

参考資料：資料7 小学校-33、35・中学校-33、35

- ⑦-1：教職員の肯定的な回答において、小学校 75.6%、中学校 35.1%と大きな差が見られます。特に中学校は児童・生徒アンケートや保護者アンケートの結果をふまえ、「くまどく」の取組について効果的な活用や支援について見直しが必要です。
- ⑦-2：小中学校の教職員の回答に分散が見られます。一部の教職員の取組になっている状況も見られるため、読書活動の推進についてはベクトルをそろえていくことが必要です。

#### 〔考察〕

【表3】から【表7】において、教職員の「わからない・無回答」の回答は約1割もしくは2割以上を占めており、学校図書館は司書教諭や学校司書など担当者に任せている傾向が見られます。

不登校傾向や悩みを抱える児童・生徒にとって、学校図書館は「心の居場所」となる取組においては、教職員の認識に差が見られ、共有されていない状況が見られます。個別最適な学びの視点から教職員の共有化が必要です。



図書委員による  
読書キャンペーンの準備  
(熊野第一小学校)



図書委員による文化祭の紙芝居  
(熊野中学校)

### 3 学校における取組

#### 取組

#### (1) 学校における読書活動全体計画及び年間指導計画の作成

各学校において、児童・生徒の望ましい読書習慣の形成を図り、日常生活において読書活動が活発に行われるよう、創意工夫を生かした取組が期待されます。また、各学校において児童・生徒の主体的な読書活動を推進していくためには、全教職員が連携して取り組まなければなりません。

そのために、すべての学校が読書活動の全体計画及び年間指導計画を作成するように取り組みます。

#### (2) 「朝読」活動の推進

熊野町では、「朝読」実施率が、小学校、中学校ともに100%でした。「朝読」は、児童・生徒の読書習慣の定着を図るために有効であり、引き続き実施していきます。



「朝読」活動  
(熊野中学校)

#### (3) 読書の好きな児童・生徒の育成

平成30年度の広島県「基礎・基本」定着状況調査の「本を読むのが好き」という質問に対して、肯定的な回答をした児童は80.9%、生徒は71.7%いましたが、熊野町では児童は80.8%、生徒は69.4%と広島県を下回っていました。

今後は、「くまどく」事業を一層推進させるとともに、言語活動の充実により児童の学力向上を図っています。

#### (4) 調べ学習の取組の推進

児童・生徒の読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身に付けさせるためには日常の学習指導に学校図書館等を活用した調べ学習を積極的に取り入れることが有効です。

各教科等での学習において、課題に対して、主体的に解決していくために、学校図書館等を使った調べ学習を取り入れて、本を活用する体験をさせていきます。

#### (5) 作品の応募や発表の場の確保

読書した感想を発表したり、文章にしたりすることは、本の内容を深く理解し、自分の考えをまとめるとともに、表現力を高める上で効果的です。

各学校で、読書感想文や自分の読んだ本の紹介等を行うビブリオバトルなどの発表の機会を設けたり、読書の楽しさや本の楽しさを広めていくことが大切です。



## (6) 「子ども司書」養成講座

熊野町教育委員会は小学校と連携し、小学5年生の希望者を対象に読書活動を推進するリーダーを育成し、学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図っています。

## 「子ども司書」養成講座の目的

- ・熊野町内に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図る。
- ・「くまどく」事業を一層推進させるとともに、言語活動の充実により児童の学力向上を図る。

おもな研修は、本の読み聞かせやPOP作り、本の整理や貸出業務体験等の研修を行います。また、保育園に行き園児に絵本の読み聞かせ体験をしています。講座で学んだことを活かして各小学校の図書室で読書活動を行います。

すべての講座を修了した場合、2月に開催される広島県教育委員会主催の「子ども司書」認証式で認証されます。



全体研修



保育園で絵本の読み聞かせ体験



町立図書館で本の整理



ポップ作り

※「子ども司書」養成講座は例年6月に熊野町立図書館と熊野町役場で実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、10月から12月にかけて実施予定となっています。

## (7) 関係機関の連携

学校は町立図書館や各学校と連携し、資料を相互に貸し借りしたり、収集資料の分担化等を推進していきます。

町内の図書司書や司書教諭及び町立図書館、それに関わる教育委員会事務局による連絡会を継続実施し、子どもの読書活動に関する情報の提供や交流を行う機会を設けるよう努めます。また、読書指導に関する研修会等を実施して、司書教諭及び学校司書の指導力の向上を図ります。

## (8) 「子ども読書の日」等の取組

各学校において、「子ども読書の日」が定められた経緯やその目的等について紹介し、学校での取組や親子で読書を通じて関わり合う家庭読書の推進について呼びかけ等を実施しています。また、読書週間を設け、図書委員会が中心となった読書活動の啓発に取り組みます。



「子ども司書」のグループワーク

## 3 町立図書館における現状と取組

子どもにとって、図書館は、その豊富な蔵書の中から読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。また、保護者にとっても、子どもに読ませたい本を選択したり、子どもの読書について司書等に相談したりすることができる場所です。

図書館は、子どもや保護者を対象としたおはなし会、講座、イベント等を実施するほか、子どもの読書活動を推進する団体の支援、多様なボランティア活動等の機会や場所の提供等を行い、各学校等と連携しながら、地域における子どもの読書活動を推進する上で重要な役割を果たしていくよう努めます。

### 現 状

令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画「児童・生徒・保護者アンケート」結果より

【表1】図書館の利用状況（児童・生徒）

①あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。		児童・生徒	よく行く	ときどき行く	あまり行かない	行かない	-	合計
1	あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。	小学校	18.9%	35.2%	28.3%	17.6%	-	1,212人
		中学校	3.7%	22.1%	38.6%	35.7%	-	594人
		全 体	13.9%	30.9%	31.7%	23.5%	-	1,806人
2	1で「よく行く」「ときどき行く」と答えた人に質問します。1か月に、どれくらい行きますか。	児童・生徒	6日以上	4-5日	2-3日	1日	-	合計
		小学校	16.6%	19.9%	38.4%	25.1%	-	662人
		中学校	7.5%	15.1%	40.3%	37.1%	-	159人
		全 体	14.9%	19.0%	38.7%	27.4%	-	821人
3	1で「あまり行かない」「行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。	児童・生徒	家から遠い	他にすることがある	読みたい本がない	本が好きではない	その他	合計
		小学校	42.5%	25.5%	7.6%	7.1%	17.2%	603人
		中学校	44.4%	28.1%	7.6%	8.9%	10.9%	459人
		全 体	43.3%	26.7%	7.6%	7.9%	14.5%	1,062人

(参考資料：資料10 小学校-16、17、18・中学校-16、17、18)

- ①-1：町立図書館に「よく行く」「ときどき行く」と回答した割合は、小学生は54.1%に対し、中学生は25.8%にとどまっており、中学生になると町立図書館の利用が減少する傾向が見られます。
- ①-2：町立図書館を1か月に利用する頻度は、小中学生ともに「2～3日」との回答が最も多く、小学生は38.4%、中学生は40.3%でした。1か月に「4日以上利用する」と回答した小学生は36.5%であるのに対し、中学生は22.6%となっており、利用回数においても、中学生になると減少する傾向が見られます。
- ①-3：町立図書館に「あまり行かない」「行かない」と答えた小学生、中学生の割合は、「家から遠い」「他にすることがある」など物理的・時間的要因によるものが多く、

また、「その他」と回答した理由については、小中学生とも「時間がない」が最も多く、小学生では「図書館の場所がわからない」「家族が連れて行ってくれない」中学生では「町立図書館に行こうと思わない」「町立図書館に行く必要がない」「町立図書館に行く目的がない」「本は自分で購入して読む」という回答も多く見られました。

【表2】図書館の利用状況（保護者）

②町立図書館の利用状況(保護者)		保護者	よく行く	ときどき行く	あまり行かない	行かない	-	合計
1	あなた(保護者・記入者)は、「熊野町立図書館」に行きますか。	幼稚園・保育園・認定こども園	16.5%	34.1%	19.7%	29.7%	-	437人
		小学校	16.1%	41.1%	23.1%	19.7%	-	1,074人
		中学校	8.8%	32.4%	28.0%	30.8%	-	510人
		全体	14.3%	37.4%	23.6%	24.7%	-	2,021人
2	1で「よく行く」「ときどき行く」と答えた人に質問します。誰と一緒に町立図書館に行きますか。(※複数回答可)	保護者	ひとりで	おさんと	家族と	友人と	その他	合計
		幼稚園・保育園・認定こども園	24.2%	65.2%	9.9%	0.0%	0.7%	302人
		小学校	22.6%	66.8%	10.2%	0.1%	0.4%	798人
		中学校	34.2%	52.4%	12.0%	1.1%	0.4%	275人
全体	25.2%	63.6%	10.5%	0.3%	0.4%	1,375人		
3	1で「あまり行かない」「行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。(※複数回答可)	保護者	家から遠い	他にすることがある	読みたい本がない	本が好きではない	その他	合計
		幼稚園・保育園・認定こども園	21.4%	50.0%	3.0%	4.3%	21.4%	234人
		小学校	20.6%	47.0%	5.4%	13.5%	13.5%	534人
		中学校	19.6%	47.9%	7.7%	8.6%	16.1%	336人
全体	20.5%	47.9%	5.6%	10.1%	15.9%	1,104人		

(参考資料：資料13 小中学生の保護者-14、15、16・資料16 幼稚園・保育園・認定こども園の保護者-14、15、16)

- ②-1：51.7%の保護者が、町立図書館に「よく行く」「ときどき行く」と回答しており、保育園・幼稚園の園児の保護者は50.6%、小学生の保護者は57.2%、中学生の保護者は41.2%でした。
- ②-2：町立図書館に「よく行く」「ときどき行く」と回答した74.1%の保護者が、「子ども」「家族と」一緒に行くとは回答しており、保護者は家族と一緒に町立図書館を利用する傾向が見られます。
- ②-3：町立図書館に「あまり行かない」「行かない」理由は、「家から遠い」「他にすることがある」など物理的・時間的要因によるものが多いことがわかります。
- 「その他」と回答した理由については、「行きたいが時間が取れない」「図書館が開いている時間がない」「図書館に行かなくてもスマホで読める」などインターネットの普及によるもの、「書店に行くことが多い」「本を汚したり、破いたりするかもしれないので行かないようにしている」といった回答も見られました。

## 〔考察〕

## (1) 町立図書館を活用してもらうための保護者への働きかけ

「読書の大切さ」を約9割の小中学生が認識（※1）し、「本を読むことが好き」と回答している小学生は約8割、中学生は約7割（※2）であるにもかかわらず、町立図書館を利用している小学生は約5割、中学生は約3割にとどまっており、町立図書館が十分に活用されていない傾向がみられます。

町立図書館は、子どもにとって必ずしも物理的に近い場所ではないため、図書館を利用するには、家族の協力が必要です。また、保護者が図書館を利用すれば、子どもも自然と図書館を利用するようになります。しかし、約5割の保護者が町立図書館に「あまり行かない」「行かない」と回答しており、子どもへの働きかけだけでなく、保護者への働きかけも必要です。

## (2) 読書の楽しみ・喜びを知る機会の提供

読書が好きでないと回答した小中学生で「文字を読むことの大変さ」と答えた人の割合が高い（※3）ことから、町立図書館においても読み聞かせの機会の提供やイベント、講座などを通して、無理なく、読書の楽しみを徐々に感じていけるように導いていくことが大切です。

また、子どもが楽しみながら、読書を好きになっていけるような環境づくりや読書支援を行うことが大切です。

そのためにも、家庭、地域、学校が連携し、子どもの読書活動を支援していくことが必要です。



「0・1・2・3歳児のおはなし会」の様子



夏休み講座「絵本のお菓子を作ろう」の様子

- （※1）参考資料 資料8 小学校-9・中学校-9  
 （※2）参考資料 資料8 小学校-1・中学校-1  
 （※3）参考資料 資料8 小学校-3・中学校-3

## 取組

## (1) 読書に親しむ機会の充実に向けた取組

## ① プレママ・パパのクラスでの読み聞かせの案内

熊野町健康推進課と連携し、「母親学級」「両親学級」において、絵本の読み聞かせの案内や町立図書館の利用案内、おすすめ絵本の紹介冊子を配布します。

## ② おはなし会の開催

読み聞かせボランティアの協力のもと、町立図書館において、子どもの発達段階に応じたおはなし会を定期的を開催します。

「0・1・2・3歳のおはなし会」では、手遊びや絵本の読み聞かせなどをおして、親子の触れ合いを深めながら、絵本を楽しむ機会を提供します。

「おはなし会」では、主に小学生以下の子どもを対象に、絵本の読み聞かせを行い、絵本を楽しむ機会を提供します。

## ③ ブックスタート「あかちゃん広場」での町立図書館の紹介

子育て支援課と連携し、毎月6カ月児の親子を対象に実施しているブックスタートで、町立図書館や親子で楽しめる絵本の紹介などを行います。

## ④ 親子読書の啓発事業

親子読書等の大切さを再認識してもらおうきっかけとなるよう、就学前までの親子を対象に、絵本の選び方や読み聞かせなどについて楽しく学ぶ機会を提供します。

## ⑤ 子どもを対象としたイベント・講座の開催

町立図書館を知ってもらい、本や図書館に親しむきっかけとなるよう、「子ども読書の日」や夏休み期間中など年間を通して、子どもを対象とした様々なイベントや講座を開催します。

また、「週末は家族で図書館に行こう！」をキャッチフレーズに、親子で楽しめるイベントや講座などを企画し、家族での図書館利用を促します。

## ⑥ 児童書等の企画展示の実施

子どもが多くの本と出会うきっかけとなるよう、毎月興味を持ちそうなテーマを決め、テーマに沿った児童書を展示し貸出します。

## (2) 本や図書館に関する情報発信

## ① 「こどもとしょかんだより」「としょかんだよりYA」の配付

子どもと本、図書館を結ぶツールとして、新刊案内や図書館の利用方法、行事などを掲載した「こどもとしょかんだより」（未就学児用・小学生用）を毎月、「としょかんだよりYA」（中学生用）を年4回発行し、幼稚園・保育園・認定こども園の乳幼児、小中学生に配付します。また、「くまの・こども夢プラザ」や公民館等にも配布

し、未就園児の保護者にも情報発信します。

②おはなし会のチラシの配付

子育て支援課と連携し、「乳幼児医療費受給者証」を発送時に、おはなし会のチラシを同封し、広報を行います。

(3) 学校との連携の推進

子どもの読書環境をより充実させるため、学校との連携・協力体制を強化します。

①団体貸出

学校から要望のあった図書館資料を100冊まで貸出します。

②小学校への「朝読セット」の貸出

小学校を対象に、「朝読セット」（低学年、中学年、高学年向け）を選定し、学期ごとに各校に貸出し、朝読書の支援を行います。

③学習支援リストの作成・提供

学習に有効な資料の情報を提供します。

④司書連絡会を開催

町立図書館と学校図書館の司書連絡会を開催し、情報交換などを行います。

⑤小学生の施設見学の受け入れ

施設見学をすることにより、小学生が図書館を利用するきっかけや、本への親しみを持つきっかけとなるよう積極的に受け入れます。

⑥中高校生の職場体験の受け入れ

図書館の仕事を体験することにより、図書館の業務や活動を理解してもらうきっかけとなるよう積極的に受け入れます。

⑦「子ども司書」の現地研修の受け入れ

学校や地域での読書の楽しさや大切さを広めていくリーダーを養成する「子ども司書」養成講座の現地研修を受け入れ、児童の読書活動の充実に協力します。

(4) 地域との連携

①ボランティアの活用

図書館におけるボランティア活動は、子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たしています。図書館では、ボランティアを活用しながら、おはなし会などで、小学生や未就学の子どもと保護者を対象として、絵本の読み聞かせを行います。

②団体貸出の実施

幼稚園・保育園・認定こども園や地域を中心として主体的に読書活動を行う団体に、団体貸出を行います

## **IV 熊野町子どもの読書活動推進 のための環境の整備・充実**

# 1 学校における整備・充実

## 人的整備の充実

### (1) 子どもの読書活動推進のための人材の育成

熊野町では、1か月に一冊も本を読まない児童生徒の数が減少しています。「くまどく」事業に加え、本の読み聞かせやブックトーク等様々な取組の成果であると考えられます。そこで、さらに読書活動を推進するための人材育成が重要となります。

#### ○読み聞かせ等ボランティアの受け入れ

子どもの読書活動を推進していくためには、学校だけでなく、家庭や地域、図書館等と連携して、読書環境を整えることが必要です。

そのため、各学校で児童生徒と保護者が一緒に行う「くまどく」を奨励したり、読み聞かせや資料整備等のボランティアを受け入れ、児童生徒の読書に関するアンケート調査の結果を伝えたり、学校が実施している読書活動の取組を伝えたりして、読書活動推進のための人材育成を図ります。

#### ○学校図書司書の役割充実

児童・生徒及び教員へのレファレンス(※1)対応を充実させていきます。

「読書タイム」等での読み聞かせ、ブックトークを定期的実施します。

書架の整理等とともに、本の紹介等をする図書だよりを発行して、工夫した学校図書室の運営をしていきます。

#### ○司書教諭講習への参加と役割充実

大学における司書教諭講習の受講を奨励し、資格取得者の養成に努めます。

司書教諭の専門的知識・技術の向上を図ることを目的として、各種研修会への参加を推進していきます。

(※1)レファレンス 資料・情報を求める利用者に対して提供される本や資料の紹介・提供などの援助。



地域の方による「朝読」の読み聞かせ  
(熊野第四小学校)

## 物的整備の充実

## (1) 学校図書館の蔵書数

熊野町内小中学校の学校図書館は計画的に図書の整備を行った結果、現有蔵書数は標準蔵書数を上回り、蔵書数は増加しています。

【表1】 熊野町内小中学校の学校図書館蔵書数（平成31年3月31日現在）

学校名	児童 生徒数	学級数	現有 蔵書数	標準 蔵書数	差引数	達成率 (%)
熊野第一小学校	543	18	13,335	10,360	2,975	128.7
熊野第二小学校	95	6	7,175	5,080	2,095	141.2
熊野第三小学校	272	10	9,229	7,000	2,229	131.8
熊野第四小学校	374	13	10,283	8,360	1,923	123.0
熊野中学校	233	6	11,899	7,360	4,539	161.7
熊野東中学校	395	12	11,132	10,720	412	103.8

## (2) 学校図書館のリニューアル

学校図書館全体計画の目的や課題を見直し、リニューアル実施計画を取り入れるなど改善をはかり、館内の環境を整えていくことが必要です。

- 学校図書館を活用した授業・行事の計画
- 図書の適切な廃棄・更新
- 図書の分類、配架の工夫
- 必要な情報を調べやすい・探しやすい環境づくり
- 居心地のよい空間づくり
- 図書の展示方法の工夫
- 学校図書館内の清掃・改装
- 掲示物・パネル等の作成
- コーナーの設置（新着図書・季節物・教科書に出てくる図書等）

参考：広島県教育委員会「学校図書館リニューアルの手引」令和2年5月

【表2】本から学び自らの考えを深める

②学校図書室について			よく行く	ときどき行く	あまり行かない	行かない		合計
1	あなたは、授業以外学校の図書室に行きますか。	小学校	9.6%	32.2%	30.3%	27.9%		1,218
		中学校	14.3%	34.6%	29.3%	21.8%		587
		全体	11.1%	33.0%	30.0%	25.9%		1,805
			4日～5日	2日～3日	1日	その他		合計
2	「よく行く」「ときどき行く」と答えた人は、一週間にどれくらい、図書室に行きますか。	小学校	12.7%	37.6%	31.5%	18.2%		534
		中学校	21.5%	39.4%	28.7%	10.4%		317
		全体	16.0%	38.3%	30.4%	15.3%		851
			空いている時間が短いから	他にすることがあるから	読みたい本がないから	本が好きではないから	その他	合計
3	「あまり行かない」「行かない」と答えた人は、なぜ、行かないのですか。	小学校	19.8%	35.8%	15.5%	10.2%	18.8%	724
		中学校	21.6%	32.0%	23.9%	15.4%	7.2%	306
		全体	20.3%	34.7%	18.0%	11.7%	15.3%	1,030

参考資料：資料9 小学校－10、11、12・中学校－10、11、12

- ②－1：図書室の利用について、小学生は58.2%、中学生は51.1%が「あまり行かない」「行かない」と回答しています。
- ②－2：小学生は50.3%、中学生は60.9%が週に2日～5日利用していると回答しています。
- ②－3：「空いている時間が短い」と回答した児童・生徒が約2割を占め、学校の工夫が必要です。



学校図書館でのおすすめの本  
(熊野第四小学校)

【表3】目的に応じて利用する

③目的に応じて利用する			本を読むため	調べものをするため	休憩やリラックスするため	利用したことがない	その他	合計
1	あなたは、学校の図書室を、どんなときに利用しますか。(※あてはまるものは、全て選んでください。)	小学校	49.2%	24.2%	16.6%	4.0%	5.9%	1,649
		中学校	40.1%	11.9%	31.9%	11.0%	5.0%	715
		全体	46.5%	20.5%	21.2%	6.1%	5.7%	2,364

参考資料：資料9 小学校-13・中学校-13

- ③-1：図書室の利用目的について、小学生の回答は「読書」に次いで「調べもの」が高く、本を読んだり、調べ学習で図書室を活用しています。中学生の回答は「読書」に次いで「休憩やリラックス」が高く、図書室が憩いの場としての役割が大きいです。

【表4】物的環境の充実

④物的環境の充実			ある	どちらかというところ	どちらかというところない	ない	合計
1	学校の図書室には、読みたくなるような本はありますか。	小学校	52.1%	29.8%	11.4%	6.6%	1,193
		中学校	26.5%	32.9%	25.3%	15.2%	584
		全体	43.7%	30.8%	16.0%	9.5%	1,777

参考資料：資料9 小学校-14・中学校-14

- ④-1：読みたくなるような本が図書室にあるかについて、「ある」「どちらかというところ」と回答した割合は、小学生は81.9%、中学生は59.4%と満足しています。

## 〔考察〕

学校図書館の蔵書整備が進んではいますが、学校図書館の利用率は決して高くはありません。読書によって人生が豊かになるという実感を持たせ、自ら進んで読書するような環境づくりを進める必要があり、学校図書館の役割は非常に重要です。「調べ学習」で活用できる本の種類をよりいっそう整備したり、児童・生徒に時間さえあれば学校図書館に行きたいと思わせるようなさまざまな展示や仕掛けなど、興味を引くようなアイデアと共に本を提供し、調べ学習をするための糸口を与えることも役割です。



「ともだち」に関するおすすめ本  
(熊野第二小学校)

## 2 町立図書館における整備・充実

町立図書館は、多様な利用者及び住民の要望や地域の実情に十分留意して児童・青少年用図書及び乳幼児向けの図書を含む図書館資料を整備し、充実した図書館サービスの提供に努めるとともに、職員の資質の向上や、ボランティアが多様な活動を行うための機会の提供などに努めます。

地域における子どもの読書活動を推進するために、子どもが読書活動をより身近に感じられる環境を整備していくことを目指します。

### 人的整備の充実

#### (1) ボランティアの活用

子どもの読書推進活動を行っていく上で、図書館、公民館、地域、学校、保育園、幼稚園など様々な場所で活動するボランティアは、大きな役割を果たしています。

図書館ではボランティア登録制度を導入し、おはなし会での読み聞かせなど多様なボランティア活動を行うための機会を提供しています。

また、読み聞かせなどについての講座を不定期に開催し、ボランティア養成に努めます。



「図書館まつり」でのボランティアによるペープサート上演の様子

#### (2) 図書館職員のスキルアップに向けた研修への参加

司書は、図書館における専門的職員として、児童・青少年用図書等を含む図書館資料に関する広範な知識や、子どもの発達段階に応じた図書の選択に関する知識、子どもや保護者に対して図書に関する案内や助言を行うとともに、子どもの読書活動に関する相談等に応じるよう努める必要があります。

これらの役割を果たすため、外部研修等にも積極的に参加し、児童・青少年用図書に関する知識や読み聞かせ等の技能を身に付けるなど、職員の資質の向上に努めます。

## 物的整備の充実

## (1) 子どもにとって利用しやすい図書館の環境整備

児童コーナーでは、子どもが楽しく快適に過ごせるよう、本の配置や案内表示、ディスプレイなどを工夫しています。また、乳幼児と一緒に来館する保護者が利用しやすい環境づくりを行っています。

児童コーナーの一角に「おはなしのへや」を設置し、親子で読み聞かせを行ったり、子どもだけでゆったりと本を読んだり、おはなし会を開催できるスペースを提供しています。

乳幼児用のトイレや授乳室、おむつ台の部屋を児童コーナー内に設置し、児童コーナーの書架は低く設置しています。また、館内はバリアフリーでベビーカーのまま移動することができ、安心して図書館で過ごせる環境を整備しています。



児童コーナー



おはなしのへや

## (2) 「ティーンズコーナー」の設置

子どもから大人に向かう時期に様々な分野への興味や関心を広げられるよう「ティーンズコーナー」を設置し、中高校生を対象とした蔵書の充実を目指します。

中高校生へのおすすめ本を定期的に紹介したり、職場体験で中高校生が選んだ本の展示などを行います。



ティーンズコーナー

## (3) 情報化の推進

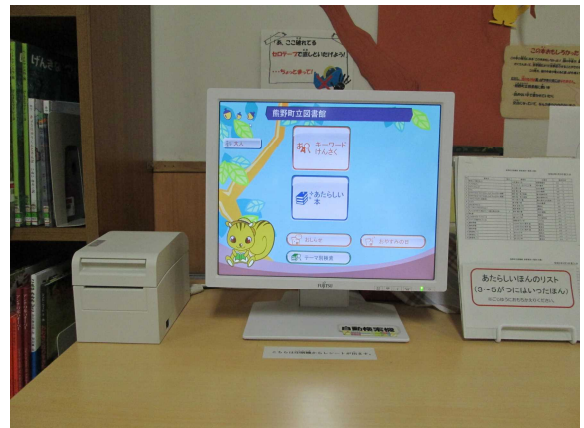
本では得られない最新の情報を得る手段として、インターネットにつながったパソコンを館内に設置しています。

子どもが主体的に読みたい本を選択するために有効な手段であるオンライン閲覧目録 (OPAC) を導入しています。

蔵書検索やインターネット予約を実際に体験することなどを通して図書館の活用法を知り、利用を推進します。



インターネットコーナー



蔵書検索機

- (4) 障害のある子どものための整備等の充実  
 障害のある子ども、特別な配慮を必要とする子どもも安心して、快適に利用できるよう対面朗読、大活字本、点字資料、車椅子、歩行補助器及び拡大読書器等の対応をします。  
 障害者用トイレや車いす用閲覧席を設置しています。



車いす用閲覧席

- (5) 遠方の利用者への配送サービスの充実  
 図書館が家から遠く、来館できない人のためのサービスとして、予約本の公民館配送を実施するとともに、利用方法などを広く周知します。

- (6) 「くまどく」コーナーの設置

「くまどく」コーナーを設置し、家庭読書に適する本を置いています。熊野町家庭読書「くまどく」事業に図書館としての役割を果たすため、今後も「くまどく」コーナーの充実を目指します。



「くまどく」コーナー

## (7) 蔵書の充実

乳幼児、児童・生徒など、それぞれの発達段階に応じ、様々な興味やニーズに応えられるよう、各分野の資料を広く収集します。

読書意欲の高揚や、自分で調べ考える力の育成に幅広く対応していくため、計画的に図書を整備を行い、蔵書数を充実させていきます。

子どもが読みたい本と子どもに読んでもらいたい本のバランスなどを考慮しながら、幅広く選書を行い、自ら本に手を伸ばす子どもを育てる支援をします。

【表1】町立図書館の蔵書数の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
蔵書数(冊)	101,789	106,133	109,646	112,017	114,587	116,286
児童書(冊)(再掲)	29,909	31,232	32,687	33,798	35,131	35,754
児童書の割合	29%	29%	30%	30%	31%	31%

【表2】児童・生徒のニーズに応えた蔵書の状況

③児童・生徒のニーズに応えた選書・蔵書			ある	どちらかというところ	どちらかというところない	ない	合計
1	熊野町立図書館には、読みたいような本はありますか。	小学校	52.3%	26.4%	10.8%	10.6%	1,165人
		中学校	23.4%	31.5%	24.8%	20.3%	585人
		全体	42.6%	28.1%	15.5%	13.8%	1,750人

(参考資料：資料10 小学生-19・中学生-19)

- ②-1：町立図書館の蔵書で読みたい本が「ある」「どちらかというところ」と回答した割合は、小学生は78.7%に対し、中学生は54.9%にとどまっています。中学生の約半数が読みたいような本が「どちらかというところない」「ない」と回答しています。

【表3】保護者のニーズに応えた蔵書の状況

③保護者のニーズに応えた蔵書の状況		保護者	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない	わからない	合計
1	町立図書館には、あなたのお子さんが読みたいと思うような本はありますか。	幼稚園・保育園・認定こども園	64.2%	20.0%	0.7%	0.0%	15.1%	436人
		小学校	52.5%	29.1%	4.8%	1.1%	12.5%	1,076人
		中学校	33.7%	29.1%	9.1%	3.0%	25.2%	508人
		全体	50.3%	27.1%	5.0%	1.3%	16.3%	2,020人
2	町立図書館には、あなたのお子さんに読ませたいと思うような本はありますか。	保護者	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない	わからない	合計
		幼稚園・保育園・認定こども園	61.0%	16.6%	0.2%	0.2%	21.9%	433人
		小学校	53.3%	24.9%	1.8%	0.8%	19.2%	1,075人
		中学校	39.0%	23.7%	3.5%	1.4%	32.4%	510人
全体	51.4%	22.8%	1.9%	0.8%	23.1%	2,018人		

(参考資料：資料13 小中学生の保護者-18、19・資料16 幼稚園・保育園・認定こども園の保護者-18、19)

③-1、2：子どもが読みたいと思う本が「ある」「どちらかといえばある」と回答した保護者の割合は77.4%、子どもに読ませたいと思う本が「ある」「どちらかといえばある」と回答した保護者の割合は74.1%でした。町立図書館には「子どもが読みたい」と思う本と、「子どもに読ませたい」と思う本のバランスがとれているとの見解のようです。

しかし、中学生の45.1%が読みたいと思う本が「どちらかというもない」「ない」と回答しているのに対し、保護者は12.1%、「わからない」を含めても37.3%であり、生徒と保護者の意識に相違が見られます。

#### 〔考察〕

読書が好きでない小中学生は、「文字を読むことの大変さ」を理由にあげていた人の割合が高い（※1）ことから、子どもたちが楽しみながら、読書の喜びを知ることができるように、町立図書館においても、注意深い選書や環境づくり、読書支援を行うことが必要です。

中学生になると、読書離れや町立図書館の利用の減少の傾向が見られます。1か月に1冊も読まない中学生は、「本が好きではない」「読みたい本がない」という理由の割合が高いです（※1）。また、約半数の中学生が、町立図書館には、読みたくなるような本が「どちらかというもない」「ない」と回答しています。

子どもたちに豊かな読書経験の機会を提供し、読書の楽しみや喜び、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを得る機会を提供するためにも、子どもたちの興味・関心を把握し、本や図書館に求めている潜在的、顕在的ニーズに応えた蔵書の充実を目指すことが必要です。

（※1）参考資料：資料8 小学生-3・中学生-3



熊野町立図書館（外観）



熊野町立図書館（館内）

# V 令和2年度熊野町読書活動 全体計画

## 1 町立小中学校における令和2年度読書活動全体計画

町内の小中学校は、学校教育目標に基づいた読書活動の目標を掲げています。また、児童・生徒そして保護者や地域の実態を把握し、読書活動全体計画を作成しています。

全体計画では各教科や総合的な学習の時間、特別活動等との関連させた具体的な取組を示しています。

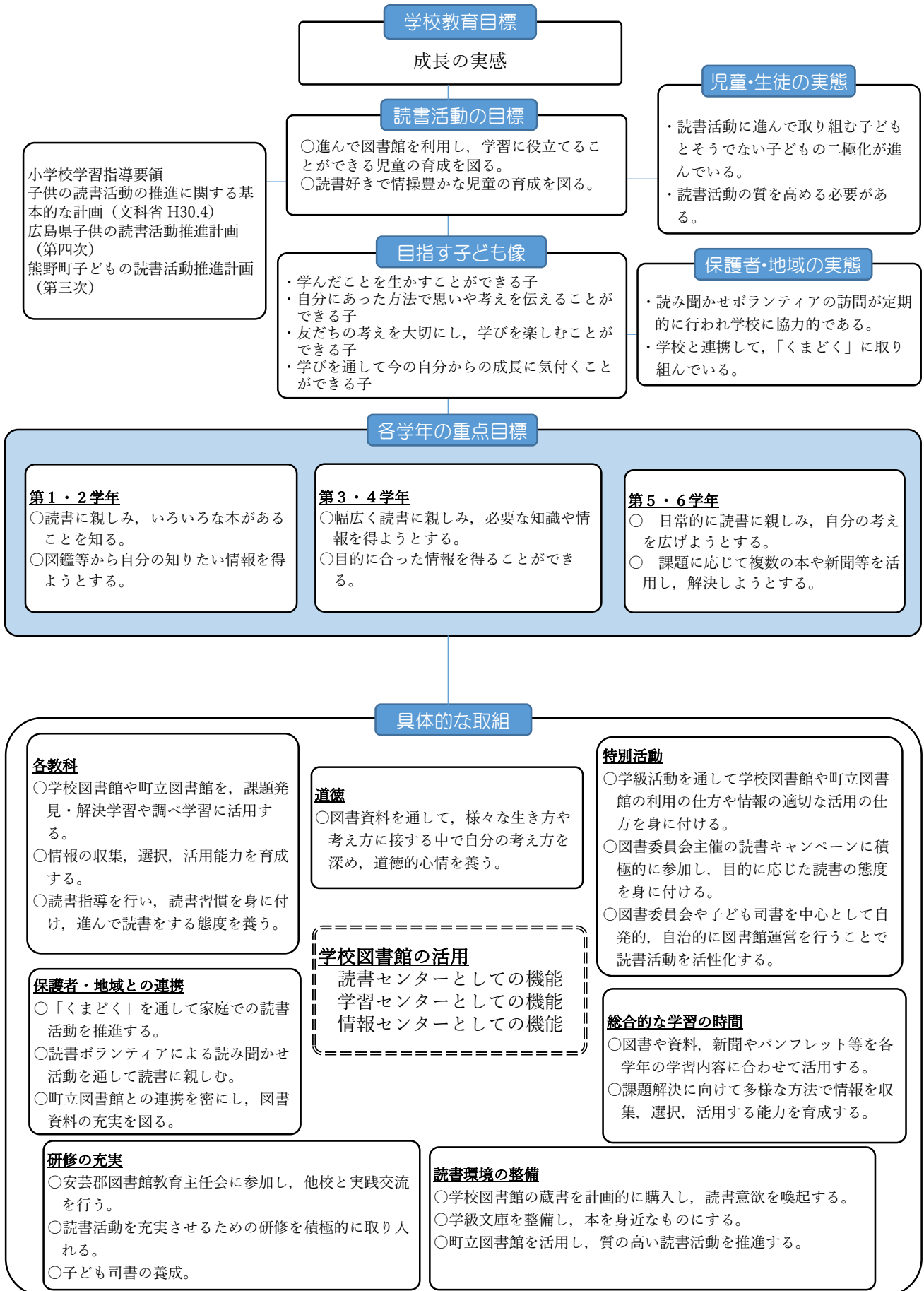


文化祭のビブリオバトル（熊野東中学校）

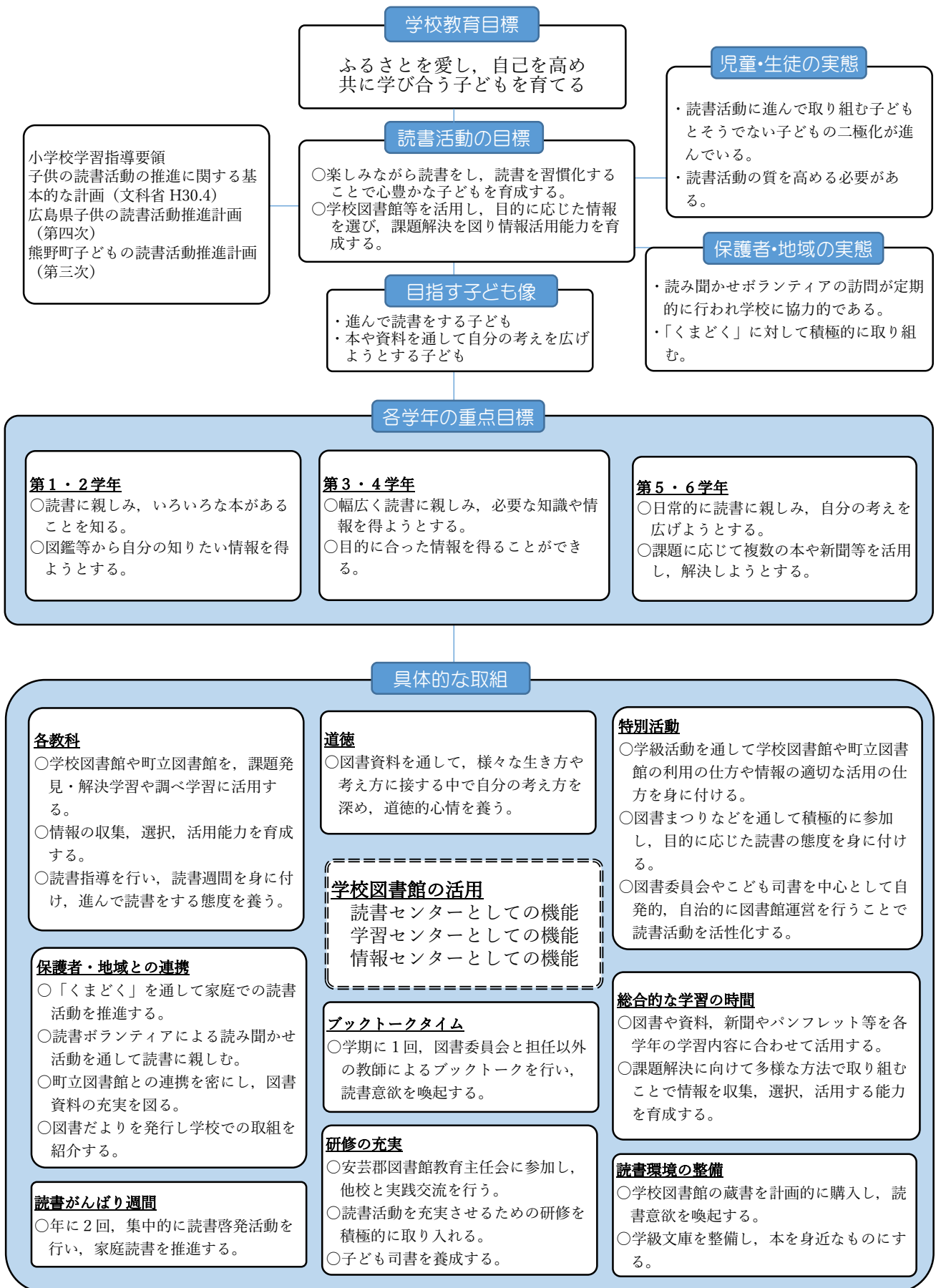


子ども司書による読み聞かせ  
（熊野第四小学校）

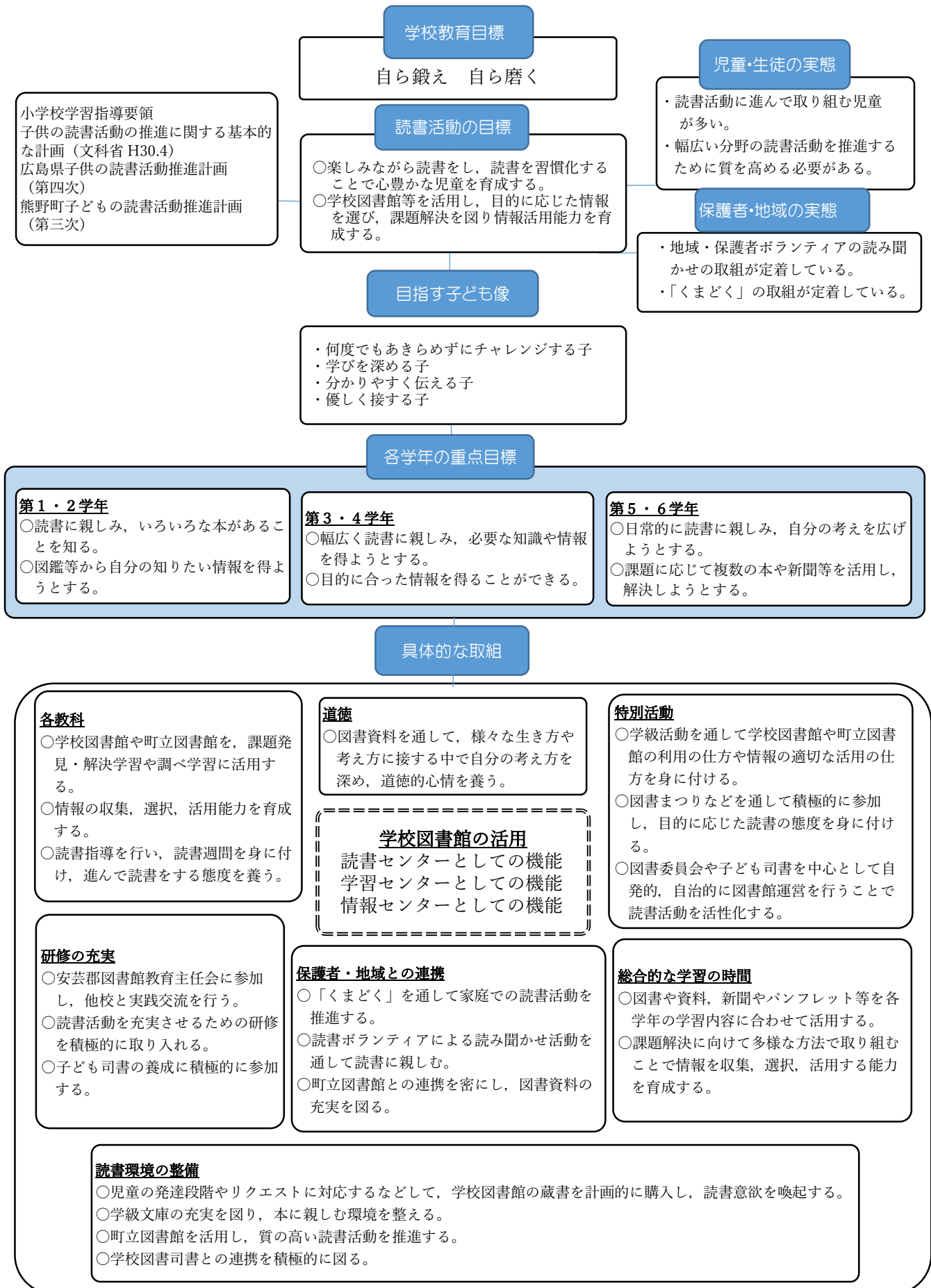
# 熊野第一小学校 令和2年度読書活動全体計画



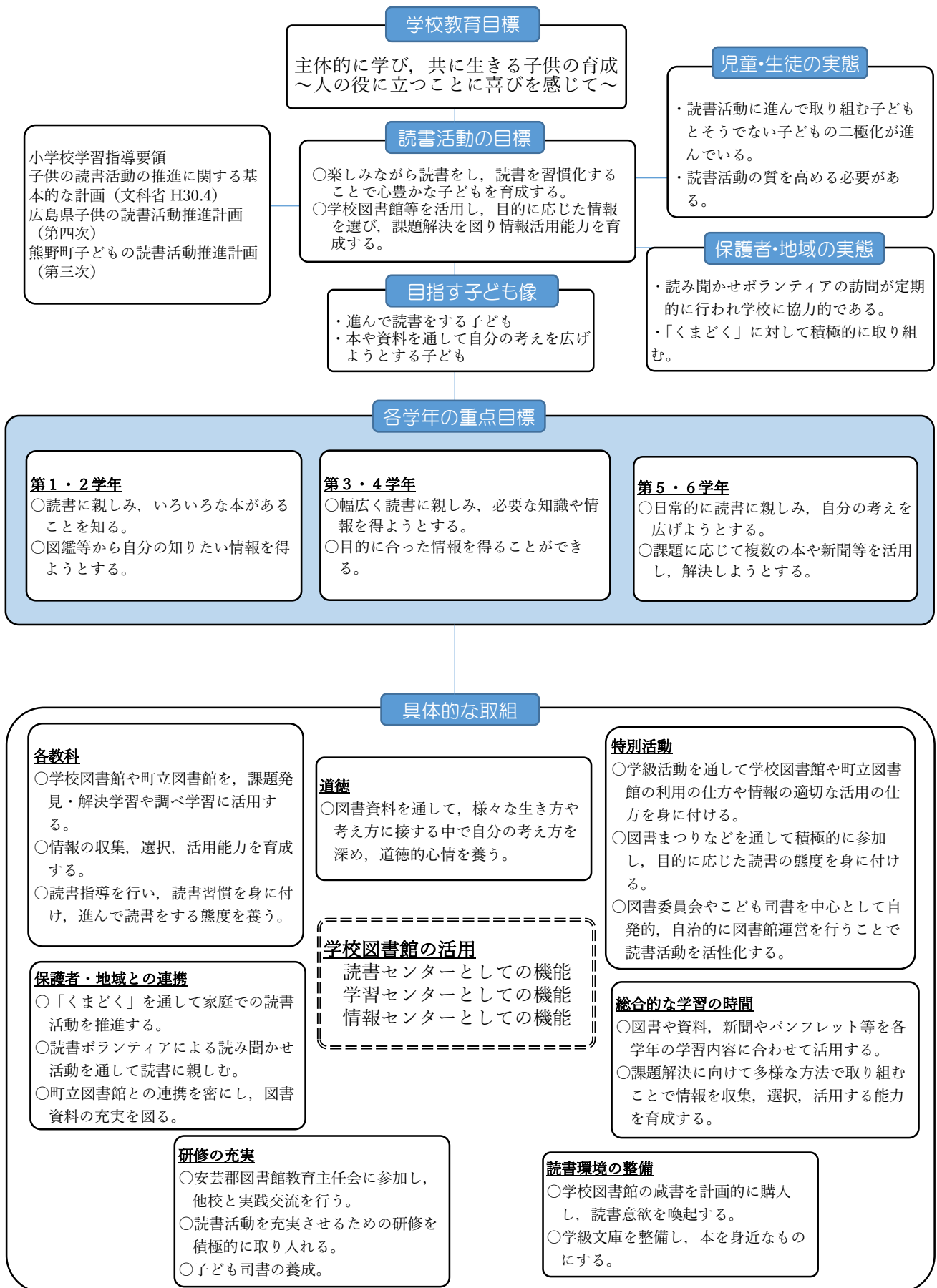
# 熊野第二小学校 令和2年度読書活動全体計画



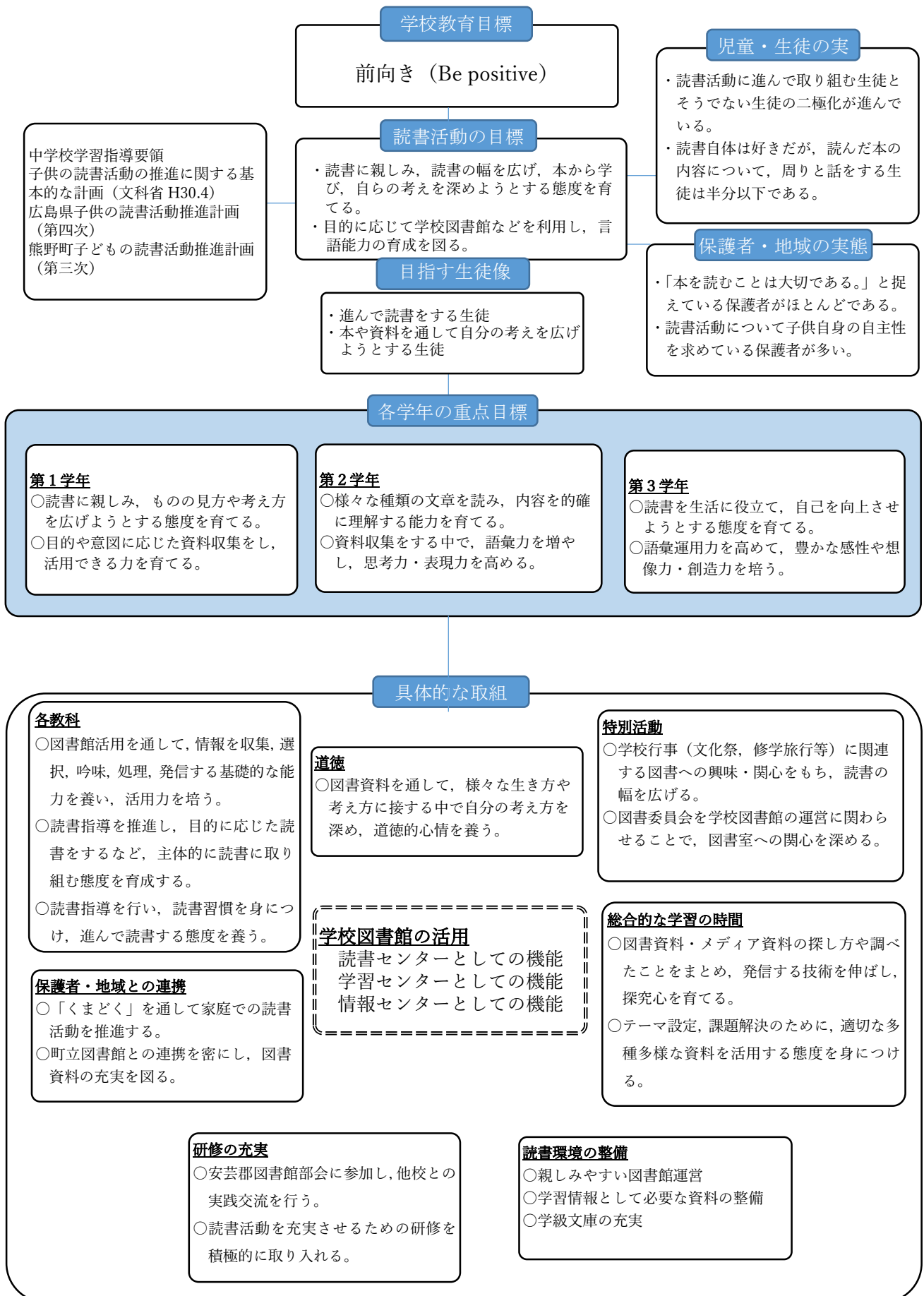
# 熊野第三小学校 令和2年度読書活動全体計画



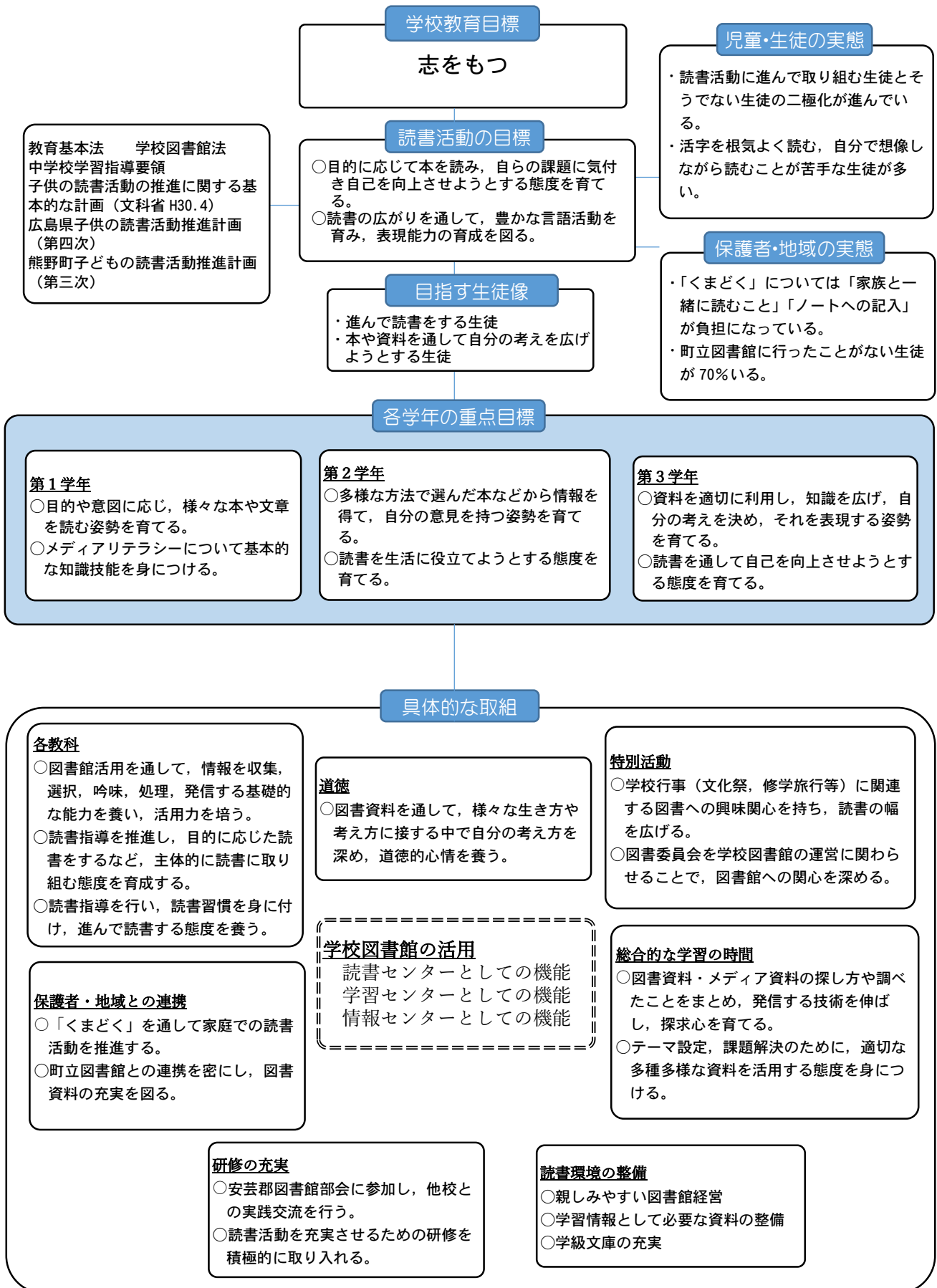
# 熊野第四小学校 令和2年度読書活動全体計画



# 熊野中学校 令和2年度読書活動全体計画



# 熊野東中学校 令和2年度読書活動全体計画



## 2 実践例「広島県立熊野高等学校図書館リニューアル等事業」

広島県教育委員会は、広島版「学びの革新」アクション・プランに基づく、「主体的な学び」の充実に向けた取組の一つとして学校図書館を積極的に利活用した教育を推進しており、図書館資料の更新、書棚の配置の工夫などの学校図書館の環境整備を推進しています。学校図書館リニューアルを行った学校の児童・生徒からは、「明るくてリラックスでき、とても落ち着く図書館になった」「本の置き方が工夫されて探すのが楽しい」などの声があがっています。各学校の来館者数も増えてきています。

熊野高等学校は、令和元年7月、児童文学評論家の赤木かんこ氏の指導のもと、学校図書館をリニューアルしました。

夏休み中、多くの生徒が図書館の掃除蔵書の整理、壁のクロス張り、書架のペンキ塗り等の作業を行いました。



中国新聞に掲載（令和元年10月28日（月））



町内読書活動担当者会（熊野高校）

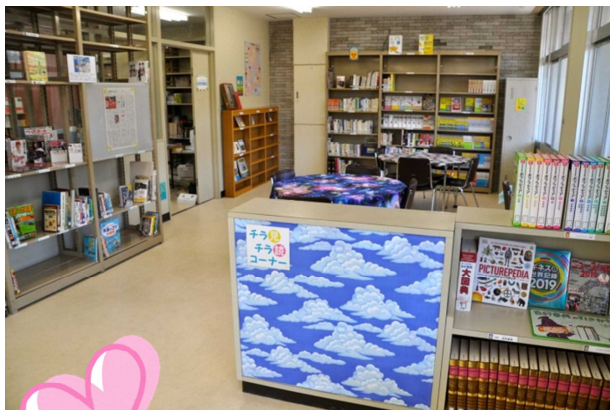


先生のおすすめの本（熊野高校）

令和元年12月、リニューアルされた熊野高校図書館で熊野町教育委員会主催の読書活動担当者会を開催しました。町内の小中高校の司書教諭と学校司書、町立図書館の司書など約20名が一同に集まり、図書館見学を行うとともに小中高校、町立図書館の連携について協議しました。

# くまこう図書館

令和元年8月5日リニューアル OPEN





# くまこう図書館

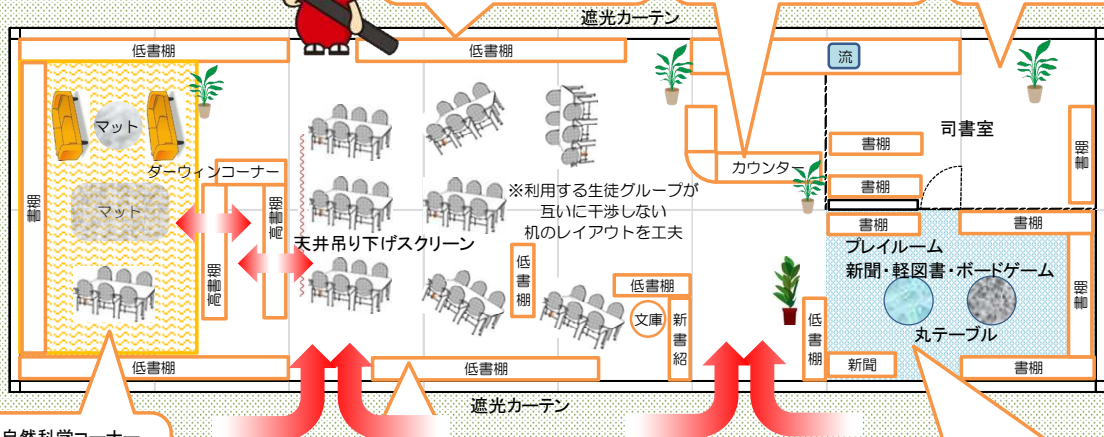
8月5日 リニューアル OPEN



- カーテンクリーニング
- 高書棚は中棚を抜き通路
- 天井の蛍光灯をLED (埋込型)に交換計画中

- カウンター側板の意匠 ※側板布張り 幕板をホワイトペンキ
- カエル司書くん降臨

- 所蔵庫として活用
- 作家文学全集等



- 自然科学コーナー ※自然科学所蔵絨毯・アリンゴプロクリッパンの配置



- 読書スペースに天井下げプロジェクターを設置 ※天井にプロジェクターを設置し、スペースを有効に活用しながらPC、BLなどの機器を使った授業や、生徒のプレゼンテーションによる授業の展開が常に行える環境をつくる。

- 新聞コーナー ※ テーブルクロス(宇宙・時計)で装飾
- プレイールーム ※対話の苦手な生徒の特性にコミュニケーションの取り方を自然に学ばせるため、ボードゲームや軽図書の閲覧を自由なスタイルでおこなうスペースを設ける。 ※ボードゲームは「人生ゲーム」や「カタンの開拓者」「百人一首」等 対話の必要なものを

# くまこう図書館

## 装いも新たにリニューアル OPEN

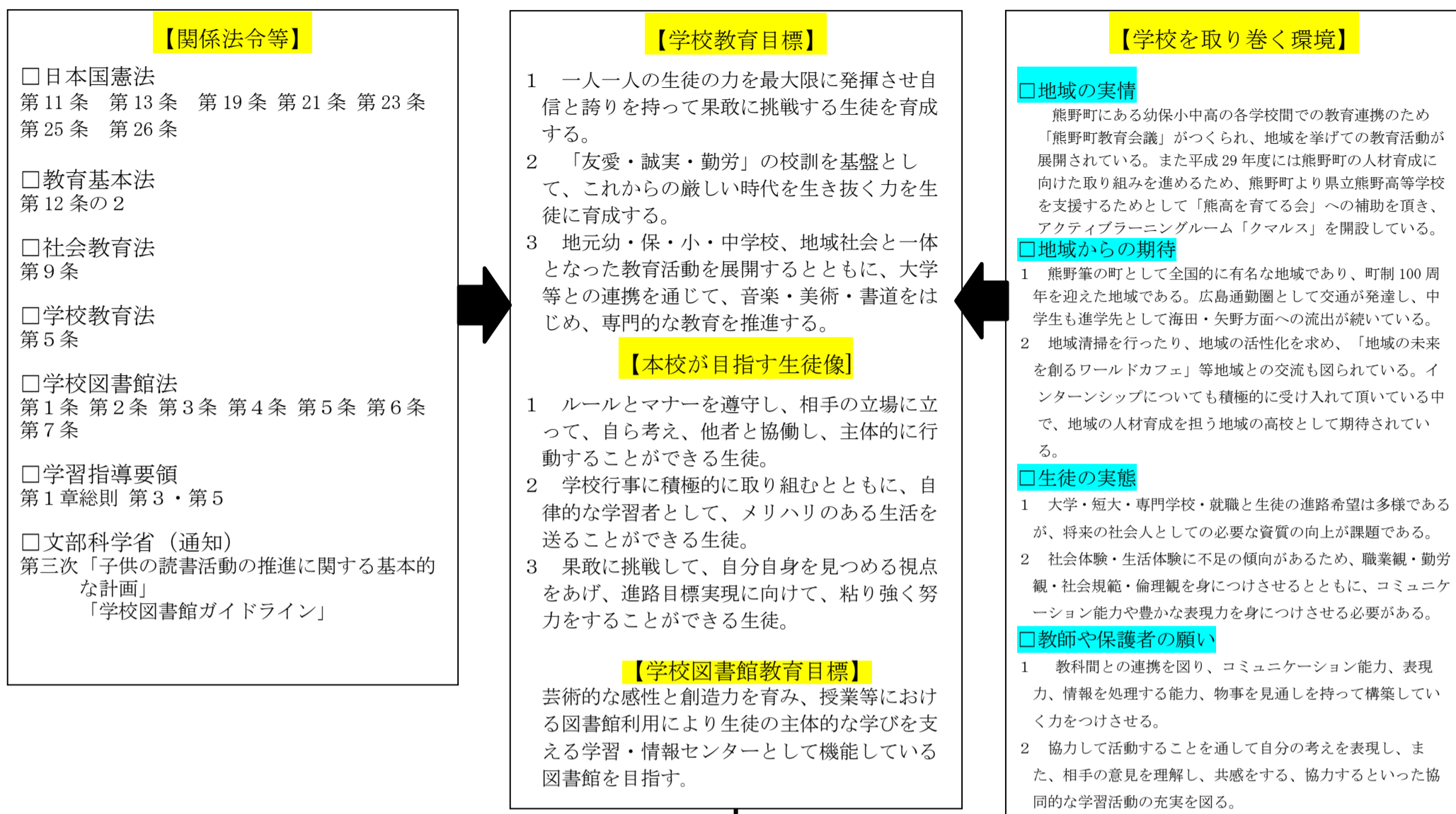


「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に係る学校図書館リニューアル等事業

広島版「学びの変革」アクション・プランに基づく、「主体的な学び」の充実に向けた取組の一つとして学校図書館を積極的に利活用した教育を推進します。児童文学評論家の赤木かん子氏の御指導のもと、図書館資料の廃棄・更新、書棚の配置の工夫等の学校図書館の環境整備を行いました。新しくなった図書館にぜひお越しください。



# 広島県立熊野高等学校 令和2年度学校図書館全体計画



学校図書館教育の重点的な取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシー力の育成</li> <li>⇒生徒の研究、発表等の目的に合った教材・資料の紹介とその活用の仕方の助言を行う。</li> <li>⇒各種の統計資料や新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料の充実</li> <li>⇒県立図書館や町立図書館との連携を図り、授業や行事に関連する資料を随時借り入れる。</li> <li>⇒社会、教職員、生徒のニーズを先取りし、収集・保存・除籍を適切に行う。</li> <li>⇒映像教材等、教職員のニーズを把握し、授業に役立つ資料収集、整理、管理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書意欲を高める環境づくり</li> <li>⇒本校生徒の実態に即した資料の整備に尽力する。</li> <li>⇒図書館だよりを随時発行したり、教員向けの発信を図ったりして、学校図書館をより身近な存在にする。</li> <li>⇒図書委員会の活動を活性化させる。</li> </ul>

具体的な取り組み	
<p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習の際に、書籍を始めとするメディアは、著者や編集者の意図があることを知ったうえで活用できるようにする。</li> <li>・引用する際に、ルールや有効な引用の仕方などを知ることができるようにする。</li> <li>・視聴覚機器の整備を進め、「使いたいときにすぐ使える図書室」を目指す。</li> <li>・生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与する。</li> <li>・図書館、図書館資料を活用した授業を実践する。</li> <li>・教科に関する本の紹介を行う。</li> </ul>	<p>総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習の際に、書籍を始めとするメディアは、著者や編集者の意図があることを知ったうえで活用できるようにする。</li> <li>・引用する際に、ルールや有効な引用の仕方などを知ることができるようにする。</li> <li>・「福祉・介護の現場」体験や修学旅行を軸にした沖縄探究学習、3学年での課題探究学習など、核となる学習を中心に図書館の利用を促す。</li> <li>・その行事に即した資料を県立図書館の貸し出しサービスを利用して借り入れる。</li> </ul>
<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会を中心に、図書便りを作成して推薦図書、新刊本の紹介を行う。</li> <li>・文化祭において、図書館の一般公開を行う。</li> </ul>	<p>外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望により、調べ学習に必要な図書を公立図書館から借り受ける。</li> <li>・地域活性を目指す「くま・みらかフェ」の開催に際し、随時図書館の利用も促す。</li> </ul>

### 3 町立図書館における令和2年度事業計画

区 分	項 目 名	事 業 名	日 時
図書館利用者の 拡大	講座・イベント	図書館まつり（リサイクル市、読み聞かせ 等）	中止
		おはなし会	毎月第1・3土曜
		0-3歳児対象のおはなし会	毎月第4水曜
		ま夜中の冒険隊	夏休み期間中
		夏休み子ども対象講座	夏休み期間中
		ブック・リサイクル市	年1回
		資料テーマ展示（一般・児童・ティーンズ等）	毎月
	資料展示（館内）	くまどくコーナー	毎日
		ミニ展示	不定期
		子ども司書、中学生職場体験によるティーンズ展示（ポップ作成）	不定期
		県・町の関係課との合同展示	不定期
	図書館情報発信	図書館ホームページ	随時更新
		図書館フェイスブック	毎週
		図書館だより	毎月
		こどもとしょかんだより（未就学児用・小学生用）	毎月
		図書館だよりYA（中学生用）	年4回
	図書館資料配送	公民館への資料配送	週2回
障害者サービス	インターネット・携帯電話での蔵書検索・予約の受付	随時	
	郵送貸出	随時	
町民の要求に 応えられる 資料情報の収集	図書館資料収集	図書・雑誌・視聴覚資料	随時
		予約・リクエスト資料の収集	随時
読書案内 レファレンス 機能の充実	参考資料・情報収集	レファレンス事例の蓄積・関係ツールの作成	随時
	職員研修	外部研修への参加	随時
図書館活動の 活性化	ボランティア活動 推進	配架	随時
		おはなし会（再掲）	毎月第1・3土曜
		0-3歳児対象のおはなし会（再掲）	毎月第4水曜
		おはなしのへや壁面飾り	季節ごと
		図書館まつり（再掲）	中止
		ま夜中の冒険隊（再掲）	夏休み期間中
		美化活動（草花の管理）	年4回
関係機関との 連携	公民館等との連携	公民館への資料配送（再掲）	週2回
	学校との連携	くまどく実施の連携	年間
		学校図書室司書との連絡会	随時
		教職員の図書館見学	不定期
		団体見学受入れ	随時
		子ども司書研修受入	随時
		中学生職場体験受入（町内・阿戸）	随時
		あさどく本学校セットの作成・運営	随時
	役場関係課との連携	ブックスタート「赤ちゃん広場」への本の紹介、図書館情報配布	随時
		乳幼児医療費受給者証更新時におはなし会のチラシを配布	毎月
相互貸借	他館資料の借受・貸出	週2回	

（参考資料：熊野町教育委員会「令和2年度教育要覧」）

## VI 参考資料

(アンケート結果・用語解説)

## 令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画（第三次） 策定のための読書に関するアンケートについて

アンケート実施期間                      令和元年 10 月 1 日（火）～10 月 7 日（月）

アンケート回収日                        令和元年 10 月 11 日（金）

### アンケート対象者

- （1）小中学校教職員
- （2）小中学生
- （3）小中学生の保護者
- （4）幼稚園・保育園・認定こども園等の園児の保護者

## 令和元年度熊野町子どもの読書活動推進計画(第三次)策定のための 「学校図書館教育に関わる教職員アンケート」

熊野町教育委員会

アンケートの実施期間:令和元年10月1日(火)～10月7日(月)  
対象者:全教職員(講師含む)

記載日 令和 元年 月 日( )

	学校名	教員(講師含む)	司書教諭取得 (見込み)	中学校の場合 担当教科	職員等
			有 無		

※「教員」が「職員等」のいずれかに○をつけてください。「教員」は司書教諭取得(見込み)の有無に該当する箇所○、中学校の教員は担当教科を記載してください。

該当欄に○を付けてください。	毎日	週に複数回	週に1回	月又は年に数回	実施していない
取組 「朝読書」等全校一斉の読書活動の実施状況。					

該当欄に○を付けてください。		①達成している よく行っている	②おおむね達成 している おおむね行っている	③あまり達成 していない あまり行っていない	④達成していない 行っていない	⑤わからない
と読書 センター 機能1	1 学校図書館は児童・生徒の多様な興味・関心を引く魅力的な本を備えている。					
	2 学校図書館は児童・生徒が図書を探しやすい書架に工夫されている(表紙を見せる配置、棚に本の分類が分かるラベルを貼る等)。					
	3 学校図書館は本の紹介コーナーを設けるなど、児童・生徒が読書を楽しむ場となっている。					
	4 児童・生徒が自由に読書を行うことのできるスペースを設けている(例 ソファ、畳コーナーの設置等)。					
	5 児童・生徒が校内外の読書感想文コンクールや読書感想画コンクール、書評コンクール等に取り組んでいる。					
と学習 センター 機能1	6 教職員は教科等の授業において、学校図書館で本や資料を活用して調べ学習等を行っている。					
	7 教職員は教科等の授業において、本を紹介するなど、学習活動を行っている。					
	8 児童・生徒の学校図書館の利活用の状況や図書の貸出状況を調べ、状況を把握している。					
	9 読書週間(旬間・月間)など、読書活動を活発にするための行事を設けている(例 ビブリオバトル、読み聞かせ、ブックトーク等)。					
	10 学校図書館は児童・生徒に自習室の場として開放し、静かな学習環境となっている。					
と情報 センター 機能1	11 新聞コーナーや時事に関する雑誌や新書コーナーを設けている(例 中学校は進路情報等)。					
	12 新着図書コーナーを設けたり、「図書だより」等を発行したりするなどして、新着図書を知らせている。					
	13 学校図書館又はその他の場所に、教職員や学校司書、児童・生徒による図書紹介コーナーを設けている。					
	14 定期的に季節の掲示やポスターの掲示を行うなど、学校図書館や図書コーナーの環境整備に努めている。					
	15 学校図書館内に児童・生徒が検索・インターネットによる情報収集に活用できる情報メディア機器が整備されている。					

該当欄に○を付けてください		①達成している よく行っている	②おおむね達成 している おおむね行っている	③あまり達成 していない あまり行っていない	④達成していない 行っていない	⑤わからない
個に 応じた 取組	16	障害のある児童・生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、展示図書や音声図書などを設けている。				
	17	本をあまり読まない、もしくは不読の児童・生徒を把握し、個に応じた指導を行っている。				
	18	図書委員、児童・生徒の読書ボランティア等(子ども司書)が活発に活動している。				
	19	発達段階に応じた取組や友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高めている。				
	20	不登校や一時的に学級になじめない児童・生徒の「心の居場所」として活用されている。				
教職員・ 学校司書の 状況	21	読書活動の推進について、校長のリーダーシップの下、全教職員で取組を行っている。				
	22	教職員は定期的に学校司書(町から派遣される読書指導員等含む)と連携している。				
	23	司書教諭等(図書館担当教員)は職責遂行のため、授業時数の軽減等や校務分掌上の配慮を行うとともに、研修等に参加させている。				
	24	学校図書館の利活用方法や約束事が決まっており、毎年、オリエンテーションを行う等、児童・生徒への指導を行っている。				
	25	教職員・学校司書が連携して、児童・生徒の登校時から下校時までの学校図書館の開館に務めている。				
外部との 連携	26	保護者と連携・協力した読書活動推進の普及啓発活動を行っている(例 子ども読書の日、文字・活字文化の日等)。				
	27	学校図書館に関する広報活動等(例 HP開設、「図書だより」の発行等)を実施し、保護者への啓発を行っている。				
	28	地域読書ボランティアを活用した読書活動を推進する取組を行っている。				
	29	PTA活動において、児童・生徒の読書活動推進に関わる取組が行われている(例 講演会、活動への助成等)。				
	30	町立図書館や他の学校との連携を図っている(例 町立図書館又は学校間での図書の貸出や町立図書館の司書による読み聞かせや朗読等)。				
「くまどく」 の取組	31	「朝読書」等の全校一斉読書活動では、担任等も児童・生徒と一緒に読書を行っている。				
	32	児童・生徒は「朝読書」の時間は読書に集中している(例本の忘れ物がない、宿題等をしない、寝たりしない等)。				
	33	「くまどく」ノートを十分に活用(提出状況、教員のコメント、保護者印)し、家庭での読書活動への支援を行っている。				
	34	「朝読書」や「くまどく」などの読書活動の推薦図書を準備や啓発によって、読書習慣の形成をはかっている。				
	35	教職員・学校司書もしくは図書委員により定期的に読み聞かせや朗読、ブックトークを行っている。				
学校図書館の創意工夫した取組や意見等を自由に記載してください。						



# どくしょ かん 読書に関するアンケート（小学生用）

くまのちょう 熊野町では、みなさんが楽しんで本が読めるような町づくりに取り組んでいます。

みなさんの声がかいさせるよう、アンケートに協力してください。

アンケートの中で、わからない言葉などがあたら、学校の先生やおうちの人にきいてください。

れいわがんねん がつ ぐまのちょうきょういくいいんかい  
令和元年10月 熊野町教育委員会

10月7日（月）までに書いて、担任の先生に渡してください。

## 《アンケートの書き方》

①それぞれの質問を読んで、一番あてはまると思う答えの番号を1つだけ選んで、右側の答えの欄に書いてください。

ここに、選んだ番号を書いてください。

《答えの欄》

問〇-答え

②「あてはまるものは、全て選んでください」と書かれてある質問は、あてはまると思う答えの番号を全て、答えの欄に書いてください。

③その他を選んだ場合は、（ ）の中に意見を書いてください。

④大きな□の中には、意見や本の題名などを書いてください。

## 《あなたのことを教えてください》

がっこうめい 学校名	くまのだい 熊野第 しょうがっこう 小学校	がくねん 学 年	ねん 年
せいべつ 性 別	おとこ 男の子 おんな 女の子 (※どちらかを○してください。)	ねんれい 年 齢	さい 歳

## 《読書についての質問》

問1 あなたは、本を読むことは好きですか。

- ① 好き
- ② どちらかというと好き
- ③ どちらかというと好きではない
- ④ 好きではない

《答えの欄》

問1-答え

問2 問1で「① 好き」、「② どちらかというと好き」と答えた人に質問します。

本が好きなのは、どうしてですか。

- ① 楽しいから
- ② いろいろなことがわかるから
- ③ 先生や家族が読んでくれるから
- ④ 本が好きな人がまわりにいるから
- ⑤ その他（ ）

問2-答え

とい とい す こた ひと しつもん  
問3 問1で「③ どちらかというとは好きではない」、「④ 好きではない」と答えた人に質問

ほん す  
します。本が好きではないのは、どうしてですか。

- ① 楽しくないから ② 読みたい本がないから  
③ 文字を読むのが大変だから ④ テレビやインターネットの方がいいから  
⑤ その他 ( )

とい こた  
問3-答え

とい げつ ほん よ  
問4 あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。

- ① 1冊 ② 2冊~5冊 ③ 6冊~9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない

とい こた  
問4-答え

とい とい よ こた ひと しつもん ほん よ  
問5 問4で「⑤ 読まない」と答えた人に質問します。本を読まないのは、どうしてですか。

- ① 本が好きでないから ② 読みたい本がないから  
③ テレビを見たり、ゲームをしたりして、時間がないから  
④ 勉強やクラブ活動、スポーツ、塾などで忙しいから ⑤ 友だちと遊ぶから  
⑥ その他 ( )

とい こた  
問5-答え

とい ほん よ すべ えら  
問6 あなたは、どのような本を読みますか。(※あてはまるものは、全て選んでください。)

- ① えほん ② おはなし・小説 ③ ノンフィクション(本当にあったお話)  
④ 伝記 ⑤ 図鑑 ⑥ 社会の本 ⑦ 理科の本 ⑧ 料理、手芸、工作、音楽の本  
⑨ スポーツの本 ⑩ クイズ、なぞなぞの本  
⑪ その他 ( )

とい こた  
問6-答え

とい す ほん おし なんさつ  
問7 あなたの好きな本を教えてください。何冊でもいいです。

ほん だいめい した か  
本の題名を、下の□の中に書いてください。(マンガ以外)

とい こた  
問7-答え

とい ほん よ おも  
問8 どうしたら、みんなが本を読むようになるとおもいますか。

(※あてはまるものは、全て選んでください。)

- ① おとなの人や家族に本を読んでもらう ② 家族と一緒に本を読む(くまどく)  
③ 家族と図書館に行く ④ 友だちと図書館や図書室に行く  
⑤ 学校で、本を読む時間を増やす ⑥ 学校の図書室を利用しやすくする  
⑦ おもしろい本を教えてください ⑧ おもしろい本をそろえてもらう  
⑨ その他 ( )

とい こた  
問8-答え

とい ほん よ たいせつ おも  
問9 本を読むことは大切だと思いますか。

- ① 思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ 思わない

とい こた  
問9-答え

がっこう としよしつ しつもん  
《「学校の図書室」についての質問》

とい じゅぎょういがい がっこう としよしつ い  
問10 あなたは、授業以外で学校の図書室に行きますか。

- ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない

とい こた  
問10-答え

問11 問10で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。一週間

にどれくらい、図書室に行きますか。

- ① 4日～5日 ② 2日～3日 ③ 1日 ④ その他(1か月に)

問11-答え

問12 問10で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。

なぜ、行かないのですか。

- ① 空いている時間が短いから ② 他にすることがあるから
③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから
⑤ その他( )

問12-答え

問13 あなたは、学校の図書室を、どんなときに利用しますか。

(※あてはまるものは、全て選んでください。)

- ① 本を読むため ② 調べものをするため
③ 休憩やリラックスしたりするため ④ 利用したことがない
⑤ その他( )

問13-答え

問14 学校の図書室には、読みたくなるような本はありますか。

- ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない

問14-答え

問15 学校の図書室にしてほしいことはありますか。

(たとえば、「新しい本をおいてほしい。」「本の読み聞かせをしてほしい。」など)

問15-答え

Blank box for answer to question 15.

《町立図書館についての質問》

問16 あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。

- ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない

問16-答え

問17 問16で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。

1か月に、どれくらい行きますか。

- ① 6日以上 ② 4日～5日 ③ 2日～3日 ④ 1日

問17-答え

問18 問16で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。

なぜ、行かないのですか。

- ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから
③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから
⑤ その他( )

問18-答え

問19 熊野町立図書館には、読みたくなるような本はありますか。

- ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない

問19-答え

とい くまのちょうりつとしょかん  
問20 熊野町立図書館にしてほしいことはありますか。

(たとえば、「人気の本をおいてほしい。」「イベントをしてほしい。」など)

とい こた  
問15-答え

とい くまのちょうりつとしょかん ほん ほん よ おも  
問21 熊野町立図書館にどんな本があったら、本を読みたいと思いますか。

ほん だいめい か なんさつ いがい  
本の題名を書いてください。何冊でもいいです。(マンガ以外です。)

とい こた  
問21-答え

### 「くまどく」についての質問

とい かぞく ほん よ じかん たの  
問22 「くまどく」(家族といっしょに本を読む時間をもつこと)は楽しいですか。

- ① 楽しい ② どちらかという楽しい  
③ どちらかという楽しくない ④ 楽しくない

とい こた  
問22-答え

とい いっしゅうかん なんにち  
問23 「くまどく」を一週間に何日していますか。

- ① 毎日 ② 5日~6日 ③ 3日~4日 ④ 1日~2日

とい こた  
問23-答え

とい ほん よ おお  
問24 「くまどく」のときは、だれと本を読むことが多いですか。

- ① お母さん ② お父さん ③ きょうだい ④ おじいちゃん・おばあちゃん

とい こた  
問24-答え

とい いちばん たの なに  
問25 「くまどく」のとき、一番うれしいこと、楽しいことは何ですか。

(※あてはまるものは、全て選んでください。)

- ① 家族といっしょに本を読むこと ② 家族といっしょの時間を過ごすこと  
③ いろいろな本を読めること ④ 楽しいと思ったことはない  
⑤ その他 ( )

とい こた  
問25-答え

とい つづ  
問26 「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。

- ① 続けたい ② どちらかという続けたい  
③ どちらかという続けたくない ④ 続けたくない

とい こた  
問26-答え

とい とい つづ つづ こた ひと  
問27 問26で「③ どちらかという続けたくない」、「④ 続けたくない」と答えた人

しつもん つづ りゆう おし  
に質問します。続けたくない理由を教えてください。

- ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 宿題や習い事でいそがしいから  
③ 本が好きではないから ④ くまどくノートへの記入が大変だから  
⑤ その他 ( )

とい こた  
問27-答え

これで、アンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。



# 読書に関するアンケート（中学生用）

熊野町では、みなさんが楽しんで本が読めるような町づくりに取り組んでいます。  
みなさんの声がかせるよう、アンケートに協力してください。

令和元年10月 熊野町教育委員会

10月7日（月）までに書いて、担任の先生に渡してください。

## 《アンケートの書き方》

- ① それぞれの質問を読んで、一番あてはまると思う答えの番号を1つだけ選んで、右側の回答欄に書いてください。
- ② 「あてはまるものは、全て選んでください」と書かれてある質問は、あてはまると思う答えの番号を全て、回答欄に記入してください。

ここに、選んだ番号を書いてください。

《回答欄》

問〇の回答

- ③ その他を選んだ場合は、（ ）の中に理由や意見などを書いてください。

- ④ 大きな  の中には、意見や本の題名などを書いてください。

## 《あなたのことを教えてください》

学校名	熊野中学校 ・ 熊野東中学校 (※どちらかを○で囲んでください。)	学 年	年
性 別	男 ・ 女 (※どちらかを○で囲んでください。)	年 齢	歳



問9 本を読むことは大切だと思いますか。

- ① 思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ 思わない

問9-回答

### 《「学校の図書室」についての質問》

問10 あなたは、授業以外で学校の図書室に行きますか。

- ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない

問10-回答

問11 問10で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。  
一週間にどれくらい、図書室に行きますか。

- ① 4日～5日 ② 2日～3日 ③ 1日 ④ その他（月に\_\_\_\_日）

問11-回答

問12 問10で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に聞きます。なぜ、行かないのですか。

- ① 空いている時間が短いから ② 他にすることがあるから  
③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから  
⑤ その他（ ）

問12-回答

問13 あなたは、学校の図書室を、どんなときに利用しますか。

（※あてはまるものは、全て選んでください。）

- ① 本を読むため ② 調べものをするため  
③ 休憩やリラックスするため ④ 利用したことがない  
⑤ その他（ ）

問13-回答

問14 学校の図書室には、読みたくなるような本はありますか。

- ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない

問14-回答

問15 学校の図書室にしてほしいことはありますか。

（たとえば、「新しい本をおいてほしい。」「話題の本をおいてほしい。」など）

問15-回答

### 《町立図書館についての質問》

問16 あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。

- ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない

問16-回答

問17 問16で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に  
質問します。1か月に、どれくらい行きますか。

- ① 6日以上 ② 4日～5日 ③ 2日～3日 ④ 1日

問17-回答

問18 問16で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。  
なぜ、行かないのですか。

- ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから  
③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから  
⑤ その他（ ）

問18-回答

問19 熊野町立図書館には、読みたくなるような本はありますか。

- ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない

問19-回答





## 読書に関するアンケート（保護者用）

保護者 様

このアンケートは、熊野町の子ども及び保護者の読書状況などについて調査し、熊野町における子どもの読書活動推進計画の基礎資料とするために実施するものです。

保育所・幼稚園の園児については保護者様へのアンケートを実施し、小中学生については児童・生徒へのアンケートとともに、保護者様へのアンケートも実施しますので、ご記入後は、お子さんをとおして担任の先生にご提出をお願いします。  
ご多用のところ申し訳ございませんが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年10月 熊野町教育委員会教育長

<このアンケートに関する問い合わせ先>

熊野町教育委員会学校教育課 斉藤 TEL082-820-5620  
生涯学習課 徳本 TEL082-820-5621

**アンケートは、10月7日（月）までに、お子さんをとおして、担任の先生に提出してください。**

※保護者用アンケートには、保護者から見たお子さんの読書活動についての質問があるため、大変手数をおかけいたしますが、お子さんが複数いる場合は、全てのお子さんが持ち帰られたアンケート用紙にご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。

《アンケートの書き方》

- ① それぞれの質問を読んで、一番あてはまると思う答えの番号を1つだけ選んで、右側の回答欄にご記入ください。
- ② 「複数回答可」と書かれてある質問は、あてはまると思う答えの番号を全て、答えの欄にご記入ください。
- ③ その他を選んだ場合は、（ ）内に理由や意見等をご記入ください。
- ④ 大きな□の中には、意見等をご記入ください。

《あなたとお子さんのことについて教えてください》

アンケートの記入者	児童・生徒の（母・父・その他（ ））			年代： 代
お子さんについて	幼稚園・保育園・学校名	学年 年生	年齢 歳	性別 男・女





問19 熊野町立図書館には、あなたのお子さんに読ませたいと思うような本  
はありますか。

- ① ある                                      ② どちらかといえばある  
③ どちらからといえない              ④ ない                                      ⑤ わからない

問19-回答

### 《「くまどく」についての質問》

問20 「くまどく」(家族といっしょに同じ本を読む(※読み聞かせ含む)時  
間をもつこと)は楽しいですか。

- ① 楽しい                                      ② どちらかといえば楽しい  
③ どちらからといえない              ④ 楽しくない  
⑤ その他(                                      )

問20-回答

問21 「くまどく」を一週間に何日していますか。

- ① 週に5日以上                              ② 週に2日～4日  
③ 週に1回                                      ④ していない(月に\_\_\_\_\_程度)  
⑤ その他(                                      )

問21-回答

問22 「くまどく」のとき、誰がお子さんと一緒に本を読むことが多いですか。

- ① 母親              ② 父親              ③ 兄弟・姉妹              ④ 祖父母  
⑤ その他(                                      )

問22-回答

問23 「くまどく」のとき、一番嬉しいこと、楽しいと思うことは何ですか。  
(※複数回答可)

- ① お子さんと一緒に本を読むこと  
② お子さんと家族と一緒に時間を過ごすこと  
③ 保護者も、本をとおして教養が身につくのが楽しいこと  
④ 保護者が、本のおもしろさやなつかしさを感じられること  
⑤ その他(                                      )  
⑥ 楽しいと思ったことはない  
⑦ その他(                                      )

問23-回答

問24 「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。

- ① 続けたい                                      ② どちらかといえば続けたい  
③ どちらからといえない              ④ 続けたくない  
⑤ その他(                                      )

問24-回答

問25 問24で「③ どちらかといえば続けたくない」、「④ 続けたくない」  
と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可)

- ① 家族とあまり本を読む時間がないから              ② 本が好きではないから  
③ くまどくノートの記入が大変だから  
④ その他(                                      )

問25-回答

《その他》ご意見等があれば、ご自由にご記入ください。

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 読書に関するアンケート集計結果

資料 1～資料 7	小中学校教職員
資料 8～資料 11	小中学生
資料 12～資料 14	小中学生の保護者
資料 15～資料 17	幼稚園・保育園・認定こども園等の園児の保護者

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～読書センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
1	学校図書館は児童・生徒の多様な興味・関心を引く魅力的な本を備えている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	5	17	4	0	0	26	
		第二小	6	3	0	0	0	9	
		第三小	1	11	3	0	1	16	
		第四小	3	22	2	0	0	27	
		小計	15	53	9	0	1	78	
		割合	19.2%	67.9%	11.5%	0.0%	1.3%	100%	
2	学校図書館は児童・生徒が図書を探しやすい書架に工夫されている(表紙を見せる配置、棚に本の分類が分かるラベルを貼る等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	13	13	0	0	0	26	
		第二小	3	5	0	0	1	9	
		第三小	3	12	0	0	1	16	
		第四小	8	18	0	0	1	27	
		小計	27	48	0	0	3	78	
		割合	34.6%	61.5%	0.0%	0.0%	3.8%	100%	
3	学校図書館は本の紹介コーナーを設けるなど、児童・生徒が読書を楽しむ場となっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	14	11	1	0	0	26	
		第二小	6	3	0	0	0	9	
		第三小	5	10	0	0	1	16	
		第四小	10	16	1	0	0	27	
		小計	35	40	2	0	1	78	
		割合	44.9%	51.3%	2.6%	0.0%	1.3%	100%	
4	児童・生徒が自由に読書を行うことのできるスペースを設けている(例 ソファ、畳コーナーの設置等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	13	9	4	0	0	26	
		第二小	7	2	0	0	0	9	
		第三小	6	9	0	0	1	16	
		第四小	9	15	2	0	1	27	
		小計	35	35	6	0	2	78	
		割合	44.9%	44.9%	7.7%	0.0%	2.6%	100%	
5	児童・生徒が校外の読書感想文コンクールや読書感想画コンクール、書評コンクール等に取り組んでいる。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	2	16	5	0	26	
		第二小	1	5	2	0	1	9	
		第三小	2	3	4	5	2	16	
		第四小	1	6	15	1	4	27	
		小計	7	16	37	11	7	78	
		割合	9.0%	20.5%	47.4%	14.1%	9.0%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～読書センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
1	学校図書館は児童・生徒の多様な興味・関心を引く魅力的な本を備えている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	8	10	0	0	2	20	
		熊野東中	5	9	3	0	0	17	
		小計	13	19	3	0	2	37	
		割合	35.1%	51.4%	8.1%	0.0%	5.4%	100%	
2	学校図書館は児童・生徒が図書を探しやすい書架に工夫されている(表紙を見せる配置、棚に本の分類が分かるラベルを貼る等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	10	10	0	0	0	20	
		熊野東中	10	6	1	0	0	17	
		小計	20	16	1	0	0	37	
		割合	54.1%	43.2%	2.7%	0.0%	0.0%	100%	
3	学校図書館は本の紹介コーナーを設けるなど、児童・生徒が読書を楽しむ場となっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	16	3	0	0	1	20	
		熊野東中	10	4	3	0	0	17	
		小計	26	7	3	0	1	37	
		割合	70.3%	18.9%	8.1%	0.0%	2.7%	100%	
4	児童・生徒が自由に読書を行うことのできるスペースを設けている(例 ソファ、畳コーナーの設置等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	16	3	1	0	0	20	
		熊野東中	8	3	3	3	0	17	
		小計	24	6	4	3	0	37	
		割合	64.9%	16.2%	10.8%	8.1%	0.0%	100%	
5	児童・生徒が校内外の読書感想文コンクールや読書感想画コンクール、書評コンクール等に取り組んでいる。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	7	5	1	0	7	20	
		熊野東中	5	9	3	0	0	17	
		小計	12	14	4	0	7	37	
		割合	32.4%	37.8%	10.8%	0.0%	18.9%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～学習センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
6	教職員は教科等の授業において、学校図書館で本や資料を利活用して調べ学習等を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	4	16	6	0	0	26	
		第二小	4	5	0	0	0	9	
		第三小	2	11	1	1	1	16	
		第四小	2	15	7	1	2	27	
		小計	12	47	14	2	3	78	
		割合	15.4%	60.3%	17.9%	2.6%	3.8%	100%	
7	教職員は教科等の授業において、本を紹介するなど、学習活動を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	4	14	7	0	1	26	
		第二小	3	5	0	0	1	9	
		第三小	4	7	3	0	2	16	
		第四小	2	20	3	0	2	27	
		小計	13	46	13	0	6	78	
		割合	16.7%	59.0%	16.7%	0.0%	7.7%	100%	
8	児童・生徒の学校図書館の利活用の状況や図書の出貸状況を調べ、状況を把握している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	4	13	7	1	1	26	
		第二小	6	3	0	0	0	9	
		第三小	3	9	2	0	2	16	
		第四小	4	14	6	0	3	27	
		小計	17	39	15	1	6	78	
		割合	21.8%	50.0%	19.2%	1.3%	7.7%	100%	
9	読書週間(旬間・月間)など、読書活動を活発にするための行事を設けている(例 ピピリオバトル, 読み聞かせ, ブックトーク等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	6	14	6	0	0	26	
		第二小	7	2	0	0	0	9	
		第三小	4	9	2	0	1	16	
		第四小	7	15	2	1	2	27	
		小計	24	40	10	1	3	78	
		割合	30.8%	51.3%	12.8%	1.3%	3.8%	100%	
10	学校図書館は児童・生徒に自習室の場として開放し、静かな学習環境となっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	1	7	8	9	1	26	
		第二小	2	2	2	1	2	9	
		第三小	2	6	5	1	2	16	
		第四小	2	7	12	4	2	27	
		小計	7	22	27	15	7	78	
		割合	9.0%	28.2%	34.6%	19.2%	9.0%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～学習センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
6	教職員は教科等の授業において、学校図書館で本や資料を利活用して調べ学習等を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	6	12	2	0	20	
		熊野東中	1	3	8	5	0	17	
		小計	1	9	20	7	0	37	
		割合	2.7%	24.3%	54.1%	18.9%	0.0%	100%	
7	教職員は教科等の授業において、本を紹介するなど、学習活動を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	2	7	8	2	1	20	
		熊野東中	1	3	10	3	0	17	
		小計	3	10	18	5	1	37	
		割合	8.1%	27.0%	48.6%	13.5%	2.7%	100%	
8	児童・生徒の学校図書館の利活用の状況や図書の出貸状況を調べ、状況を把握している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	8	7	4	1	0	20	
		熊野東中	2	7	3	3	2	17	
		小計	10	14	7	4	2	37	
		割合	27.0%	37.8%	18.9%	10.8%	5.4%	100%	
9	読書週間(旬間・月間)など、読書活動を活発にするための行事を設けている(例 ビブリオバトル、読み聞かせ、ブックトーク等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	14	5	1	0	0	20	
		熊野東中	2	6	6	2	1	17	
		小計	16	11	7	2	1	37	
		割合	43.2%	29.7%	18.9%	5.4%	2.7%	100%	
10	学校図書館は児童・生徒に自習室の場として開放し、静かな学習環境となっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	3	3	4	6	4	20	
		熊野東中	2	5	4	5	1	17	
		小計	5	8	8	11	5	37	
		割合	13.5%	21.6%	21.6%	29.7%	13.5%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～情報センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
11	新聞コーナーや時事に関する雑誌や新書コーナーを設けている(例 中学校は進路情報等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	2	6	9	7	2	26	
		第二小	4	3	1	0	1	9	
		第三小	5	3	4	0	4	16	
		第四小	3	9	7	5	2	26	
		小計	14	21	21	12	9	77	
		割合	18.2%	27.3%	27.3%	15.6%	11.7%	100%	
12	新着図書コーナーを設けたり、図書だよりを発行したりするなどして、新着図書を知らせている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	5	11	10	0	0	26	
		第二小	4	3	1	0	1	9	
		第三小	3	9	2	1	1	16	
		第四小	3	17	5	1	1	27	
		小計	15	40	18	2	3	78	
		割合	19.2%	51.3%	23.1%	2.6%	3.8%	100%	
13	学校図書館又はその他の場所に、教職員や学校司書、児童・生徒による図書紹介コーナーを設けている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	8	9	7	2	0	26	
		第二小	4	4	0	0	1	9	
		第三小	4	8	1	1	2	16	
		第四小	2	22	2	0	1	27	
		小計	18	43	10	3	4	78	
		割合	23.1%	55.1%	12.8%	3.8%	5.1%	100%	
14	定期的に季節の掲示やポスターの掲示を行うなど、学校図書館や図書コーナーの環境整備に努めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	12	11	3	0	0	26	
		第二小	4	4	0	0	1	9	
		第三小	5	8	1	0	2	16	
		第四小	6	17	2	0	2	27	
		小計	27	40	6	0	5	78	
		割合	34.6%	51.3%	7.7%	0.0%	6.4%	100%	
15	学校図書館内に児童・生徒が検索・インターネットによる情報収集に活用できる情報メディア機器が整備されている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	0	2	2	22	0	26	
		第二小	3	5	0	0	1	9	
		第三小	0	3	1	8	4	16	
		第四小	0	3	2	21	1	27	
		小計	3	13	5	51	6	78	
		割合	3.8%	16.7%	6.4%	65.4%	7.7%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～情報センターとしての機能～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
11	新聞コーナーや時事に関する雑誌や新書コーナーを設けている(例 中学校は進路情報等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	16	3	0	0	1	20	
		熊野東中	4	7	3	2	1	17	
		小計	20	10	3	2	2	37	
		割合	54.1%	27.0%	8.1%	5.4%	5.4%	100%	
12	新着図書コーナーを設けたり、図書だよりを発行したりするなどして、新着図書を知らせている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	6	10	0	2	2	20	
		熊野東中	3	10	3	1	0	17	
		小計	9	20	3	3	2	37	
		割合	24.3%	54.1%	8.1%	8.1%	5.4%	100%	
13	学校図書館又はその他の場所に、教職員や学校司書、児童・生徒による図書紹介コーナーを設けている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	7	8	1	1	3	20	
		熊野東中	6	7	3	1	0	17	
		小計	13	15	4	2	3	37	
		割合	35.1%	40.5%	10.8%	5.4%	8.1%	100%	
14	定期的に季節の掲示やポスターの掲示を行うなど、学校図書館や図書コーナーの環境整備に努めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	12	7	1	0	0	20	
		熊野東中	6	7	3	1	0	17	
		小計	18	14	4	1	0	37	
		割合	48.6%	37.8%	10.8%	2.7%	0.0%	100%	
15	学校図書館内に児童・生徒が検索・インターネットによる情報収集に活用できる情報メディア機器が整備されている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	1	1	2	13	3	20	
		熊野東中	1	2	2	10	2	17	
		小計	2	3	4	23	5	37	
		割合	5.4%	8.1%	10.8%	62.2%	13.5%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～個に応じた取組～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
16	障害のある児童・生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、展示図書や音声図書などを設けている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	1	1	7	8	9	26	
		第二小	0	6	1	0	2	9	
		第三小	1	2	5	3	5	16	
		第四小	0	2	5	11	9	27	
		小計	2	11	18	22	25	78	
		割合	2.6%	14.1%	23.1%	28.2%	32.1%	100%	
17	本をあまり読まない、もしくは不読の児童・生徒を把握し、個に応じた指導を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	2	10	8	2	4	26	
		第二小	0	6	1	0	2	9	
		第三小	3	6	2	1	4	16	
		第四小	0	8	8	3	8	27	
		小計	5	30	19	6	18	78	
		割合	6.4%	38.5%	24.4%	7.7%	23.1%	100%	
18	図書委員、児童・生徒の読書ボランティア等(子ども司書)が活発に活動している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	9	13	2	1	1	26	
		第二小	4	5	0	0	0	9	
		第三小	5	9	0	0	2	16	
		第四小	4	15	2	0	6	27	
		小計	22	42	4	1	9	78	
		割合	28.2%	53.8%	5.1%	1.3%	11.5%	100%	
19	発達段階に応じた取組や友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	9	9	1	4	26	
		第二小	1	5	1	0	2	9	
		第三小	2	9	1	1	3	16	
		第四小	0	9	10	1	7	27	
		小計	6	32	21	3	16	78	
		割合	7.7%	41.0%	26.9%	3.8%	20.5%	100%	
20	不登校や一時的に学級になじめない児童・生徒の「心の居場所」として活用されている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	0	3	3	12	8	26	
		第二小	0	1	2	3	3	9	
		第三小	2	5	2	3	4	16	
		第四小	1	2	9	7	8	27	
		小計	3	11	16	25	23	78	
		割合	3.8%	14.1%	20.5%	32.1%	29.5%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～個に応じた取組～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
16	障害のある児童・生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、展示図書や音声図書などを設けている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	1	5	6	8	20	
		熊野東中	2	1	6	5	3	17	
		小計	2	2	11	11	11	37	
		割合	5.4%	5.4%	29.7%	29.7%	29.7%	100%	
17	本をあまり読まない、もしくは不読の児童・生徒を把握し、個に応じた指導を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	5	5	3	7	20	
		熊野東中	0	3	8	5	1	17	
		小計	0	8	13	8	8	37	
		割合	0.0%	21.6%	35.1%	21.6%	21.6%	100%	
18	図書委員、児童・生徒の読書ボランティア等(子ども司書)が活発に活動している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	7	7	3	1	2	20	
		熊野東中	1	8	3	3	2	17	
		小計	8	15	6	4	4	37	
		割合	21.6%	40.5%	16.2%	10.8%	10.8%	100%	
19	発達段階に応じた取組や友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	1	8	4	2	5	20	
		熊野東中	1	4	6	4	2	17	
		小計	2	12	10	6	7	37	
		割合	5.4%	32.4%	27.0%	16.2%	18.9%	100%	
20	不登校や一時的に学級になじめない児童・生徒の「心の居場所」として活用されている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	1	4	10	5	20	
		熊野東中	0	2	5	9	1	17	
		小計	0	3	9	19	6	37	
		割合	0.0%	8.1%	24.3%	51.4%	16.2%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～教職員・学校司書の状況～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
21	読書活動の推進について、校長のリーダーシップの下、全教職員で取組を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	9	9	1	4	26	
		第二小	6	3	0	0	0	9	
		第三小	4	6	3	0	3	16	
		第四小	1	16	3	1	6	27	
		小計	14	34	15	2	13	78	
		割合	17.9%	43.6%	19.2%	2.6%	16.7%	100%	
22	教職員は定期的に学校司書(町から派遣される読書指導員等含む)と連携している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	6	15	2	0	3	26	
		第二小	2	5	0	0	2	9	
		第三小	4	9	1	0	2	16	
		第四小	2	13	6	1	5	27	
		小計	14	42	9	1	12	78	
		割合	17.9%	53.8%	11.5%	1.3%	15.4%	100%	
23	司書教諭等(図書館担当教員)は職責遂行のため、授業時数の軽減等や校務分掌上の配慮を行うとともに、研修等に参加させている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	8	2	2	11	26	
		第二小	2	3	3	0	1	9	
		第三小	3	5	3	0	5	16	
		第四小	1	7	5	1	13	27	
		小計	9	23	13	3	30	78	
		割合	11.5%	29.5%	16.7%	3.8%	38.5%	100%	
24	学校図書館の利活用方法や約束事が決まっており、毎年、オリエンテーションを行う等、児童・生徒への指導を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	6	14	2	1	3	26	
		第二小	5	3	0	0	1	9	
		第三小	3	9	1	0	3	16	
		第四小	5	14	3	0	5	27	
		小計	19	40	6	1	12	78	
		割合	24.4%	51.3%	7.7%	1.3%	15.4%	100%	
25	教職員・学校司書が連携して、児童・生徒の登校時から下校時までの学校図書館の開館に務めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	3	5	10	5	26	
		第二小	1	5	2	0	1	9	
		第三小	2	8	2	1	3	16	
		第四小	2	10	8	3	4	27	
		小計	8	26	17	14	13	78	
		割合	10.3%	33.3%	21.8%	17.9%	16.7%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～教職員・学校司書の状況～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
21	読書活動の推進について、校長のリーダーシップの下、全教職員で取組を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	3	5	7	1	4	20	
		熊野東中	3	5	4	4	1	17	
		小計	6	10	11	5	5	37	
		割合	16.2%	27.0%	29.7%	13.5%	13.5%	100%	
22	教職員は定期的に学校司書(町から派遣される読書指導員等含む)と連携している。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	4	7	4	2	3	20	
		熊野東中	2	5	8	1	1	17	
		小計	6	12	12	3	4	37	
		割合	16.2%	32.4%	32.4%	8.1%	10.8%	100%	
23	司書教諭等(図書館担当教員)は職責遂行のため、授業時数の軽減等や校務分掌上の配慮を行うとともに、研修等に参加させている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	1	3	2	3	11	20	
		熊野東中	1	4	2	4	6	17	
		小計	2	7	4	7	17	37	
		割合	5.4%	18.9%	10.8%	18.9%	45.9%	100%	
24	学校図書館の利活用方法や約束事が決まっており、毎年、オリエンテーションを行う等、児童・生徒への指導を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	11	4	1	1	3	20	
		熊野東中	5	6	4	2	0	17	
		小計	16	10	5	3	3	37	
		割合	43.2%	27.0%	13.5%	8.1%	8.1%	100%	
25	教職員・学校司書が連携して、児童・生徒の登校時から下校時までの学校図書館の開館に務めている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	1	8	4	5	2	20	
		熊野東中	1	7	5	4	0	17	
		小計	2	15	9	9	2	37	
		割合	5.4%	40.5%	24.3%	24.3%	5.4%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～外部との連携～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
26	保護者と連携・協力した読書活動推進の普及啓発活動を行っている(例 子ども読書の日、文字・活字文化の日等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	5	12	5	1	3	26	
		第二小	3	5	0	0	1	9	
		第三小	3	7	2	1	3	16	
		第四小	2	17	3	1	4	27	
		小計	13	41	10	3	11	78	
		割合	16.7%	52.6%	12.8%	3.8%	14.1%	100%	
27	学校図書館に関する広報活動等(例 HP開設、「図書だより」の発行等)を実施し、保護者への啓発を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	1	6	10	4	5	26	
		第二小	3	4	0	0	2	9	
		第三小	1	4	4	2	5	16	
		第四小	0	1	14	6	6	27	
		小計	5	15	28	12	18	78	
		割合	6.4%	19.2%	35.9%	15.4%	23.1%	100%	
28	地域読書ボランティアを活用した読書活動を推進する取組を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	13	8	3	0	2	26	
		第二小	7	2	0	0	0	9	
		第三小	6	7	1	0	2	16	
		第四小	19	5	0	0	3	27	
		小計	45	22	4	0	7	78	
		割合	57.7%	28.2%	5.1%	0.0%	9.0%	100%	
29	PTA活動において、児童・生徒の読書活動推進に関わる取組が行われている(例 講演会、活動への助成等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	3	8	4	2	9	26	
		第二小	2	4	0	0	3	9	
		第三小	2	5	4	2	3	16	
		第四小	0	6	9	4	8	27	
		小計	7	23	17	8	23	78	
		割合	9.0%	29.5%	21.8%	10.3%	29.5%	100%	
30	町立図書館や他の学校との連携を図っている(例 町立図書館又は学校間での図書の貸出や町立図書館の司書による読み聞かせや朗読等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	2	10	8	2	4	26	
		第二小	1	5	0	0	3	9	
		第三小	5	5	3	0	3	16	
		第四小	5	13	4	1	4	27	
		小計	13	33	15	3	14	78	
		割合	16.7%	42.3%	19.2%	3.8%	17.9%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～外部との連携～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
26	保護者と連携・協力した読書活動推進の普及啓発活動を行っている(例 子ども読書の日、文字・活字文化の日等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	3	8	3	6	20	
		熊野東中	0	1	8	6	2	17	
		小計	0	4	16	9	8	37	
		割合	0.0%	10.8%	43.2%	24.3%	21.6%	100%	
27	学校図書館に関する広報活動等(例 HP開設、「図書だより」の発行等)を実施し、保護者への啓発を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	3	5	1	11	20	
		熊野東中	1	4	3	7	2	17	
		小計	1	7	8	8	13	37	
		割合	2.7%	18.9%	21.6%	21.6%	35.1%	100%	
28	地域読書ボランティアを活用した読書活動を推進する取組を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	2	2	8	8	20	
		熊野東中	0	3	6	5	3	17	
		小計	0	5	8	13	11	37	
		割合	0.0%	13.5%	21.6%	35.1%	29.7%	100%	
29	PTA活動において、児童・生徒の読書活動推進に関わる取組が行われている(例 講演会、活動への助成等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	1	3	8	8	20	
		熊野東中	0	3	4	8	2	17	
		小計	0	4	7	16	10	37	
		割合	0.0%	10.8%	18.9%	43.2%	27.0%	100%	
30	町立図書館や他の学校との連携を図っている(例 町立図書館又は学校間での図書の貸出や町立図書館の司書による読み聞かせや朗読等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	0	2	2	6	10	20	
		熊野東中	0	4	7	2	4	17	
		小計	0	6	9	8	14	37	
		割合	0.0%	16.2%	24.3%	21.6%	37.8%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～「くまどく」の取組～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない無回答		備考
31	「朝読書」等の全校一斉読書活動では、担任等も児童・生徒と一緒に読書を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	5	6	8	5	2	26	
		第二小	0	2	2	4	1	9	
		第三小	4	3	4	2	3	16	
		第四小	2	9	8	2	6	27	
		小計	11	20	22	13	12	78	
		割合	14.1%	25.6%	28.2%	16.7%	15.4%	100%	
32	児童・生徒は「朝読書」の時間は読書に集中している(例 本の忘れ物がない、宿題等をしていない、寝たりしない等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	10	9	5	1	1	26	
		第二小	6	0	0	2	1	9	
		第三小	5	7	2	0	2	16	
		第四小	8	14	1	0	4	27	
		小計	29	30	8	3	8	78	
		割合	37.2%	38.5%	10.3%	3.8%	10.3%	100%	
33	「くまどく」ノートを十分に活用(提出状況、教員のコメント、保護者印)し、家庭での読書活動への支援を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	6	13	5	1	1	26	
		第二小	6	1	1	0	1	9	
		第三小	4	9	1	0	2	16	
		第四小	6	14	2	0	5	27	
		小計	22	37	9	1	9	78	
		割合	28.2%	47.4%	11.5%	1.3%	11.5%	100%	
34	「朝読書」や「くまどく」などの読書活動の推薦図書を準備や啓発によって、読書習慣の形成をはかっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	6	10	6	2	2	26	
		第二小	4	4	0	0	1	9	
		第三小	5	7	1	0	3	16	
		第四小	5	15	3	1	3	27	
		小計	20	36	10	3	9	78	
		割合	25.6%	46.2%	12.8%	3.8%	11.5%	100%	
35	教職員・学校司書もしくは図書委員により定期的に読み聞かせや朗読、ブックトークを行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		第一小	8	14	1	2	1	26	
		第二小	8	0	0	0	1	9	
		第三小	6	7	1	0	2	16	
		第四小	4	15	4	0	4	27	
		小計	26	36	6	2	8	78	
		割合	33.3%	46.2%	7.7%	2.6%	10.3%	100%	

【教職員】 学校図書館に関わるアンケート ～「くまどく」の取組～

○次の1～4について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	わからない 無回答		備考
31	「朝読書」等の全校一斉読書活動では、担任等も児童・生徒と一緒に読書を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	7	6	4	0	3	20	
		熊野東中	2	5	6	4	0	17	
		小計	9	11	10	4	3	37	
		割合	24.3%	29.7%	27.0%	10.8%	8.1%	100%	
32	児童・生徒は「朝読書」の時間は読書に集中している(例 本の忘れ物がない、宿題等をしていない、寝たりしない等)。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	9	8	1	0	2	20	
		熊野東中	4	12	1	0	0	17	
		小計	13	20	2	0	2	37	
		割合	35.1%	54.1%	5.4%	0.0%	5.4%	100%	
33	「くまどく」ノートを十分に活用(提出状況、教員のコメント、保護者印)し、家庭での読書活動への支援を行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	2	8	5	0	5	20	
		熊野東中	0	3	9	5	0	17	
		小計	2	11	14	5	5	37	
		割合	5.4%	29.7%	37.8%	13.5%	13.5%	100%	
34	「朝読書」や「くまどく」などの読書活動の推薦図書を準備や啓発によって、読書習慣の形成をはかっている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	5	8	2	1	4	20	
		熊野東中	1	10	4	2	0	17	
		小計	6	18	6	3	4	37	
		割合	16.2%	48.6%	16.2%	8.1%	10.8%	100%	
35	教職員・学校司書もしくは図書委員により定期的に読み聞かせや朗読、ブックトークを行っている。	評価	5	4	3	2	1	合計	
		熊野中	12	4	0	1	3	20	
		熊野東中	0	4	4	7	2	17	
		小計	12	8	4	8	5	37	
		割合	32.4%	21.6%	10.8%	21.6%	13.5%	100%	

【小学生】読書に関わるアンケート ～読書について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
1	あなたは、本を読むことは好きですか。 ① 好き ② どちらかという好き ③ どちらかという好きではない ④ 好きではない	第一小	240	162	80	44	-	-	526
		第二小	59	17	7	5	-	-	88
		第三小	155	57	16	8	-	-	236
		第四小	180	114	46	28	-	-	368
		小計	634	350	149	85	0	0	1218
		全体	52.1%	28.7%	12.2%	7.0%	0.0%	0.0%	100%
2	問1で「① 好き」、「② どちらかという好き」と答えた人に質問します。本が好きなのは、どうしてですか。 ① 楽しいから ② いろいろなことがわかるから ③ 先や家族が読んでくれるから ④ 本が好きな人がまわりにいるから ⑤ その他	第一小	204	152	18	22	19	-	415
		第二小	46	22	1	0	8	-	77
		第三小	107	78	13	7	14	-	219
		第四小	156	101	8	6	33	-	304
		小計	513	353	40	35	74		1015
		全体	50.5%	34.8%	3.9%	3.4%	7.3%	0.0%	100%
3	問1で「③ どちらかという好きではない」、「④ 好きではない」と答えた人に質問します。本が好きではないのは、どうしてですか。 ① 楽しくないから ② 読みたい本がないから ③ 文字を読むのが大変だから ④ テレビやインターネットの方がいいから ⑤ その他	第一小	13	33	42	42	4	-	134
		第二小	2	4	3	4	0	-	13
		第三小	4	5	12	6	3	-	30
		第四小	8	17	28	27	0	-	80
		小計	27	59	85	79	7		257
		全体	10.5%	23.0%	33.1%	30.7%	2.7%	0.0%	100%
4	あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。 ① 1冊 ② 2冊～5冊 ③ 6冊～9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない	第一小	47	171	144	135	23	-	520
		第二小	9	25	18	31	4	-	87
		第三小	17	85	61	66	3	-	232
		第四小	24	127	92	107	16	-	366
		小計	97	408	315	339	46	0	1205
		全体	8.0%	33.9%	26.1%	28.1%	3.8%	0.0%	100%
5	問4で「⑤ 読まない」と答えた人に質問します。本を読まないのは、どうしてですか。 ① 本が好きでないから ② 読みたい本(ほん)がないから ③ テレビを見たり、ゲームをしたりして、時間がないから ④ 勉強やクラブ活動、スポーツ、塾などで忙しいから ⑤ 友だちと遊ぶから ⑥ その他	第一小	3	5	7	13	7	1	35
		第二小	0	0	0	0	0	0	0
		第三小	1	1	2	0	0	0	4
		第四小	7	2	7	4	2	1	22
		小計	11	8	16	17	9	2	63
		全体	17.5%	12.7%	25.4%	27.0%	14.3%	3.2%	100%
9	本を読むことは大切だと思いますか。 ① 思う ② どちらかという思う ③ どちらかという思わない ④ 思わない	第一小	463	139	38	20	-	-	660
		第二小	68	14	3	2	-	-	87
		第三小	180	46	5	3	-	-	234
		第四小	242	79	29	15	-	-	365
		小計	953	278	75	40	0	0	1346
		全体	70.8%	20.7%	5.6%	3.0%	0.0%	0.0%	100%

問2「その他」の回答(一部抜粋)  
想像するのが楽しいから。  
アニメ系の本が好きだから。  
暇つぶしできる。  
おもしろいから。  
たくさん知識を学べるから。

問3「その他」の回答(一部抜粋)  
友人と遊ぶから。  
読書にふれる時間が少ない。  
外で遊びたいから。  
めんどくさい。

問7「あなたの好きな本を教えてください」の回答(一部抜粋)  
マジックツリーハウス  
心霊写真の本  
ベイマックス  
マジックツリーハウス  
～のひみつ  
ダレン・シヤン  
コナン  
銀魂  
どらねこぐんだんおすしやさん  
はんぴらり

【中学生】読書に関わるアンケート ～読書について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
1	あなたは、本を読むことは好きですか。 ① 好き ② どちらかというと好き ③ どちらかというと好きではない ④ 好きではない	熊中	91	81	54	20	-	-	246
		東中	131	118	71	40	-	-	360
		小計	222	199	125	60	0	0	606
		全体	36.6%	32.8%	20.6%	9.9%	0.0%	0.0%	100%
2	問1で「① 好き」、「② どちらかというと好き」と答えた人にききます。本が好きなのは、どうしてですか。 ① 楽しいから ② いろいろなことがわかるから ③ 先生や家族が読んでくれるから ④ 本が好きな人がまわりにいるから ⑤ その他	熊中	125	38	2	3	8	-	176
		東中	165	65	1	6	13	-	250
		小計	290	103	3	9	21	0	426
		全体	68.1%	24.2%	0.7%	2.1%	4.9%	0.0%	100%
3	問1で「③ どちらかというと好きではない」、「④ 好きではない」と答えた人に質問します。本が好きではないのは、どうしてですか。 ① 楽しくないから ② 読みたい本がないから ③ 文字を読むのが大変だから ④ テレビやインターネットなどの方がいいから ⑤ その他	熊中	12	15	27	20	1	-	75
		東中	27	31	26	35	7	-	126
		小計	39	46	53	55	8	0	201
		全体	19.4%	22.9%	26.4%	27.4%	4.0%	0.0%	100%
4	あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。 ① 1冊 ② 2冊～5冊 ③ 6冊～9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない	熊中	67	115	21	14	27	-	244
		東中	101	152	22	17	53	-	345
		小計	168	267	43	31	80	0	589
		全体	28.5%	45.3%	7.3%	5.3%	13.6%	0.0%	100%
5	問4で「⑤ 読まない」と答えた人にききます。本を読まないのは、どうしてですか。 ① 本が好きではないから ② 読みたい本がないから ③ テレビを見たり、ゲームをしたりして、時間がな いから ④ 勉強やクラブ活動、塾、習い事などで忙しいから ⑤ 友達と遊ぶから ⑥ その他	熊中	16	5	2	5	1	3	29
		東中	22	16	8	9	4	3	59
		小計	38	21	10	14	5	6	94
		全体	40.4%	22.3%	10.6%	14.9%	5.3%	6.4%	100%
9	本を読むことは大切だと思いますか。 ① 思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ 思わない	熊中	114	84	31	9	-	-	238
		東中	174	117	30	19	-	-	340
		小計	288	201	61	28	0	0	578
		全体	49.8%	34.8%	10.6%	4.8%	0.0%	0.0%	100%

問2「その他」の回答(一部抜粋)  
感情移入してしまう。  
問5「その他」の回答(一部抜粋)  
早く読めないから。  
時々読むと楽しいから。

問7「あなたの好きな本を教えてください」の回答(一部抜粋)  
一期一会  
くりいむパン  
ラノベ  
魔法科高校の劣等生  
君はさよならを言わない  
ぐりとぐら

【小学生】読書に関わるアンケート ～学校図書室について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
10	あなたは、授業以外学校の図書室に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	第一小	29	133	168	196	-	-	526
		第二小	12	19	20	36	-	-	87
		第三小	33	97	54	49	-	-	233
		第四小	43	143	127	59	-	-	372
		小計	117	392	369	340	0	0	1218
		全体	9.6%	32.2%	30.3%	27.9%	0.0%	0.0%	100%
		11	問10で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。一週間にどれくらい、図書室に行きますか。 ① 4日～5日 ② 2日～3日 ③ 1日 ④ その他	第一小	20	58	64	34	0
第二小	11	11	7	3	0	0	-	32	
第三小	12	48	41	31	0	0	-	132	
第四小	25	84	56	29	0	0	-	194	
小計	68	201	168	97	0	0	0	534	
全体	12.7%	37.6%	31.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
12	問10で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。 ① 空いている時間が短いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他	第一小	85	130	63	43	53	-	374
		第二小	7	23	5	1	24	-	60
		第三小	22	44	11	9	17	-	103
		第四小	29	62	33	21	42	-	187
		小計	143	259	112	74	136	0	724
		全体	19.8%	35.8%	15.5%	10.2%	18.8%	0.0%	100%
		13	あなたは、学校の図書室を、どんなときに利用しますか。(※あてはまるものは、全て選んでください。) ① 本を読むため ② 調べものをするため ③ 休憩やリラックスしたりするため ④ 利用したことがない ⑤ その他	第一小	333	179	97	40	39
第二小	65			31	13	2	10	-	121
第三小	156			69	63	9	25	-	322
第四小	258			120	101	15	24	-	518
小計	812			399	274	66	98	0	1649
全体	49.2%			24.2%	16.6%	4.0%	5.9%	0.0%	100%
14	学校の図書室には、読みたいような本はありますか。 ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない			第一小	234	178	64	41	-
		第二小	55	21	8	3	-	-	87
		第三小	145	52	17	13	-	-	227
		第四小	188	105	47	22	-	-	362
		小計	622	356	136	79	0	0	1193
		全体	52.1%	29.8%	11.4%	6.6%	0.0%	0.0%	100%

問12「その他」の回答(一部抜粋)

遊びたいから。  
読んだことがあるものがたくさんあるから。  
外で遊ぶ方が楽しいから。  
自分が持って来ているから。  
教室で静かに読みたい。

問13「その他」の回答(一部抜粋)

本を借りるため。  
友達とおすすしめあう。  
どんな本があるか知るため。  
授業の時。  
本を返すため。  
図書委員会。  
借りてみたい本を探すため。

問15「学校の図書室にしてほしいことはありますか」の回答(一部抜粋)

昔の本も見たい  
毎週か一カ月ごとに朝会で本を紹介してほしい  
貸し出し本ランキングをしてほしい  
新しい本を置いてほしい  
本の紹介  
マンガを出してほしい  
サバイバルシリーズ  
たくさん小説を置いてほしい  
わけあって絶滅しました  
面白い本をおいてほしい  
研究実験  
本を3冊借りられるようにする  
図書委員さんが選んだおすすしめの本を目立つように置いてほしい  
天文学の本

【中学生】読書に関わるアンケート ～学校図書室について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
10	あなたは、授業以外で学校の図書室に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	熊中	31	101	69	38	-	-	239
		東中	53	102	103	90	-	-	348
		小計	84	203	172	128	0	0	587
		全体	14.3%	34.6%	29.3%	21.8%	0.0%	0.0%	100%
11	問10で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。一週間にどれくらい、図書室に行きますか。 ① 4日～5日 ② 2日～3日 ③ 1日 ④ その他	熊中	20	67	40	17	0	-	144
		東中	48	58	51	16	0	-	173
		小計	68	125	91	33	0	0	317
		全体	21.5%	39.4%	28.7%	10.4%	0.0%	0.0%	100%
12	問10で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に聞きます。なぜ、行かないのですか。 ① 空いている時間が短いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他	熊中	27	32	25	23	5	-	112
		東中	39	66	48	24	17	-	194
		小計	66	98	73	47	22	0	306
		全体	21.6%	32.0%	23.9%	15.4%	7.2%	0.0%	100%
13	あなたは、学校の図書室を、どんなときに利用しますか。(※あてはまるものは、全て選んでください。) ① 本を読むため ② 調べものをするため ③ 休憩やリラックスするため ④ 利用したことがない ⑤ その他	熊中	143	38	89	18	13	-	301
		東中	144	47	139	61	23	-	414
		小計	287	85	228	79	36	0	715
		全体	40.1%	11.9%	31.9%	11.0%	5.0%	0.0%	100%
14	学校の図書室には、読みたくなるような本はありますか。 ① ある ② どちらかというところ ③ どちらかというところない ④ ない	熊中	93	80	46	19	-	-	238
		東中	62	112	102	70	-	-	346
		小計	155	192	148	89	0	0	584
		全体	26.5%	32.9%	25.3%	15.2%	0.0%	0.0%	100%

問12「その他」の回答(一部抜粋)  
友人と遊ぶ事が多い。  
行きたいと思わないから。  
店で自分の好きな本を買っているから。  
字を読むのがめんどろ。

問13「その他」の回答(一部抜粋)  
本の貸し返し。  
委員会の当番。  
時間潰し。

問15「学校の図書室にしてほしいことはありますか」の回答(一部抜粋)  
読んで共感できるような本  
新しい本をたくさん置いてもらう  
映画化した小説を置いてほしい  
映画やドラマの原作を置いてほしい  
開いている時間をもっと長くてほしい  
面白い本を置いてほしい  
ホラー系の物語を増やしてほしい  
督促状をやめてほしい

【小学生】読書に関わるアンケート ～町立図書館について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
16	あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	第一小	120	193	142	69	-	-	524
		第二小	6	28	32	24	-	-	90
		第三小	41	73	61	56	-	-	231
		第四小	62	133	108	64	-	-	367
		小計	229	427	343	213	-	-	1212
		全体	18.9%	35.2%	28.3%	17.6%	-	-	100%
		17	問16で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。1か月に、どれくらい行きますか。 ① 6日以上 ② 4日～5日 ③ 2日～3日 ④ 1日	第一小	50	71	119	73	-
第二小	4	4	11	13	-	-	32		
第三小	22	24	43	25	-	-	114		
第四小	34	33	81	55	-	-	203		
小計	110	132	254	166	-	-	662		
全体	16.6%	19.9%	38.4%	25.1%	-	-	100%		
18	問16で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。 ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他	第一小	84	67	21	25	36	-	233
		第二小	22	11	4	3	17	-	57
		第三小	69	29	5	3	20	-	126
		第四小	81	47	16	12	31	-	187
		小計	256	154	46	43	104	-	603
		全体	42.5%	25.5%	7.6%	7.1%	17.2%	-	100%
		19	熊野町立図書館には、読みたいような本はありますか。 ① ある ② どちらかというところある ③ どちらかというところない ④ ない	第一小	281	134	59	38	-
第二小	41			21	6	14	-	-	82
第三小	118			58	18	25	-	-	219
第四小	169			94	43	46	-	-	352
小計	609			307	126	123	-	-	1165
全体	52.3%			26.4%	10.8%	10.6%	-	-	100%

問18 「その他」の回答(一部抜粋)

場所がわからないから  
 時間がないから  
 いそがしいから(習い事、塾、サッカーなど)  
 他にすることがあるから  
 行きたいけど行くチャンスがないから  
 家の人が連れて行ってくれない  
 行ってはいけないと親に言われた  
 お母さんが行かせてくれない  
 お母さんが学校の間に行くから  
 母が仕事で忙しいから  
 お母さんが大変だから  
 遊んだ方が楽しい  
 目的がないから  
 前読んでた本が少なくなったから  
 検索するのがめんどろ  
 静かだから  
 読みたい本が見つからないから  
 読みたい本が見つけないから  
 ほとんど読んだ本ばかりだから  
 あまり楽しくないから  
 家に本があるから  
 クラス替えのため、図書が好きな友達が減ったから  
 近くにみらい交流館があるから  
 カードがないから

問20 「図書館にしてほしいことはありますか」の回答(一部抜粋)

人気の本を出してください。  
 小説を増やしてほしい。  
 最新の本をおいてほしい。  
 高学年でも楽しめる本をおいてほしい。  
 どこに本があるかわかりやすくしてほしい。  
 返却を個人でできる機械を作ってほしい。  
 子ども向けの本のところに、子どもでも読みやすい挿絵とかがある小説を置いてほしい。  
 本を借りるとポイント入るような方式にしてほしい。  
 イベントをしてほしい。  
 本を紹介するイベントをしてほしい。  
 ビブリオバトル(本の紹介をして、投票して優勝者を決める)をしてほしい。

問21 「熊野町立図書館にどんな本があったら、本を読みたいと思いますか。本の題名を書いてください。何冊でもいいです。(マンガ以外です。)」

(※問21の回答については、省略します。)

【中学生】読書に関するアンケート ～町立図書館について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
16	あなたは、「熊野町立図書館」に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	熊中	5	47	104	85	-	-	241
		東中	17	84	125	127	-	-	353
		小計	22	131	229	212	-	-	594
		全体	3.7%	22.1%	38.6%	35.7%	-	-	100%
17	問16で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。1か月に、どれくらい行きますか。 ① 6日以上 ② 4日～5日 ③ 2日～3日 ④ 1日	熊中	6	7	23	19	-	-	55
		東中	6	17	41	40	-	-	104
		小計	12	24	64	59	-	-	159
		全体	7.5%	15.1%	40.3%	37.1%	-	-	100%
18	問16で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。 ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他	熊中	100	53	12	16	17	-	198
		東中	104	76	23	25	33	-	261
		小計	204	129	35	41	50	-	459
		全体	44.4%	28.1%	7.6%	8.9%	10.9%	-	100%
19	熊野町立図書館には、読みたくなるような本はありますか。 ① ある ② どちらかというところ ③ どちらかというところ ④ ない	熊中	57	96	55	31	-	-	239
		東中	80	88	90	88	-	-	346
		小計	137	184	145	119	-	-	585
		全体	23.4%	31.5%	24.8%	20.3%	-	-	100%

問18「その他」の回答(一部抜粋)

- 今はあまり時間がない
- 行く時間がない。
- 部活などで行けない。
- 本選ぶのに迷うから。
- カードが新しくなって作っていないため。
- 自分の好きな本を店で買っているから。
- 学校の教科書で十分だから。
- 行く必要がないと思ったから。
- 行こうと思わないから。
- 行く理由がないから。
- 行く目的がない。
- 行く時間がない。
- 家を出たくない、スマホで読むから。
- 試験があるときのみ勉強をしにいく程度。
- めんどくさい。
- 遠いから。
- 場所がわからない。

問20「図書館にしてほしいことはありますか」の回答(一部抜粋)

- 人気のある本をおいてほしい。
- 新しい本をたくさんおいてほしい。
- おもしろい本をおいてほしい。
- どんどん新しい本を入れてほしい
- 話題の本を置いてほしい。
- 新作映画の本を置いてほしい
- 分野ごとに分けてほしい。
- 本のありかが、わかりやすくなるようにしてほしい。
- 椅子や机を増やしてほしい
- イベントをしてほしい。

問21「熊野町立図書館にどんな本があったら、本を読みたいと思いますか。本の題名を書いてください。何冊でもいいです。(マンガ以外です。)」

(※問21の回答については、省略します。)

【小学生】読書に関わるアンケート ～「くまどく」について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
22	「くまどく」(家族といっしょに本を読む時間をもつこと)は楽しいですか。 ① 楽しい ② どちらかという楽しい ③ どちらかという楽しくない ④ 楽しくない	第一小	190	161	97	76	-	-	524
		第二小	42	25	13	7	-	-	87
		第三小	110	76	21	21	-	-	228
		第四小	106	131	78	49	-	-	364
		小計	448	393	209	153	0	0	1203
		全体	37.2%	32.7%	17.4%	12.7%	0.0%	0.0%	100%
23	「くまどく」を一週間に何日していますか。 ① 毎日 ② 5日～6日 ③ 3日～4日 ④ 1日～2日	第一小	33	54	108	319	-	-	514
		第二小	2	2	7	76	-	-	87
		第三小	28	11	43	149	-	-	231
		第四小	23	32	79	228	-	-	362
		小計	86	99	237	772	0	0	1194
		全体	7.2%	8.3%	19.8%	64.7%	0.0%	0.0%	100%
24	「くまどく」のときは、だれと本を読むことが多いですか。 ① お母さん ② お父さん ③ きょうだい ④ おじいちゃん・おばあちゃん	第一小	218	30	208	33	-	-	489
		第二小	44	6	36	2	-	-	88
		第三小	117	22	87	5	-	-	231
		第四小	164	41	145	17	-	-	367
		小計	543	99	476	57	0	0	1175
		全体	46.2%	8.4%	40.5%	4.9%	0.0%	0.0%	100%
25	「くまどく」のとき、一番うれしいこと、楽しいことは何ですか。(※あてはまるものは、全て選んでください。) ① 家族といっしょに本を読むこと ② 家族といっしょの時間を過ごすこと ③ いろいろな本を読めること ④ 楽しいと思ったことはない ⑤ その他	第一小	116	79	256	95	21	-	567
		第二小	10	10	60	14	4	-	98
		第三小	49	35	132	27	10	-	253
		第四小	58	55	190	80	8	-	391
		小計	233	179	638	216	43	0	1309
		全体	17.8%	13.7%	48.7%	16.5%	3.3%	0.0%	100%
26	「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。 ① 続けたい ② どちらかという続けたい ③ どちらかという続けたくない ④ 続けたくない	第一小	175	174	105	67	-	-	521
		第二小	40	24	14	8	-	-	86
		第三小	107	75	33	16	-	-	231
		第四小	108	115	82	56	-	-	361
		小計	430	388	234	147	0	0	1199
		全体	35.9%	32.4%	19.5%	12.3%	0.0%	0.0%	100%
27	問26で「③ どちらかという続けたくない」、「④ 続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由を教えてください。 ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 宿題や習い事でいそがしいから ③ 本が好きではないから ④ くまどくノートへの記入が大変だから ⑤ その他	第一小	26	67	31	59	14	-	197
		第二小	3	12	4	5	0	-	24
		第三小	10	20	12	15	6	-	63
		第四小	28	41	28	40	17	-	154
		小計	67	140	75	119	37	0	438
		全体	15.3%	32.0%	17.1%	27.2%	8.4%	0.0%	100%

問25「その他」の回答(一部抜粋)  
 物語の世界に入ることができる。  
 いろんな事が分かる。  
 弟が真剣に見てくれるから楽しい。  
 静かなこと。  
 物語に引き込まれるから。  
 本の内容がおもしろかったから。  
 本を読む時間が増える。

問27「その他」の回答(一部抜粋)  
 一人で読むのが好きだから。  
 友人と遊ぶから。  
 別の事したい。  
 時間がない。  
 やっても無駄だから。  
 野球があるから。  
 めんどくさい。

【中学生】読書に関わるアンケート ～「くまどく」について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	⑥	合計
22	「くまどく」(家族といっしょに本を読む時間をもつこと)は楽しいですか。 ① 楽しい ② どちらかという楽しい ③ どちらかという楽しくない ④ 楽しくない ⑤ その他	熊中	24	71	68	72	6	-	241
		東中	14	58	82	164	27	-	345
		小計	38	129	150	236	33	0	586
		全体	6.5%	22.0%	25.6%	40.3%	5.6%	0.0%	100%
23	「くまどく」を一週間に何日していますか。 ① 毎日 ② 5日～6日 ③ 3日～4日 ④ 1日～2日	熊中	7	31	30	173	-	-	241
		東中	9	6	10	260	-	-	285
		小計	16	37	40	433	0	0	526
		全体	3.0%	7.0%	7.6%	82.3%	0.0%	0.0%	100%
24	「くまどく」のときは、だれと本を読むことが多いですか。 ① 母親 ② 父親 ③ 兄弟・姉妹 ④ 祖父母 ⑤ その他	熊中	69	4	2	15	89	-	179
		東中	75	3	0	8	132	-	218
		小計	144	7	2	23	221	0	397
		全体	36.3%	1.8%	0.5%	5.8%	55.7%	0.0%	100%
25	「くまどく」のとき、一番うれしいこと、楽しいことは何ですか。(※あてはまるものは、全て選んでください。) ① 家族といっしょに本を読むこと ② 家族といっしょの時間を過ごすこと ③ いろいろな本を読めること ④ 楽しいと思ったことはない ⑤ その他	熊中	23	25	83	82	21	11	234
		東中	16	22	83	180	28	0	329
		小計	39	47	166	262	49	11	574
		全体	6.8%	8.2%	28.9%	45.6%	8.5%	1.9%	100%
26	「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。 ① 続けたい ② どちらかという続けたい ③ どちらかという続けたくない ④ 続けたくない	熊中	17	62	74	73	-	-	226
		東中	12	52	96	170	-	-	330
		小計	29	114	170	243	0	0	556
		全体	5.2%	20.5%	30.6%	43.7%	0.0%	0.0%	100%
27	問26で「③ どちらかという続けたくない」、「④ 続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由を教えてください。 ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 宿題やクラブ活動、塾、習い事などで忙しいから ③ 本が好きではないから ④ くまどくノートへの記入が大変だから ⑤ その他	熊中	32	50	19	34	8	-	143
		東中	49	91	30	57	49	-	276
		小計	81	141	49	91	57	0	419
		全体	19.3%	33.7%	11.7%	21.7%	13.6%	0.0%	100%

【保護者】 読書に関するアンケート ～読書について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
1	問1 あなた(保護者・記入者)は、本を読むことは好きですか。 ① 好き ② どちらかという好き ③ どちらかという好きではない ④ 好きではない	第一	118	140	123	46		427
		第二	24	29	22	9		84
		第三	60	87	65	16		228
		第四	100	118	105	20		343
		小計	302	374	315	91	0	1082
		全体	27.9%	34.6%	29.1%	8.4%	0.0%	100%
2	問2 あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。 ① 1冊 ② 2冊～5冊 ③ 6冊～9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない	第一	101	117	22	8	179	427
		第二	19	26	1	3	35	84
		第三	61	63	4	10	91	229
		第四	100	80	11	10	142	343
		小計	281	286	38	31	447	1083
		全体	25.9%	26.4%	3.5%	2.9%	41.3%	100%
3	問3 問2で①、②、③、④のいずれかに回答した人に質問します。あなたが本を読む理由は何ですか。 ① 楽しみのため ② 自己啓発のため ③ 仕事で必要なため ④ 話題の本を読みたいから ⑤ その他	第一	143	43	28	24	0	238
		第二	34	11	6	3	0	54
		第三	80	17	14	12	0	123
		第四	109	43	17	20	0	189
		小計	366	114	65	59	0	604
		全体	60.6%	18.9%	10.8%	9.8%	0.0%	100%
4	問4 問2で⑤と答えた人に質問します。本を読まない理由は何ですか。 ① 読書は好きではないから ② 読みたい本がないから ③ 仕事・家事・趣味等で時間がないから ④ テレビ、スマホやSNSの方が楽しいから ⑤ その他	第一	31	21	90	35	7	184
		第二	0	9	6	17	1	33
		第三	5	10	29	37	6	87
		第四	5	21	32	73	6	137
		小計	41	61	157	162	20	441
		全体	9.3%	13.8%	35.6%	36.7%	4.5%	100%
5	問5 あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。 ① 思う ② どちらかという思う ③ どちらかという思わない ④ 思わない	第一	217	167	34	6		424
		第二	6	56	19	1		82
		第三	71	113	40	2		226
		第四	64	215	58	2		339
		小計	358	551	151	11	0	1071
		全体	33.4%	51.4%	14.1%	1.0%	0.0%	100%
6	問6 あなたのお子さんは、本(読書)が好きだと思いますか。 ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらかといえば好きではない ④ 好きではない	第一	105	154	109	22		390
		第二	8	29	27	14		78
		第三	51	91	61	19		222
		第四	26	132	120	48		326
		小計	190	406	317	103	0	1016
		全体	18.7%	40.0%	31.2%	10.1%	0.0%	100%

問3 なんとなく時間があつたら読む  
子どもが学校で借りた本、ずっと買っている本が出たときに読んでいる。  
子どもと寝る前に毎日読んでいる

問4 すぐ眠くなるため  
マンガは読むのが好き

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
7	問7 家庭で読み聞かせをしていますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 日程度)	第一	10	65	61	230		366
		第二	4	4	22	34		64
		第三	8	36	50	96		190
		第四	7	50	63	176		296
		小計	29	155	196	536	0	916
		全体	3.2%	16.9%	21.4%	58.5%	0.0%	100%
8	問8 問7で、④と回答した人に質問します。 読み聞かせをしていない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 忙しくて時間がない ② どのように読み聞かせをすればいいかわからない ③ 身近に本がない ④ 子どもが本を読んでほしいと言わないから ⑤ その他	第一	127	7	9	77	43	263
		第二	16	0	1	12	9	38
		第三	40	2	3	41	28	114
		第四	101	2	8	59	30	200
		小計	284	11	21	189	110	615
		全体	46.2%	1.8%	3.4%	30.7%	17.9%	100%
9	問9 あなたのお子さんは、読み聞かせが好きですか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらかといえば好きではない ④ 好きではない ⑤ その他	第一	121	120	52	37	17	347
		第二	24	19	9	9	0	61
		第三	82	65	25	7	3	182
		第四	111	102	45	15	13	286
		小計	338	306	131	68	33	876
		全体	38.6%	34.9%	15.0%	7.8%	3.8%	100%
10	問10 あなたは、読み聞かせは大切だと思いますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 思う ② どちらかといえば思う ③ どちらかといえば思わない ④ 思わない	第一	195	130	15	11		351
		第二	37	22	3	1		63
		第三	113	60	5	3		181
		第四	170	105	13	5		293
		小計	515	317	36	20	0	888
		全体	58.0%	35.7%	4.1%	2.3%	0.0%	100%
11	問11 家庭で本のことを話題にすることがありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない	第一	138	106	113	63		420
		第二	27	19	16	10		72
		第三	82	66	48	30		226
		第四	103	97	82	57		339
		小計	350	288	259	160	0	1057
		全体	33.1%	27.2%	24.5%	15.1%	0.0%	100%
12	問12 お子さんが本への関心をもてるよう、家庭で取り組みをしていますか。(※複数回答可) ① 保護者がすすんで読書をする ② 本を読んで聞かせる(読み聞かせ) ③ 「くまどく」をする ④ 家に本をたくさん置く ⑤ 誕生日や入学の記念に本をプレゼントする ⑥ 子どもと一緒に図書館に行く ⑦ おはなし会に参加する ⑧ その他 ⑨ 特に何もしていない。	第一	59	83	175	87	83	487
		第二	12	15	36	23	25	111
		第三	28	48	90	72	57	295
		第四	54	65	133	92	88	432
		小計	153	211	434	274	253	1325
		全体	11.5%	15.9%	32.8%	20.7%	19.1%	100%
13	問13 熊野町立図書館やくまの・みらい交流館では、毎月読み聞かせボランティアによるおはなし会を開催していますが、ご存知ですか。 ① 知っていて、参加したことがある ② 知っているが、参加したことはない ③ 知らないが、参加してみたい ④ 知らないし、参加しようとは思わない	第一	80	255	31	53		419
		第二	16	41	6	9		72
		第三	44	134	16	32		226
		第四	81	197	22	42		342
		小計	221	627	75	136	0	1059
		全体	20.9%	59.2%	7.1%	12.8%	0.0%	100%

問8 小さいころはよくしていたが、自分で読めるようになったらしくなった  
子ども自身が読みたい本を読むため  
高学年なので必要ないかと思う  
小さい頃、小三くらいまではしていたが、恥ずかしいので今はしていない。  
本人・姉・母それぞれで自分が好きな本を読む時間を作っているので、読み聞かせはしていない。  
読み聞かせる年齢ではない。自分で読める。  
眠る前はお話をする。  
高学年なので、必要ない。

問12 ほぼ毎週本屋へ行き、月に2～3冊は購入する。  
お店で好きな本を探してみる。見ついたら買って読ませる。

【保護者】 読書に関するアンケート ～読書について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
1	問1 あなた(保護者・記入者)は、本を読むことは好きですか。 ① 好き ② どちらかという好き ③ どちらかという好きではない ④ 好きではない	熊野	53	73	61	17	-	204
		熊野東	79	114	88	28	-	309
		小計	132	187	149	45	0	513
		全体	25.7%	36.5%	29.0%	8.8%	0.0%	100%
2	問2 あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。 ① 1冊 ② 2冊～5冊 ③ 6冊～9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない	熊野	55	52	1	5	91	204
		熊野東	78	68	6	5	154	311
		小計	133	120	7	10	245	515
		全体	25.8%	23.3%	1.4%	1.9%	47.6%	100%
3	問3 問2で①、②、③、④のいずれかに回答した人に質問します。あなたが本を読む理由は何ですか。 ① 楽しみのため ② 自己啓発のため ③ 仕事で必要なため ④ 話題の本を読みたいから ⑤ その他	熊野	66	23	15	12	8	124
		熊野東	84	34	8	11	0	137
		小計	150	57	23	23	8	261
		全体	57.5%	21.8%	8.8%	8.8%	3.1%	100%
4	問4 問2で⑤と答えた人に質問します。本を読まない理由は何ですか。 ① 読書は好きではないから ② 読みたい本がないから ③ 仕事・家事・趣味等で時間がないから ④ テレビ、スマホやSNSの方が楽しいから ⑤ その他	熊野	14	5	65	6	2	92
		熊野東	23	16	106	13	3	161
		小計	37	21	171	19	5	253
		全体	14.6%	8.3%	67.6%	7.5%	2.0%	100%
5	問5 あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。 ① 思う ② どちらかという思う ③ どちらかという思わない ④ 思わない	熊野	148	54	1	1	-	204
		熊野東	196	106	5	2	-	309
		小計	344	160	6	3	0	513
		全体	67.1%	31.2%	1.2%	0.6%	0.0%	100%
6	問6 あなたのお子さんは、本(読書)が好きだと思いますか。 ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらかといえば好きではない ④ 好きではない	熊野中	65	68	51	18	-	202
		熊野東中	80	120	78	30	-	308
		小計	145	188	129	48	0	510
		全体	28.4%	36.9%	25.3%	9.4%	0.0%	100%

問3 老眼で文字が読みづらい

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
7	問7 家庭で読み聞かせをしていますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 日程度)	熊野中	1	0	5	47	0	53
		熊野東中	0	3	6	53	0	62
		小計	1	3	11	100	0	115
		全体	0.9%	2.6%	9.6%	87.0%	0.0%	100%
8	問8 問7で、「④ していない」と回答した人に質問します。読み聞かせをしていない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 忙しくて時間がない ② どのように読み聞かせをすればいいかわからない ③ 身近に本がない ④ 子どもが本を読んでほしいと言わないから ⑤ その他( )	熊野中	25	2	0	17	8	52
		熊野東中	32	0	3	14	8	57
		小計	57	2	3	31	16	109
		全体	52.3%	1.8%	2.8%	28.4%	14.7%	100%
9	問9 あなたのお子さんは、読み聞かせが好きですか。(※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらからといえば好きではない ④ 好きではない ⑤ その他( )	熊野中	7	16	6	6	4	39
		熊野東中	9	12	9	13	5	48
		小計	16	28	15	19	9	87
		全体	18.4%	32.2%	17.2%	21.8%	10.3%	100%
10	問10 あなたは、読み聞かせは大切だと思いますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 思う ② どちらかといえば思う ③ どちらからといえば思わない ④ 思わない	熊野中	24	22	2	3	-	51
		熊野東中	40	18	2	5	-	65
		小計	64	40	4	8	0	116
		全体	55.2%	34.5%	3.4%	6.9%	0.0%	100%
11	問11 家庭で本のことを話題にすることがありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらからといえばない ④ ない	熊野中	52	40	65	40		197
		熊野東中	73	73	83	72		301
		小計	125	113	148	112	0	498
		全体	25.1%	22.7%	29.7%	22.5%	0.0%	100%
12	問12 お子さんが本への関心をもてるよう、家庭で取り組みをしていますか。(※複数回答可) ① 保護者がすすんで読書をする ② 本を読んで聞かせる(読み聞かせ) ③ 「くまどく」をする ④ 家に本をたくさん置く ⑤ 誕生日や入学の記念に本をプレゼントする ⑥ 子どもと一緒に図書館に行く ⑦ おはなし会に参加する ⑧ その他( ) ⑨ 特に何もしていない。	熊野中	30	10	17	39	39	135
		熊野東中	46	13	16	57	60	192
		小計	76	23	33	96	99	327
		全体	23.2%	7.0%	10.1%	29.4%	30.3%	100%
13	問13 熊野町立図書館やくまの・みらい交流館では、毎月読み聞かせボランティアによるおはなし会を開催していますが、ご存知ですか。 ① 知っていて、参加したことがある ② 知っているが、参加したことはない ③ 知らないが、参加してみたい ④ 知らないし、参加しようとは思わない	熊野中	37	114	6	45	-	202
		熊野東中	50	179	10	65	-	304
		小計	87	293	16	110	0	506
		全体	17.2%	57.9%	3.2%	21.7%	0.0%	100%

問8 一人で子どもが読む本人が自分の好みの本を読むようになった。  
頼まれたときは読む

問9 読み聞かせをする年齢ではないと感じている

問12 マンガは買わないが(親のお金で)小説などは買う

【保護者】 読書に関するアンケート ～町立図書館について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。								
		①	②	③	④	⑤	合計	
14	問14 あなた(保護者・記入者)は、熊野町立図書館に行きますか。	第一	65	174	109	76	-	424
	① よく行く	第二	12	31	24	16	-	83
	② とときどき行く	第三	33	85	42	67	-	227
	③ あまり行かない	第四	63	151	73	53	-	340
	④ 行かない	小計	173	441	248	212	0	1074
		全体	16.1%	41.1%	23.1%	19.7%	0.0%	100%
15	問15 問14で①、②と答えた人に質問します。誰と一緒に熊野町立図書館に行きますか。(※複数回答可)	第一	72	205	26	1	1	305
	① ひとりで	第二	11	40	7	0	1	59
	② お子さんと	第三	29	108	20	0	1	158
	③ 家族と	第四	68	180	28	0	0	276
	④ 友人と	小計	180	533	81	1	3	798
	⑤ その他	全体	22.6%	66.8%	10.2%	0.1%	0.4%	100%
16	問16 問14で③、④と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。(※複数回答可)	第一	28	110	17	35	22	212
	① 家から遠いから	第二	15	17	3	7	9	51
	② 他にすることがあるから	第三	42	49	2	13	19	125
	③ 読みたい本がないから	第四	25	75	7	17	22	146
	④ 本が好きではないから	小計	110	251	29	72	72	534
	⑤ その他	全体	20.6%	47.0%	5.4%	13.5%	13.5%	100%
17	問17 あなたのお子さんは、「熊野町立図書館」に行きますか。	第一	76	203	94	53	-	426
	① よく行く	第二	12	31	19	24	-	86
	② とときどき行く	第三	22	98	33	74	-	227
	③ あまり行かない	第四	39	169	80	54	-	342
	④ 行かない	小計	149	501	226	205	0	1081
		全体	13.8%	46.3%	20.9%	19.0%	0.0%	100%
18	問18 熊野町立図書館には、あなたのお子さんが読みたいと思うような本はあると思いますか。	第一	236	113	26	8	40	423
	① ある	第二	41	24	3	0	16	84
	② どちらかといえばある	第三	123	62	1	2	39	227
	③ どちらかといえばない	第四	165	114	22	2	39	342
	④ ない	小計	565	313	52	12	134	1076
	⑤ わからない	全体	52.5%	29.1%	4.8%	1.1%	12.5%	100%
19	問19 熊野町立図書館には、あなたのお子さんに読ませたいと思うような本はありますか。	第一	229	105	4	5	83	426
	① ある	第二	38	22	2	1	20	83
	② どちらかといえばある	第三	125	48	3	2	46	224
	③ どちらかといえばない	第四	181	93	10	1	57	342
	④ ない	小計	573	268	19	9	206	1075
	⑤ わからない	全体	53.3%	24.9%	1.8%	0.8%	19.2%	100%

問16「その他」の回答(一部抜粋)

- 忙しいから。
- 忙しすぎるから。行きたい気持ちはすごくある。
- 子どもたちが行く用事のあるときに自分で行っているから。
- 行きたい時間が取れない。
- 行かなくてもスマホで読めるから。
- 時間がないため。
- 書店に行くことが多いから。
- 小さい子が居るため、行く気にならない。
- 借りるのが面倒なので、買うから。
- 引越してきて間もないので正確な場所がわからないから。
- 子どもが友達と行くから。
- 図書館が開いている時間にはいないから。
- 本を汚したり、破いたりするかもしれないので、行かないようにしている。
- 時間が合わないから。
- 遠いから。
- 職場の近くの図書館の方が便利だから。

【保護者】 読書に関するアンケート ～町立図書館について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
14	問14 あなた(保護者・記入者)は、熊野町立図書館に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	熊野中	16	68	58	61	-	203
		熊野東中	29	97	85	96	-	307
		小計	45	165	143	157	0	510
		全体	8.8%	32.4%	28.0%	30.8%	0.0%	100%
15	問15 問14で「① よく行く」、「② ときどき行く」と答えた人に質問します。誰と一緒に熊野町立図書館に行きますか。(※複数回答可) ① ひとりで ② お子さんと ③ 家族と ④ 友人と ⑤ その他( )	熊野中	28	60	17	1	1	107
		熊野東中	66	84	16	2	0	168
		小計	94	144	33	3	1	275
		全体	34.2%	52.4%	12.0%	1.1%	0.4%	100%
16	問16 問14で「③ あまり行かない」、「④ 行かない」と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。(※複数回答可) ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他( )	熊野中	38	66	4	9	23	140
		熊野東中	28	95	22	20	31	196
		小計	66	161	26	29	54	336
		全体	19.6%	47.9%	7.7%	8.6%	16.1%	100%
17	問17 あなたのお子さんは、「熊野町立図書館」に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	熊野中	10	65	63	65	-	203
		熊野東中	25	106	99	78	-	308
		小計	35	171	162	143	0	511
		全体	6.8%	33.5%	31.7%	28.0%	0.0%	100%
18	問18 熊野町立図書館には、あなたのお子さんが読みたいと思うような本はありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない ⑤ わからない	熊野中	80	65	9	3	46	203
		熊野東中	91	83	37	12	82	305
		小計	171	148	46	15	128	508
		全体	33.7%	29.1%	9.1%	3.0%	25.2%	100%
19	問19 熊野町立図書館には、あなたのお子さんに読ませたいと思うような本はありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない ⑤ わからない	熊野中	88	50	6	0	58	202
		熊野東中	111	71	12	7	107	308
		小計	199	121	18	7	165	510
		全体	39.0%	23.7%	3.5%	1.4%	32.4%	100%

問16「その他」の回答(一部抜粋)  
 時間がないため。  
 遠いため。  
 近いみらい交流館で借りる。  
 仕事で忙しく、時間がない。  
 スマホで代用出来る。  
 忙しくて行けない。  
 習い事で、時間がない。  
 不特定多数の人が触った本だから。  
 借り方がよく分からない。

【保護者】 読書に関するアンケート ～「くまどく」について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
20	問20 「くまどく」(家族といっしょに同じ本を読む(※読み聞かせ含む)時間をもつこと)は楽しいですか。 ① 楽しい ② どちらかといえば楽しい ③ どちらかといえば楽しくない ④ 楽しくない ⑤ その他	第一	88	184	87	38	26	423
		第二	14	40	14	9	5	82
		第三	53	97	34	21	15	220
		第四	60	170	63	38	10	341
		小計	215	491	198	106	56	1066
		全体	20.2%	46.1%	18.6%	9.9%	5.3%	100%
21	問21 「くまどく」を一週間に何日していますか。 ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 程度) ⑤ その他	第一	11	169	169	62	0	411
		第二	4	19	52	7	0	82
		第三	7	77	87	47	0	218
		第四	10	105	131	79	0	325
		小計	32	370	439	195	0	1036
		全体	3.1%	35.7%	42.4%	18.8%	0.0%	100%
22	問22 「くまどく」のとき、誰がお子さんと一緒に本を読むことが多いですか。 ① 母親 ② 父親 ③ 兄弟・姉妹 ④ 祖父母 ⑤ その他	第一	259	28	89	14	32	422
		第二	56	5	22	4	6	93
		第三	142	14	28	4	13	201
		第四	222	25	72	20	12	351
		小計	679	72	211	42	63	1067
		全体	63.6%	6.7%	19.8%	3.9%	5.9%	100%
23	問23 「くまどく」のとき、一番嬉しいこと、楽しいと思うことは何ですか。(※複数回答可) ① お子さんと一緒に本を読むこと ② お子さんと家族と一緒に時間を過ごすこと ③ 保護者も、本をおとして教養が身につくのが楽しいこと ④ 保護者が、本のおもしろさやなつかしさを感じられること ⑤ その他 ⑥ 楽しいと思ったことはない ⑦ その他	第一	133	168	64	131	19	515
		第二	34	37	9	35	9	124
		第三	80	113	40	84	9	326
		第四	139	136	68	123	19	485
		小計	386	454	181	373	56	1450
		全体	26.6%	31.3%	12.5%	25.7%	3.9%	100%
24	問24 「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。 ① 続けたい ② どちらかといえば続けたい ③ どちらかといえば続けたくない ④ 続けたくない ⑤ その他	第一	65	183	91	66	14	419
		第二	22	31	22	7	5	87
		第三	55	94	34	22	12	217
		第四	64	126	90	38	16	334
		小計	206	434	237	133	47	1057
		全体	19.5%	41.1%	22.4%	12.6%	4.4%	100%
25	問25 問24で③、④と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 本が好きではないから ③ くまどくノートの記入が大変だから ④ その他	第一	67	21	91	31	-	210
		第二	15	3	13	8	-	39
		第三	24	9	34	8	-	75
		第四	64	126	90	38	16	334
		小計	170	159	228	85	16	658
		全体	25.8%	24.2%	34.7%	12.9%	2.4%	100%

問20 楽しいかどうかではなく宿題だからやらざるを得ない  
初めて知った  
子どもがとても楽しそうに聞いている顔を見てると幸せな気持ちになる  
問23 本人が本を読む習慣を身につけたこと  
スキンシップ(抱っこして読む)  
子どもが大きくなると読み聞かせをすることもなくなり、楽しく思うことはあまりない。  
子どもがどういう点をおもしろいと思ったか知れること。  
読書で子どもの頭がよくなること  
問24 記入する欄が狭い。親が書くようになってしまう。  
同じ本と一緒に読むのではなく、子どもと本の話題や本についての時間を持つことはよいと思う  
もう少し家が落ち着いたらしたい  
幼い子にはとても大切だと思う。過去、私もしていたので。  
問25 めんどうだから  
好きで読んでいるのだから、ノートに記入する必要がないと思う  
内容を書くスペースがせまい。低学年用と高学年用で、ノートをわけるなどをしてほしい。  
身近に読む本がない  
どちらでもよい。子どもがしたいのなら。  
ノルマ的に子どもがとらえていて気が進まない様子。本は好き。  
自分から進んでやっている感じではないから。

【保護者】 読書に関するアンケート ～「くまどく」について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
20	問20 「くまどく」(家族といっしょに同じ本を読む(※読み聞かせ含む)時間をもつこと)は楽しいですか。 ① 楽しい ② どちらかといえば楽しい ③ どちらかといえば楽しくない ④ 楽しくない ⑤ その他( )	熊野中	36	75	43	22	27	203
		熊野東中	37	117	59	44	31	288
		小計	73	192	102	66	58	491
		全体	14.9%	39.1%	20.8%	13.4%	11.8%	100%
21	問21 「くまどく」を一週間に何日していますか。 ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 程度) ⑤ その他( )	回答	①	②	③	④	⑤	合計
		熊野中	2	26	51	105	20	204
		熊野東中	2	14	54	189	21	280
		小計	4	40	105	294	41	484
		全体	0.8%	8.3%	21.7%	60.7%	8.5%	100%
22	問22 「くまどく」のとき、誰がお子さんと一緒に本を読むことが多いですか。 ① 母親 ② 父親 ③ 兄弟・姉妹 ④ 祖父母 ⑤ その他( )	熊野中	103	10	40	3	28	184
		熊野東中	148	15	58	8	34	263
		小計	251	25	98	11	62	447
		全体	56.2%	5.6%	21.9%	2.5%	13.9%	100%
23	問23 「くまどく」のとき、一番嬉しいこと、楽しいと思うことは何ですか。(※複数回答可) ① お子さんと一緒に本を読むこと ② お子さんと家族と一緒に時間を過ごすこと ③ 保護者も、本とおして教養が身につくのが楽しいこと ④ 保護者が、本のおもしろさやなつかしさを感じられること ⑤ その他( ) ⑥ 楽しいと思ったことはない ⑦ その他( )	熊野中	56	69	30	52	23	230
		熊野東中	75	86	32	81	27	301
		小計	131	155	62	133	50	531
		全体	24.7%	29.2%	11.7%	25.0%	9.4%	100%
24	問24 「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。 ① 続けたい ② どちらかといえば続けたい ③ どちらかといえば続けたくない ④ 続けたくない ⑤ その他( )	熊野中	30	65	47	32	20	194
		熊野東中	25	76	71	65	44	281
		小計	55	141	118	97	64	475
		全体	11.6%	29.7%	24.8%	20.4%	13.5%	100%
25	問25 問24で「③ どちらかといえば続けたくない」、「④ 続けたくない」と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 本が好きではないから ③ くまどくノートの記入が大変だから ④ その他( )	熊野中	48	9	31	15	0	103
		熊野東中	25	76	71	65	44	281
		小計	73	85	102	80	44	384
		全体	19.0%	22.1%	26.6%	20.8%	11.5%	100%

問21 中学校では積極的にくまどくノートを配っておらず、とても無駄であると思う  
 問23 一緒に読んでいない子ども達の反応や感受性を見て育てることができること  
 問24 今はしていない  
 問25 もう子どもも中学生だから一人で本を読める  
 強制されてする読書は楽しくない。読みたい時に好みに読んで欲しい。

【保護者】 読書に関するアンケート ～読書について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。			①	②	③	④	⑤	
1	問1 あなた(保護者・記入者)は、本を読むことは好きですか。 ① 好き ② どちらかというと好き ③ どちらかというと好きではない ④ 好きではない	初神保育園	4	3	4	3	-	14
		くまの中央保育園	12	17	15	10	-	54
		くまの・みらい保育園	31	37	17	4	-	89
		保育所ひかり学園	8	19	20	8	-	55
		聖徳幼稚園	9	17	13	1	-	40
		第二聖徳幼稚園	20	30	19	3	-	72
		淳教幼稚園	45	39	26	2	-	112
		小計	129	162	114	31	0	436
		全体	29.6%	37.2%	26.1%	7.1%	0.0%	100%
		2	問2 あなたは、1か月に、どれくらい本を読みますか。 ① 1冊 ② 2冊～5冊 ③ 6冊～9冊 ④ 10冊以上 ⑤ 読まない	初神保育園	2	1	0	0
くまの中央保育園	5			11	4	2	32	54
くまの・みらい保育園	19			24	2	6	40	91
保育所ひかり学園	9			5	1	4	37	56
聖徳幼稚園	12			5	4	0	19	40
第二聖徳幼稚園	15			20	3	2	32	72
淳教幼稚園	37			35	4	4	32	112
小計	99			101	18	18	203	439
全体	22.6%			23.0%	4.1%	4.1%	46.2%	100%
3	問3 問2で①、②、③、④のいずれかに回答した人に質問します。 あなたが本を読む理由は何ですか。 ① 楽しみのため ② 自己啓発のため ③ 仕事に必要なため ④ 話題の本を読みたいから ⑤ その他			初神保育園	3	0	1	0
		くまの中央保育園	14	2	4	0	3	23
		くまの・みらい保育園	33	7	6	3	6	55
		保育所ひかり学園	9	8	2	2	2	23
		聖徳幼稚園	14	4	2	0	0	20
		第二聖徳幼稚園	25	11	6	2	0	44
		淳教幼稚園	52	15	3	4	10	84
		小計	150	47	24	11	21	253
		全体	59.3%	18.6%	9.5%	4.3%	8.3%	100%
		4	問4 問2で⑤と答えた人に質問します。 本を読まない理由は何ですか。 ① 読書は好きではないから ② 読みたい本がないから ③ 仕事・家事・趣味等で時間がなから ④ テレビ、スマホやSNSの方が楽しいから ⑤ その他	初神保育園	2	1	8	0
くまの中央保育園	7			1	23	1	1	33
くまの・みらい保育園	6			3	28	2	1	40
保育所ひかり学園	5			3	27	3	1	39
聖徳幼稚園	0			0	16	2	0	18
第二聖徳幼稚園	2			0	24	3	2	31
淳教幼稚園	4			1	21	5	0	31
小計	26			9	147	16	5	203
全体	12.8%			4.4%	72.4%	7.9%	2.5%	100%
5	問5 あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。 ① 思う ② どちらかと思う ③ どちらかと思うと思わない ④ 思わない			初神保育園	6	7	1	0
		くまの中央保育園	38	15	1	0	-	54
		くまの・みらい保育園	71	17	0	0	-	88
		保育所ひかり学園	45	10	1	0	-	56
		聖徳幼稚園	30	9	1	0	-	40
		第二聖徳幼稚園	51	21	0	0	-	72
		淳教幼稚園	98	14	0	0	-	112
		小計	339	93	4	0	0	436
		全体	77.8%	21.3%	0.9%	0.0%	0.0%	100%
		6	問6 あなたのお子さんは、本(読書)が好きだと思いますか。 ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらからといえば好きではない ④ 好きではない	初神保育園	5	8	1	0
くまの中央保育園	17			20	3	0	-	40
くまの・みらい保育園	48			34	6	0	-	88
保育所ひかり学園	18			20	2	0	-	40
聖徳幼稚園	13			26	1	0	-	40
第二聖徳幼稚園	32			36	3	0	-	71
淳教幼稚園	64			44	3	2	-	113
小計	197			188	19	2	0	406
全体	48.5%			46.3%	4.7%	0.5%	0.0%	100%

問3 読み聞かせをするため  
くまどく  
子ども達の時間として

問4 読む習慣がないため

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。		①	②	③	④	⑤		
7	問7 家庭で読み聞かせをしていますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 日程度)	初神保育園	2	5	6	1	-	14
		くまの中央保育園	9	15	7	12	-	43
		くまの・みらい保育園	11	32	26	14	-	83
		保育所ひかり学園	6	14	16	3	-	39
		聖徳幼稚園	2	10	20	8	-	40
		第二聖徳幼稚園	18	21	20	12	-	71
		淳敬幼稚園	33	49	25	5	-	112
		小計	81	146	120	55	0	402
		全体	20.1%	36.3%	29.9%	13.7%	0.0%	100%
		8	問8 問7で、④と回答した人に質問します。 読み聞かせをしていない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 忙しくて時間がない ② どのように読み聞かせをすればいいかわからない ③ 身近に本がない ④ 子どもが本を読んでほしいと言わないから ⑤ その他	初神保育園	1	0	0	0
くまの中央保育園	12			0	0	2	0	14
くまの・みらい保育園	16			1	0	3	4	24
保育所ひかり学園	4			1	0	2	0	7
聖徳幼稚園	3			1	1	1	3	9
第二聖徳幼稚園	7			1	0	3	2	13
淳敬幼稚園	2			0	0	4	2	8
小計	45			4	1	15	11	76
全体	59.2%			5.3%	1.3%	19.7%	14.5%	100%
9	問9 あなたのお子さんは、読み聞かせが好きですか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらかといえば好きではない ④ 好きではない ⑤ その他			初神保育園	6	7	0	0
		くまの中央保育園	38	16	0	0	1	55
		くまの・みらい保育園	53	25	3	0	4	85
		保育所ひかり学園	39	15	0	0	1	55
		聖徳幼稚園	31	8	0	0	0	39
		第二聖徳幼稚園	40	24	6	1	1	72
		淳敬幼稚園	88	19	3	1	1	112
		小計	295	114	12	2	9	432
		全体	68.3%	26.4%	2.8%	0.5%	2.1%	100%
		10	問10 あなたは、読み聞かせは大切だと思いますか。 (※小学生以下の保護者のみご記入ください。) ① 思う ② どちらかといえば思う ③ どちらかといえば思わない ④ 思わない	初神保育園	10	4	0	0
くまの中央保育園	45			9	0	0	-	54
くまの・みらい保育園	71			15	0	0	-	86
保育所ひかり学園	45			10	0	0	-	55
聖徳幼稚園	31			9	0	0	-	40
第二聖徳幼稚園	56			16	0	0	-	72
淳敬幼稚園	97			15	0	1	-	113
小計	355			78	0	1	0	434
全体	81.8%			18.0%	0.0%	0.2%	0.0%	100%
11	問11 家庭で本のことを話題にすることがありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない			初神保育園	6	1	5	2
		くまの中央保育園	21	16	14	4	-	55
		くまの・みらい保育園	45	17	23	6	-	91
		保育所ひかり学園	22	14	11	8	-	55
		聖徳幼稚園	8	10	17	5	-	40
		第二聖徳幼稚園	25	18	21	7	-	71
		淳敬幼稚園	61	29	18	5	-	113
		小計	188	105	109	37	0	439
		全体	42.8%	23.9%	24.8%	8.4%	0.0%	100%
		12	問12 お子さんが本への関心をもてるよう、家庭で取り組みをしていますか。(※複数回答可) ① 保護者がすすんで読書をする ② 本を読んで聞かせる(読み聞かせ) ③ 「くまどく」をする ④ 家に本をたくさん置く ⑤ 誕生日や入学の記念に本をプレゼントする ⑥ 子どもと一緒に図書館に行く ⑦ おはなし会に参加する ⑧ その他 ⑨ 特に何もしていない。	初神保育園	0	8	4	5
くまの中央保育園	3			26	12	19	50	110
くまの・みらい保育園	13			52	14	33	23	135
保育所ひかり学園	2			27	13	22	46	110
聖徳幼稚園	5			18	17	17	34	91
第二聖徳幼稚園	9			36	11	22	70	148
淳敬幼稚園	18			83	32	53	130	316
小計	50			250	103	171	357	931
全体	5.4%			26.9%	11.1%	18.4%	38.3%	100%
13	問13 熊野町立図書館やくまの・みらい交流館では、毎月読み聞かせボランティアによるおはなし会を開催していますが、ご存知ですか。 ① 知っていて、参加したことがある ② 知っているが、参加したことはない ③ 知らないが、参加してみたい ④ 知らないし、参加しようとは思わない			初神保育園	0	9	4	1
		くまの中央保育園	10	31	3	10	-	54
		くまの・みらい保育園	24	46	13	7	-	90
		保育所ひかり学園	9	29	11	7	-	56
		聖徳幼稚園	8	28	4	0	-	40
		第二聖徳幼稚園	18	38	11	5	-	72
		淳敬幼稚園	36	71	3	3	-	113
		小計	105	252	49	33	0	439
		全体	23.9%	57.4%	11.2%	7.5%	0.0%	100%

問8 兄弟・姉妹で読み聞かせをしてくれる  
興味がなく、すぐ本を閉じようとする  
まだ興味を示さなかった。最近では少し興味が出てきた。

問9 保育園では好きみたい  
自分で読む事が好き  
内容はわかっていないが目で追っている  
聞くととき聞かない時の差が激しい

【保護者】 読書に関するアンケート ～町立図書館について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。		①	②	③	④	⑤		
14	問14 あなた(保護者・記入者)は、熊野町立図書館に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	初神保育園	1	0	4	9	-	14
		くまの中央保育園	10	16	10	18	-	54
		くまの・みらい保育園	11	25	21	31	-	88
		保育所ひかり学園	4	14	16	22	-	56
		聖徳幼稚園	5	20	5	10	-	40
		第二聖徳幼稚園	18	16	11	27	-	72
		淳教幼稚園	23	58	19	13	-	113
		小計	72	149	86	130	0	437
		全体	16.5%	34.1%	19.7%	29.7%	0.0%	100%
15	問15 問14で①、②と答えた人に質問します。誰と一緒に熊野町立図書館に行きますか。(※複数回答可) ① ひとりで ② お子さんと ③ 家族と ④ 友人と ⑤ その他	初神保育園	1	1	0	0	0	2
		くまの中央保育園	9	23	4	0	0	36
		くまの・みらい保育園	9	35	3	0	0	47
		保育所ひかり学園	7	13	1	0	0	21
		聖徳幼稚園	7	24	2	0	1	34
		第二聖徳幼稚園	14	27	8	0	1	50
		淳教幼稚園	26	74	12	0	0	112
		小計	73	197	30	0	2	302
		全体	24.2%	65.2%	9.9%	0.0%	0.7%	100%
16	問16 問14で③、④と答えた人に質問します。なぜ、行かないのですか。(※複数回答可) ① 家から遠いから ② 他にすることがあるから ③ 読みたい本がないから ④ 本が好きではないから ⑤ その他	初神保育園	1	7	0	1	4	13
		くまの中央保育園	2	21	3	2	2	30
		くまの・みらい保育園	21	24	1	0	11	57
		保育所ひかり学園	10	23	0	3	3	39
		聖徳幼稚園	1	9	0	1	5	16
		第二聖徳幼稚園	9	14	3	2	13	41
		淳教幼稚園	6	19	0	1	12	38
		小計	50	117	7	10	50	234
		全体	21.4%	50.0%	3.0%	4.3%	21.4%	100%
17	問17 あなたのお子さんは、「熊野町立図書館」に行きますか。 ① よく行く ② ときどき行く ③ あまり行かない ④ 行かない	初神保育園	1	0	1	12	-	14
		くまの中央保育園	10	20	5	19	-	54
		くまの・みらい保育園	10	27	10	40	-	87
		保育所ひかり学園	4	14	7	30	-	55
		聖徳幼稚園	4	17	4	15	-	40
		第二聖徳幼稚園	12	21	6	33	-	72
		淳教幼稚園	14	70	13	16	-	113
		小計	55	169	46	165	0	435
		全体	12.6%	38.9%	10.6%	37.9%	0.0%	100%
18	問18 熊野町立図書館には、あなたのお子さんが読みたいと思うような本はありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない ⑤ わからない	初神保育園	8	2	0	0	4	14
		くまの中央保育園	33	8	0	0	13	54
		くまの・みらい保育園	56	18	0	0	14	88
		保育所ひかり学園	33	9	1	0	13	56
		聖徳幼稚園	28	7	0	0	5	40
		第二聖徳幼稚園	44	14	0	0	13	71
		淳教幼稚園	78	29	2	0	4	113
		小計	280	87	3	0	66	436
		全体	64.2%	20.0%	0.7%	0.0%	15.1%	100%
19	問19 熊野町立図書館には、あなたのお子さんに読ませたいと思うような本はありますか。 ① ある ② どちらかといえばある ③ どちらかといえばない ④ ない ⑤ わからない	初神保育園	6	2	0	0	6	14
		くまの中央保育園	29	9	0	0	16	54
		くまの・みらい保育園	57	10	0	1	19	87
		保育所ひかり学園	28	7	0	0	19	54
		聖徳幼稚園	25	7	0	0	8	40
		第二聖徳幼稚園	39	15	0	0	17	71
		淳教幼稚園	80	22	1	0	10	113
		小計	264	72	1	1	95	433
		全体	61.0%	16.6%	0.2%	0.2%	21.9%	100%

問16「その他」の回答(一部抜粋)

- 行く時間がない。
- 子どもが小さく、出産も間近なのであまり行けなくなった。
- 違う図書館へ行くから。
- 幼稚園で借りて帰るから。
- 静かなところで騒いでしまうため。
- みらい交流館で絵本を借りているから。
- わざわざ行かない。(気が向かない。)

【保護者】 読書に関するアンケート ～「くまどく」について～

○次の1～5について、あてはまる番号に○を付けて下さい。		①	②	③	④	⑤		
20	問20 「くまどく」(家族といっしょに同じ本を読む(※読み聞かせ含む)時間をもつこと)は楽しいですか。 ① 楽しい ② どちらかといえば楽しい ③ どちらかといえば楽しくない ④ 楽しくない ⑤ その他	初神保育園	6	5	2	0	0	13
		くまの中央保育園	24	18	2	2	7	53
		くまの・みらい保育園	42	30	7	2	6	87
		保育所ひかり学園	20	24	4	2	2	52
		聖徳幼稚園	13	24	1	1	1	40
		第二聖徳幼稚園	28	28	9	2	4	71
		淳敬幼稚園	55	49	4	1	3	112
		小計	188	178	29	10	23	428
		全体	43.9%	41.8%	6.8%	2.3%	5.4%	100%
		21	問21 「くまどく」を一週間に何日していますか。 ① 週に5日以上 ② 週に2日～4日 ③ 週に1回 ④ していない(月に 程度) ⑤ その他	初神保育園	1	4	6	3
くまの中央保育園	6			20	10	12	5	53
くまの・みらい保育園	7			28	28	21	3	87
保育所ひかり学園	7			14	22	11	1	55
聖徳幼稚園	2			6	27	5	0	40
第二聖徳幼稚園	15			14	23	19	3	74
淳敬幼稚園	24			45	25	16	1	111
小計	62			131	141	87	13	434
全体	14.3%			30.2%	32.5%	20.0%	3.0%	100%
22	問22 「くまどく」のとき、誰がお子さんと一緒に本を読むことが多いですか。 ① 母親 ② 父親 ③ 兄弟・姉妹 ④ 祖父母 ⑤ その他			初神保育園	14	1	1	1
		くまの中央保育園	45	7	2	3	4	61
		くまの・みらい保育園	71	11	11	1	5	99
		保育所ひかり学園	40	11	9	0	1	61
		聖徳幼稚園	36	4	2	0	0	42
		第二聖徳幼稚園	60	8	9	2	4	83
		淳敬幼稚園	99	9	10	1	0	119
		小計	365	51	44	8	14	482
		全体	75.7%	10.6%	9.1%	1.7%	2.9%	100%
		23	問23 「くまどく」のとき、一番嬉しいこと、楽しいと思うことは何ですか。(※複数回答可) ① お子さんと一緒に本を読むこと ② お子さんと家族と一緒に時間を過ごすこと ③ 保護者も、本とおして教養が身につくのが 楽しいこと ④ 保護者が、本のおもしろさやなつかしさを感ぜられること ⑤ その他 ⑥ 楽しいと思ったことはない ⑦ その他	初神保育園	8	10	2	6
くまの中央保育園	33			26	2	18	8	87
くまの・みらい保育園	53			43	13	28	8	145
保育所ひかり学園	36			27	9	18	6	96
聖徳幼稚園	25			28	7	20	3	83
第二聖徳幼稚園	42			39	12	33	7	133
淳敬幼稚園	80			57	26	52	5	220
小計	277			230	71	175	38	791
全体	35.0%			29.1%	9.0%	22.1%	4.8%	100%
24	問24 「くまどく」をこれからもずっと続けたいですか。 ① 続けたい ② どちらかといえば続けたい ③ どちらかといえば続けたくない ④ 続けたくない ⑤ その他			初神保育園	5	7	1	0
		くまの中央保育園	23	18	7	1	4	53
		くまの・みらい保育園	42	24	8	4	7	85
		保育所ひかり学園	18	22	6	3	4	53
		聖徳幼稚園	13	22	3	1	0	39
		第二聖徳幼稚園	29	20	11	5	3	68
		淳敬幼稚園	47	49	7	5	2	110
		小計	177	162	43	19	20	421
		全体	42.0%	38.5%	10.2%	4.5%	4.8%	100%
		25	問25 問24で③、④と答えた人に質問します。続けたくない理由は何ですか。(※複数回答可) ① 家族とあまり本を読む時間がないから ② 本が好きではないから ③ くまどくノートの記入が大変だから ④ その他	初神保育園	0	1	0	0
くまの中央保育園	4			3	4	1	-	12
くまの・みらい保育園	5			2	8	2	-	17
保育所ひかり学園	6			1	7	0	-	14
聖徳幼稚園	0			0	4	0	-	4
第二聖徳幼稚園	8			2	12	3	-	25
淳敬幼稚園	5			1	9	2	-	17
小計	28			10	44	8	0	90
全体	31.1%			11.1%	48.9%	8.9%	0.0%	100%

問23 子どもの成長を感じる  
 同じことに感動したり、興味をもったり気持ち共有できること  
 絵本がおもしろくて反応してくれるところ。  
 お話集中する時間を持つこと  
 子どもが今何に興味があるのかわかることがある。

○熊野町くまどく事業実施要領

平成25年6月7日  
教育委員会告示第1号  
改正 平成26年6月6日教育委員会告示第3号  
平成27年3月18日教育委員会訓令第3号

(目的)

第1条 熊野町くまどく事業は、家庭において子どもと家族が同じ本を読み、その感想等を共有することによって互いの絆を深め、良好な家庭環境を醸成し、もって子どもの教育環境向上に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによる。

- (1) 学校等 町立小学校及び中学校並びに保育所及び町内に事業所を有する幼稚園をいう。
- (2) 児童生徒等 熊野町に住所を有する中学生以下の者をいう。
- (3) ノート 事業において所定の事項を記入する記録帳(様式)をいう。

(実施主体)

第3条 事業の実施主体は、熊野町教育委員会とする。

(実施体制)

第4条 事業は、熊野町教育委員会に設置する課が相互に連携し実施する。

- 2 熊野町教育委員会及び学校等は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事項を実施する。
  - (1) 事業の啓発
  - (2) 読書環境の整備
  - (3) 事業に関する情報提供
  - (4) その他教育長が必要と認める事項

(対象者)

第5条 事業の対象は、児童生徒等とその家族(児童生徒等の同居親族の全て又はその一部をいう。以下同じ。)とする。

(事業内容)

第6条 事業の内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 熊野町教育委員会は、1年度につき、ノート1冊を1児童生徒等に対して配布する。この場合において、配布する時期は毎年4月1日(当該日が休日の場合はその翌日)を原則とする。
- (2) 家族は、同一の図書について児童生徒等と一日のうち所定の時間読書し、これについて前号の規定により配布されたノートに所要の事項を記入する。
- (3) 前号に規定する記入は、週2日までとする。ただし、これを超えて読書したものを記入する場合は、ノートに別に設けた記録欄を使用する。
- (4) 前号の規定によるノートへの記入は、当該ノートが配布された日の属する年度の3月31日までに読書したものまでとする。
- (5) 熊野町教育委員会及び学校等は、前号に規定する事項を確認するため、児童生徒等及び家族に対し定期的にノートの提出を促すものとする。

(事業の推進)

第7条 熊野町教育委員会及び学校等は、第1条に規定する目的が児童生徒等及びその家族の間において、自発的及び効果的に達成されるために必要な施策を推進するよう努めるものとする。

(ノートの検収及び記念品の支給等)

第8条 児童生徒等は、ノートを直接又は学校等を通じて熊野町教育委員会に提出するものとする。

- 2 前項の規定による提出は、当該ノートが配布された日の属する年度の3月1日から2か月以内で行うものとする。
- 3 熊野町教育委員会は、児童生徒等から提出されたノートを検収する。
- 4 熊野町教育委員会は、検収の結果ノートの記入が適正と認めるときは、ノートに検収印を押印し、ノートを児童生徒等に返却する。この場合において、そのノートの記入が教育長の定める基準に該当するときは、当該児童生徒等に対し記念品を支給することができる。

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要領は、議決の日から施行し、その日から適用する。  
(ノート提出の特例)

- 2 毎年3月1日時点において中学3年生である者については、第8条第4項に規定する教育長が別に定める基準に該当している場合に限り、ノートの提出を行うことができるものとする。
- 附 則（平成26年6月6日教育委員会告示第3号）  
この要領は、公布の日から施行する。
- 附 則（平成27年3月18日教育委員会訓令第3号）  
この訓令は、平成27年4月1日から施行する。

用 語	解 説	出典・参考
不読率	1か月に一冊も本を読まない子供の割合	「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(文部科学省平成30年4月) p. 6
参加・体験型の「『親の力』をまなびあう学習プログラム」通称「親プロ」	子育ての段階に応じた身近なエピソードを基に、保護者同士が話し合う中で、親として「自ら気づき、学ぶ力」を高めていくことを目的としたプログラム	<参考となるサイト> 広島県ホームページ 「親の力」をまなびあう学習プログラム <a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kateikyoku-oyapuro.html">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kateikyoku-oyapuro.html</a>
子ども読書の日	国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため設定された日(4/23)	子どもの読書活動の推進に関する法律
古典の日	国民の間に広く古典についての関心と理解を深めるようにするため設定された日(11/1)	古典の日に関する法律
図書館職員	図書館で働いているすべての職員の総称。図書館員ともいう。専任職員のほかに臨時職員、嘱託職員、派遣職員などさまざまな身分の人がいる。公共図書館の場合、専任職員の中にも、司書、事務職員、技術職員などがある。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 178
司書教諭	「学校図書館司書教諭講習規程」による科目(5科目10単位)を履修した教員で、任命権者によって司書教諭として発令を受けた教員のこと。各種の図書館サービスを中心とした学校図書館の運営と、これを基礎に児童生徒及び教員一人一人の教授学習過程で発生する多種多様な資料や情報要求に応えることによって、教育と学習活動を支援することが含まれる。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 91 学校図書館法第五条 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。 <参考となるサイト> 文部科学省HP「学校図書館 司書教諭 よくある質問集」 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/sisyo/1327733.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/sisyo/1327733.htm</a>
学校司書	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員。	学校図書館法 第六条
ネウボラ	妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点のこと。また、出産・子育て支援制度のことという。	<参考となるサイト> 広島県ホームページ 「ひろしま版ネウボラ」 <a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/neubora.html">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/neubora.html</a>
ブックスタート	乳幼児と保護者に読み聞かせの体験等を行い、家族のコミュニケーションを促す活動。両親学級や0歳児検診、それ以降の様々な機会に、読み聞かせの体験や絵本の紹介を行ったりしている。	「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(文部科学省平成30年4月) p. 13. 14

用語	解説	出典・参考
ビブリオバトル	書評合戦。 発表者が読んで面白いと思った本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行う。全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ活動である。ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができる。	「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（文部科学省平成30年4月）p.29-30
ブックトーク	相手に本への興味が湧くような工夫を凝らしながら、あるテーマに沿って関連付けて、複数の本を紹介すること。テーマから様々なジャンルの本に触れることができる。	「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（文部科学省平成30年4月）p.29
幼児教育アドバイザー	乳幼児期の教育・保育について専門的な知識を有する者。幼稚園教諭・保育士等を養成する大学等における指導者や、幼稚園長・保育所長等として勤務経験のある者など、幼児教育について専門的な知識・技術を有する者。幼児教育アドバイザーは、幼稚園・保育所・認定こども園等（以下「園・所等」）を訪問し、園・所等の生活の参観を通して、乳幼児理解や乳幼児の姿の見取り方、環境構成、保育者の関わり方などについての助言を行う。	設置要綱 <参考となるサイト> 広島県ホームページ「幼児教育－幼児教育アドバイザー」 <a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-05-ad.html">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-05-ad.html</a>
読書会	何人かのグループで、特定の図書、または特定のテーマに関する複数の図書を読み、これを話題として感想を述べあい、意見を交換しあう会。 その場で同じ本を読む方法やあらかじめ読書をしてくる方法、あるいは輪読、研究会などの方法がある。	「図書館用語集 四訂版」（2013、日本図書館協会）p.216 「図書館情報学用語辞典 第4版」（2013、丸善出版）p.170
図書館オリエンテーション	利用者が図書館に親しみ、図書館で利用できる基本的なサービスについて知ることを主な目的とし、図書館の使い方や文献探索や貸出の方法などの案内や説明を行うこと。	「図書館情報学用語辞典 第4版」（2013、丸善出版）p.173
朝読書 （朝の読書）	学校において始業前10分程度の時間を利用して、全校の児童生徒と教師が一斉に自分の好きな本を読むという読書推進活動。 朝の読書の4原則は「みんなでやる、毎日やる、好きな本でよい、ただ読むだけ」であり、感想文や記録は求めない。	「図書館情報学用語辞典 第4版」（2013、丸善出版）p.3
大活字本	弱視者用に大きな活字で印刷された図書。大型活字本ともいう。 実際には、印刷方式にかかわらず、文字の大きな図書の総称としても用いられる。	「図書館情報学用語辞典 第4版」（2013、丸善出版）p.142
録音資料	音声や音楽などの現実の音を、後で再生装置を利用することによりほぼ同一の音として再現可能な方式で記録した資料。	「図書館情報学用語辞典 第4版」（2013、丸善出版）p.257
LLブック	「LL」は、スウェーデン語の Lättläst の略で、「やさしく読みやすい本」という意味。 わかりやすく書かれた本だが、幼児や子ども向けのものではない。青年、成人という生活年齢に合った内容が、読むことが苦手な人のために読みやすく書かれた本である。知的障害、自閉症、学習障害などのある人や移住してきた人にも理解できるように書かれた本である。	「LLブックを届ける」（藤澤和子、服部敦司／編著 2009、読書工房）p.7-8,13 <参考となるサイト> ハートフルブック「LLブックとは」 <a href="https://heartfulbook.jp/overview/">https://heartfulbook.jp/overview/</a>

用語	解説	出典・参考
拡大読書器	弱視者、高齢者用に、本や雑誌など印刷資料を拡大してモニター画面に映写する装置。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 33
相互貸借	図書館が利用者の求める資料を自館に所蔵しておらず、購入できなかったり、その図書館の収集方針に適さないときに資料を他館から借り受けたり、資料の複製の提供を受けたりして利用者に提供すること。	「最新図書館用語大辞典」(2004, 柏書房) p. 290
廃棄	図書館資料のうち、破損・汚損・重複、内容の古くなったものなど、不要とされるものを書架から除去し、処分すること。 時には「除籍」と同義に用いられることもあるが、一般には資料の現物を処分することを「廃棄」という。	「図書館用語集 四訂版」(2013, 日本図書館協会) p. 250
除籍	図書館で、所在不明であったり、破損、汚損があったり、不要となった資料を原簿から削除すること。払出（はらいだし）ともいう。 目録等の記録抹消の手続きを「除籍」と呼び、「廃棄」と区別することもある。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 117
公共図書館	第一に、「図書館法」第2条にいう“一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする”図書館のことを指す。第二に、第一の意味の公共図書館のうち地方公共団体が設置する公立図書館のことを指す場合がある。 第一の意味で用いるのが正しいが、「図書館法」においては公共図書館という用語が用いられておらず、かつ私立図書館の数が少ないために、実質的に第二の意味で公共図書館という用語を使う場合も少なくない。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 66, 69
公立図書館	「図書館法」においては、公共図書館のうち、地方公共団体が設置するもの。 日本では私立図書館が少なく、ほとんどの公共図書館が公立図書館なので、両者を同じ意味で用いる場合も多い。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 66, 69
図書館資料	図書館が収集し、整理し、利用者に提供する資料。 図書館法では第3条第1項に「図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（以下「図書館資料」という）を収集し」と述べている。	「図書館情報学用語辞典 第4版」(2013, 丸善出版) p. 178, 171

出典：広島県子供の読書活動推進計画（第四次）「参考 用語解説」

- ・文部科学省「学校教育法」昭和 22 年法律第 26 号・令和元年 5 月改正
- ・文部科学省「学校図書館法」昭和 28 年法律第 185 号・平成 27 年 6 月改正
- ・文部科学省「学校図書館ガイドライン」平成 28 年 11 月
- ・文部科学省「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）」平成 30 年 2 月
- ・文部科学省「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）」平成 30 年 3 月
- ・文部科学省「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次計画）」平成 30 年 4 月
- ・広島県教育委員会「広島県子供の読書活動推進計画（第四次）」令和元年 11 月
- ・広島県教育委員会「令和 2 年度広島県教育資料」令和 2 年 4 月
- ・熊野町教育委員会「熊野町子どもの読書活動推進計画（第二次）」平成 27 年 3 月

# 熊野町子どもの読書活動推進計画（第三次計画）

令和2年 4月

■発行 熊野町教育委員会

■編集 熊野町教育委員会 教育総務課

〒731-4292

広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号

電話 082(820)5620

FAX 082(855)1110

